

公益財団法人  
日本モンキーセンター  
年報

令和元年度



公益財団法人日本モンキーセンター

令和2年(2020年)8月発行

# 目 次

巻頭言	1
ご挨拶：退任にあたって	2
公益財団法人日本モンキーセンター 事業方針	3
I 公益事業	
(1) 調査研究	3
(2) 保全活動	21
(3) 環境教育並びに社会普及活動	21
(4) 図書及び学術誌の刊行	30
(5) 標本等の資試料の収集・管理及び展示	36
(6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営	48
(8) 研究会、講演会の開催	58
(9) 展示、保全、環境教育及び社会普及活動に関わる人材の育成	61
(10) その他	62
II 収益事業	
(1) 動物園における物品並びに飲食物販事業	65
(2) 所有する土地・建物の賃貸事業	65
III 総務	
(1) 組織	66
(2) 人事	68
(3) 総務	68
(4) 寄附	69
IV 経理	70

# 巻 頭 言

所長 伊谷 原一

公益財団法人化し附属動物園長に就任した2014年当時、6年を経過した日本モンキーセンター（JMC）の姿は、漠然とは想像していた。運営に携わる上で、これまでとは異なるJMCの基盤作りに5年をかけ、その後は後進に道を委ねて私は本務の大学で定年までの数年を粛々と過ごすつもりだった。ところが、7年目を迎えて所長を兼務することになり、大きく軌道修正せざるを得なくなった。

博物館・動物園の経営は入園者数によって左右される。入園者数は天候や社会情勢の変化に影響されるが、その減少はそのまま収益減につながる。公益法人化後、JMCの入園者数は2015年（申年）の15万人強をピークに落ち続け、ここ数年は11万人程度で推移してきた。そして、2019年度も入園者数の下降傾向は止まらなかった。正直申し上げて、十数万人の入園者数では健全な運営は困難である。

それでも教育研究活動、特別展・講演会の開催、各種イベント、展示ガイドなどをしっかりこなし、施設営繕、飼育環境の改善、飼料費をはじめとする経費の削減、SNSを駆使した情報発信、オリジナルグッズの開発と販売などにも力を入れてきた。また、アマゾンほしい物リストやさまざまな形での寄付も頂戴した。もはやJMCはスタッフの自助努力と、多くの方々ご厚意によってかろうじて維持されているといっても過言ではないだろう。

さて、2019年度の終盤になって、世界中が新型コロナウイルスの脅威に直面した。JMCにおいても多くのイベントが延期または中止となった。活動自粛や移動制限、さらにはテレワーク、オンライン会議など、人びとの生活は一変しつつある。私たちはいま、博物館あるいは動物園のあり方や存在意義をもう一度淵源から問い直すべきなのかもしれない。そこで暮らす動物、そこで働くスタッフ、そしてそこに訪れる人々が少しでも幸福を感じる瞬間を作り上げなければならない。また、親方日の丸の運営でもなく民営でもないJMCをどのように運営していくか、どのように生き残っていくかも真剣に考えなければならないだろう。今後ますます多様化や複雑化に拍車がかかる現代社会において、臨機応変な対応や中・長期的な視点に立った活動が求められることは間違いない。2020年度の終わりにJMCはどのような姿になっているのだろうか。

これまでに多くの方々からいただいた暖かいご援助に心からなる御礼を申し上げるとともに、今後ともJMCの活動について、あらゆる角度からのご指導とご鞭撻を賜りたく、心からお願い申し上げます。次第である。

## ご挨拶：退任にあたって

2020年3月末をもって公益財団法人日本モンキーセンター（英文略称 JMC）の所長を退任することになりました。一言ご挨拶申し上げます。2014年4月の公益財団法人化とともにその初代所長を拝命し3期6年を務めたこととなります。この間のご支援、まことにありがとうございました。

公益財団として新たに発足してから、一貫して JMC を「自然への窓」と位置付けてきました。「サルを知ることとはヒトを知ること」です。サルも人間も霊長類の一員であり、進化の同胞です。人間を自然と対置するのではなくその一部だと自覚します。公益財団法人としての使命のもと、尾池和夫理事長（京都造形芸術大学学長）、山極壽一博物館長（京都大学総長）、伊谷原一動物園長（京都大学野生動物研究センター教授）とともに4人が連携した運営体制を敷いてきました。登録博物館であり動物園であり、それを公益財団として運営するという他に類例のない試みです。所長職を務めましたが無給です。京都大学教授に続いて2016年度からは特別教授という本務があり、その職責のかたわら社会貢献として JMC に参画しました。

公益財団法人化とほぼ時を同じくして、2013年10月に、京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院（英文略称 PWS）が発足しました。野生動物の研究を通じて、環境保全や動物福祉を推進する人材を育てる京都大学の大学院教育プログラムです。コーディネーターを松沢がつとめ、副コーディネーターを伊谷原一さんが担当しました。PWS の実践の場として JMC を位置付け、動物園・博物館実習など PWS 事業の一端を JMC が担いました。また京都大学が国から受託した「大型類人猿情報ネットワーク（GAIN）事業」も JMC が一翼を担っています。そうした連携を構築することで、京都大学の雇用する教職員、すなわち特定助教や特定研究員などの有期雇用教職員が、キュレーターや飼育員として日本モンキーセンターの運営や学術活動や飼育業務に参加してきました。

京大と連携することで、京大が保有するサルの調査地である幸島や屋久島や、アフリカやボルネオで、所員の多くが「生息地研修」する試みが定着しました。実際に自然の生息地で野生のサルたちとその暮らしぶりを見て、実地の体験をもとにサルの解説をします。2018年度からは上信越高原笹ヶ峰で、標高1300メートルの高原に進出してきた野生ニホンザルの研究調査も始まっています。一方、附属動物園では、飼育環境を向上させる「環境エンリッチメント」の取り組みも日々着実に進んでいます。また60年以上続く英文学術誌『Primates（プリマーテス）』の刊行を続け、季刊誌『モンキー』を復刊し、学術部の努力で『霊長類図鑑』を発刊し、学術集会である「プリマーテス研究会」を継続し、年間を通じてたくさんの学校等の生徒さんたちに来ていただいています。しかし、経営を安定した軌道に乗せる、という所長就任時に期した使命を果たすことはできませんでした。

前身の財団法人は1956年10月17日に発足しました。そこから数えると今年64年目にあたります。旧財団時代から引き続きご支援いただいている名古屋鉄道株式会社はじめ、公益財団法人化してから新たに参画した多数の法人各位、そして1000人を超える「モンキー友の会」の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、2019年3月からは女優の竹下景子さんが親善大使をお引き受けくださっています。さらに SNS を利用した情報発信やクラウドファンディングなど、若い所員の方々が自発的にくふうした新たな手法の社会連携も芽吹いています。このたび所長職を伊谷さんにお引き受けいただきました。バトンを受けてくださる次の世代の皆様が、継続する志をもって、公益財団法人日本モンキーセンターの発展にあたってくださることを願っています。末尾になりましたが、昨年末に突然始まったコロナ禍（COVID-19）と対峙しておられる皆様のご健康と、事態の速やかな終息を祈念します。

2020年3月31日

公益財団法人日本モンキーセンター所長  
松沢 哲郎

# 公益財団法人日本モンキーセンター 事業方針

この法人は定款第4条の定めるところにしたがい、以下の事業をおこなう。

## 1. 公益事業

- (1) 霊長類に関する総合的な調査研究
- (2) 霊長類の保護及びその生息地の保全に関わる活動
- (3) 霊長類に関する環境教育並びに社会普及活動
- (4) 霊長類に関する図書及び学術誌の刊行
- (5) 霊長類の標本等の資試料の収集・管理及び展示
- (6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営
- (7) 霊長類の適切な飼育・展示並びにこれに関する技術的指導及び協力
- (8) 霊長類に関する研究会、講演会の開催
- (9) 霊長類等に関する展示、保全、環境教育及び社会普及活動に関わる人材の育成
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 2. 収益事業

- (1) 動物園における物品並びに飲食物販事業
- (2) 所有する土地・建物の賃貸事業
- (3) その他動物園等に関連する収益事業

# I 公益事業 (1) 調査研究

## 1. 霊長類に関する調査研究の実施

- (1) 霊長類の社会行動の研究
- (2) 霊長類の進化に関する研究
- (3) 霊長類の形態学的研究
- (4) 霊長類の生態学的研究
- (5) 霊長類の遺伝学的研究
- (6) 霊長類の保全研究
- (7) 霊長類の福祉に配慮した飼育管理に関する研究
- (8) 霊長類の福祉に配慮した獣医療に関する研究
- (9) 霊長類を中心とした教材開発に関する研究
- (10) 霊長類標本の作成・管理に関する研究並びに研究利用
- (11) 霊長類の生体及び標本を活用した連携研究の推進
- (12) 研究会等の積極的参加による情報の交換と収集
- (13) 霊長類稀少種の繁殖に関する研究
- (14) 市民参加による霊長類をはじめとした生物多様性の保全に関わる基礎研究

## 2. 研究倫理ガイドライン

2016年4月1日より施行

内部委員3名、外部委員4名からなる研究倫理委員会を設置

## 3. 外部研究費による研究活動（モンキーセンター受入分）

- (1) 日本学術振興会科学研究費基盤C（2019～2021年度）  
代表者：赤見理恵  
分担者：高野智  
課題名：動物園を活用した保全教育プログラムと教材の開発と評価
- (2) トヨタ環境活動助成プログラム（国内プロジェクト）  
（2020年1月～2021年12月）  
プロジェクト名：ニホンザルはどこに？ 妙高笹ヶ峰に  
近年進出したニホンザルの暮らしを追う

助成決定証授与式

日程：2019年12月3日

場所：トヨタ紀尾井倶楽部（東京都千代田区）

赤見理恵

第1回笹ヶ峰調査

日程：2020年1月20日～24日

松沢哲郎、赤見理恵、鏡味芳宏

第2回笹ヶ峰調査

日程：2020年2月21日～24日

松沢哲郎、北原愛子、赤見理恵、  
鏡味芳宏、星野智紀

- (3) 京都大学野生動物研究センター共同利用研究（2019年度）

代表者：阿野隆平

課題名：周期的変化が起きる月光をモデルとした照度  
操作は、ヨザルの行動に変化をもたらすか？

#### 4. 他機関との連携

##### (1) 大型類人猿情報ネットワーク (GAIN) との連携

田和優子

##### (2) 地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) およびサイエンスミュージアムネットへの標本情報の提供

##### (3) 環境省生物多様性センター モニタリングサイト 1000 里地調査の実施 (SI18 犬山地域: 日本モンキーセンター 哺乳類調査グループ)

園敷地内3ヶ所(アフリカセンター裏、バックヤード裏、エコドーム裏) にセンサーカメラを設置

設置期間: 2019年5月24日~6月29日、

2019年9月27日~10月28日

#### 5. 研究業績

##### (1) 論文他

Allanic M, Hayashi M, Furuichi T, Matsuzawa T. (2020) Social influences on grooming site preferences in wild bonobos (*Pan paniscus*) at Wamba, DRC. *Primates*. 61: 213–223. doi: 10.1007/s10329-019-00788-z

Bryson-Morrison N, Beer A, Soumah AG, Matsuzawa T, Humle T. (2020) The macronutrient composition of wild and cultivated plant foods of West African chimpanzees (*Pan troglodytes verus*) inhabiting an anthropogenic landscape. *American Journal of Primatology*. 82: e23102. doi: 10.1002/ajp.23102

Chapman CA, Bicca-Marques JC, Calvignac-Spencer S, Fan P, Fashing PJ, Gogarten J, Guo S, Hemingway CA, Leendertz F, Li B, Matsuda I, Hou R, Serio-Silva JC, Chr Stenseth N. (2019) Games academics play and their consequences: how authorship, h-index and journal impact factors are shaping the future of academia. *Proceedings of the Royal Society B Biological Sciences*. 286:20192047. doi: 10.1098/rspb.2019.2047

Chapman CA, Bicca-Marques JC, Dunham AE, Fan P, Fashing PJ, Gogarten JF, Guo S, Huffman MA, Kalbitzer U, Li B, Ma C, Matsuda I, Omeja PA, Sarkar D, Sengupta R, Serio-Silva JC, Tsuji Y, Stenseth NC. (2020) Primates can be a rallying symbol to promote tropical forest restoration. *Folia Primatologica*. 1-19. doi: 10.1159/000505951

Costa R, Hayashi M, Huffman MA, Kalema-Zikusoka G, Tomonaga M. (2019) Water games by mountain gorillas: implications for behavioral development and flexibility—a case report. *Primates*. 60: 493-498. doi: 10.1007/s10329-019-00749-6

Hanya G, Morishima K, Koide T, Otani Y, Hongo S, Honda T, Okamura H, Higo Y, Hattori M, Kondo Y, Kurihara Y, Jin S, Otake A, Shirosihi I, Takakuwa T, Yamamoto H, Suzuki H, Kajimura H, Hayakawa T, Suzuki-Hashido N, Nakano T. (2019) Host selection of hematophagous leeches (*Haemadipsa japonica*): Implications for iDNA studies. *Ecological Research*. 34: 842-855. doi: 10.1111/1440-1703.12059

Hattori Y, Tomonaga M. (2020) Rhythmic swaying induced by sound in chimpanzees (*Pan troglodytes*). *Proceedings of the National Academy of Sciences*. 117: 936-942. doi: 10.1073/pnas.1910318116

Havercamp K, Watanuki K, Tomonaga M, Matsuzawa T, Hirata S (2019) Longevity and mortality of captive chimpanzees in Japan from 1921 to 2018. *Primates*. 60: 525-535. doi: 10.1007/s10329-019-00755-8

Hirata A, Kaneko A, Sakai H, Nakamura S, Yanai T, Miyabe-Nishiwaki T, Suzuki J. (2019) T-cell/Histiocyte-rich Large B-cell Lymphoma of the Larynx in a Juvenile Japanese Macaque (*Macaca fuscata*). *Journal of Comparative Pathology*. 169: 1-4. doi: 10.1016/j.jcpa.2019.04.004

Hirata A, Miyamoto Y, Kaneko A, Sakai H, Yoshizaki K, Yanai T, Miyabe-Nishiwaki T, Suzuki J. (2019) Hepatic neuroendocrine carcinoma in a Japanese macaque (*Macaca fuscata*). *Journal of medical primatology*. 48: 137-140. doi: 10.1111/jmp.12394

飯田恵理子, 伊谷原一. (2019) タンザニア西部・ウガラ地域における自然環境の変遷と人間活動. ヒトと動物の関係学会誌. 51: 100-108.

Inoue S, Yamamoto S, Ringhofer M, Mendonça RS, Pereira C, Hirata S. (2019) Spatial positioning of individuals in a group of feral horses: a case study using drone technology. *Mammal Research*. 64: 249-259. doi: 10.1007/s13364-018-0400-2

Inoue S, Yamamoto S, Ringhofer M, Mendonça RS, Hirata S. (2020) Lateral position preference in grazing feral horses. *Ethology*. 126: 111-119. doi: 10.1111/eth.12966

Itoigawa A, Hayakawa T, Suzuki-Hashido N, Imai H. (2019) A natural point mutation in the bitter taste receptor TAS2R16 causes inverse agonism of arbutin in lemur gustation. *Proceedings of the Royal Society B*. 286: 20190884. doi: 10.1098/rspb.2019.0884.

Kano F, Krupenye C, Hirata S, Tomonaga M, Call J (2019) Great apes use self-experience to anticipate an agent's action in a false belief test *Proceedings of the National Academy of Science*. 116(42): 20904-20909. doi: 10.1073/pnas.1910095116

Kawaguchi Y, Kano F, Tomonaga M. (2019) Chimpanzees, but not bonobos, attend more to infant than adult conspecifics. *Animal Behaviour*. 154: 171-181. doi: 10.1016/j.anbehav.2019.06.014

Koops K, Wrangham R, Cumberlidge N, Fitzgerald M, van KL, Rothman JM, Matsuzawa T. (2019) Crab-fishing by chimpanzees in the Nimba Mountains, Guinea. *Journal of Human Evolution*, 133: 230-241 doi: 10.1016/j.jhevol.2019.05.002

Lee W, Hayakawa T, Kiyono M, Yamabata N, Hanya G. (2020) Gut microbiota composition of Japanese macaques associates with extent of human encroachment. *American Journal of Primatology* (in press). 81: e23072. doi: 10.1002/ajp.23072

Leeuwen K, Matsuzawa T, Sterck EHM, Koops K (2020) How to measure chimpanzee party size? A methodological comparison. *Primates*. 61: 201-212 doi: 10.1007/s10329-019-00783-4

Liu J, Fitzgerald M, Liao H, Luo Y, Jin T, Li X, Yang X, Hirata S, Matsuzawa T. (2020) Modeling habitat suitability for Yunnan Snub-nosed monkeys in Laojun Mountain National Park. *Primates*. 61: 277-287. doi: 10.1007/s10329-019-00767-4

- Matsuda I, Chapman CA, Clauss M. (2019) Colobine forestomach anatomy and diet. *Journal of Morphology*. 280: 1608-1616. doi: 10.1002/jmor.21052
- Matsuda I, Espinosa-Gomez FC, Ortmann S, Sha JCM, Osman I, Nijboer J, Schwarm A, Ikeda T, Clauss M. (2019) Retention marker excretion suggests incomplete digesta mixing across the order primates. *Physiology & Behavior*. 208: 112558. doi: 10.1016/j.physbeh.2019.112558
- Matsuda I, Ihobe H, Tashiro Y, Yumoto T, Baranga D, Hashimoto C. (2020) The diet and feeding behavior of the black-and-white colobus (*Colobus guereza*) in the Kalinzu Forest, Uganda. *Primates*. (online first) doi: 10.1007/s10329-020-00794-6
- Matsuzawa T. (2019) Chimpanzees foraging on aquatic foods: algae scooping in Bossou. *Primates*. 60: 317-319. doi: 10.1007/s10329-019-00733-0
- Matsuzawa T. (2019) Horses and nomads in Mongolia. *Primates*. 60: 383-387. doi: 10.1007/s10329-019-00746-9
- Matsuzawa T. (2019) Bornean orangutans: primary forest in Danum Valley and rehabilitation program on Orangutan Island. *Primates*. 60: 477-483. doi: 10.1007/s10329-019-00771-8
- Matsuzawa T. (2020) WISH cages: constructing multiple habitats for captive chimpanzees. *Primates* 61(2): 139-148 doi: 10.1007/s10329-020-00806-5
- Miyabe-Nishiwaki T, MacIntosh AJJ, Kaneko A, Morimoto M, Suzuki J, Akari H, Okamoto M. (2019) Hematological and blood chemistry values in captive Japanese macaques (*Macaca fuscata fuscata*). *Journal of medical primatology*. 48: 338-350. doi: 10.1111/jmp.12434
- Morita T, Toyoda A, Aisu S, Kaneko A, Suda-Hashimoto N, Matsuda I, Koda H (2020) Animals exhibit consistent individual differences in their movement: A case study on location trajectories of Japanese macaques. *Ecological Informatics*. 56: 101057. doi: 10.1016/j.ecoinf.2020.101057
- Pene CHM, Muramatsu A, Matsuzawa T. (2020) Color discrimination and color preferences in Chimpanzees (*Pan troglodytes*). *Primates*. (online first) doi: 10.1007/s10329-020-00790-w
- Purba LHPS, Widayati KA, Suzuki-Hashido N, Itoigawa A, Hayakawa T, Nila S, Juliandi B, Suryobroto B, Imai H. (2020) Evolution of the bitter taste receptor TAS2R38 in colobines. *Primates*. (online first) doi: org/10.1007/s10329-020-00799-1
- Ringhofer M, Go CKC, Inoue S, Mendonça RS, Hirata S, Kubo T, Ikeda K, Yamamoto S. (2020) Herding mechanisms to maintain the cohesion of a harem group: two interaction phases during herding. *Journal of Ethology*. 38: 71-77. doi: 10.1007/s10164-019-00622-5
- Schofield D, Nagrani A, Zisserman A, Hayashi M, Matsuzawa T, Biro D, Carvalho S (2019) Chimpanzee face recognition from videos in the wild using deep learning. *Science Advances*. 5(9): eaaw0736. doi: 10.1126/sciadv.aaw0736
- Trösch M, Ringhofer M, Yamamoto S, Lemarchand J, Parias C, Lormant F, Lansade L. (2019) Horses prefer to solicit a person who previously observed a food-hiding process to access this food: A possible indication of attentional state attribution. *Behavioural Processes*. 166: 103906. doi: 10.1016/j.beproc.2019.103906
- 高野智. (2019) 化石記録は類人猿や初期人類の睡眠行動について何を語るか. 日本人類学会進化人類学分科会ニューズレター. 2019/04: 7-10.
- 高野智, 赤見理恵. (2019) 動物園が小学校に ~全学年が取り組む「1日モンキーデー」の試み~. 日本科学教育学会研究会研究報告. 33-8: 89-92. doi: 10.14935/jsser.33.8\_89
- Wilson V, Weiss A, Lefevre CE, Ochiai T, Matsuzawa T, Inoue-Murayama M, Freeman H, Herrelko ES, Altschul D. (2020) Facial width-to-height ratio in chimpanzees: Links to age, sex and personality. *Evolution and Human Behavior*. (online first) doi: org/10.1016/j.evolhumbehav.2020.03.001
- 山極壽一. (2019) 人間と地球の未来—霊長類学の視点から. 地球システム・倫理学会会報. 15: 79-90.
- (2) 書籍
- 川上文人. (2019) 笑顔の発達と進化. In: 川上清文, 高井清子 (編). 対人関係の発達心理学 子どもたちの世界に近づく, とらえる. 新曜社. pp. 54-81.
- Matsuda I, Clauss M. (2019) The ecology of browsing and grazing in other vertebrate taxa: Primates. In: Gordon IJ, Prins HHT (eds). *The Impacts of Grazing and Browsing*. Springer. pp. 378-382.
- 松沢哲郎 (編). (2019) 心の進化を語ろう: 比較認知科学からの人間探究. 岩波書店. 265pp.
- 中沢新一, 山極壽一. (2020) 未来のルーシー. 青土社. 230pp.
- 尾池和夫. (2019) In: 交通新聞社 (編). 心に輝く旅の宝箱. 交通新聞社.
- 山極壽一. 2019. ゴリラに学ぶ男らしさ. ちくま文庫. 293pp.
- Yamagiwa J. (2019) The Headwaters of the 'Exploration University'. In: Tanaka K (ed), *The Explorer Sven Hedin and Kyoto University: Central Asia Fosters Waste-West Cultural Exchange*. Kyoto University Press. pp. 147-151.
- 山極壽一. (2020) 人類の終末は物語の消滅と共にやってくる. In: 山極壽一, 村瀬雅俊, 西平直 (編). 未来創成学の展望—逆説・非連続・普遍性に挑む. ナカニシヤ書店. pp. 321-331.
- 山極壽一, 村瀬雅俊, 西平直 (編). (2020) 未来創成学の展望—逆説・非連続・普遍性に挑む. ナカニシヤ書店. 346pp.
- 山極壽一, 小原克博, (2019) 人類の起源、宗教の誕生: ホモ・サピエンスの「信じる心」が生まれたとき. 平凡社新書. 221pp.
- 山極壽一, 小川洋子, (2019) ゴリラの森、言葉の海. 新潮社. 222pp.
- Yamamoto S, Tokuyama N, Clay Z, Hare B. (2019) Chimpanzee and bonobo. In: Choe J. (Ed.) *the Encyclopedia of Animal Behavior*, 2nd edition. Elsevier. pp. 324-334.

(3) 連載・記事 (モンキー掲載分を除く)

① 尾池和夫 瓜生通信 (京都造形芸術大学)

「瓜生山歳時記」

#32 満開の桜とさまざまな入学式

2019年4月25日

#33 新緑と新樹の東山を歩く 5月27日

#34 梅雨の季節の瓜生山学園 6月25日

#35 瓜生山の朝焼と夕焼 7月25日

#36 新しい盆踊りイベントを大丸京都店と

8月25日

#37 望天館から見渡す秋の空 9月25日

#38 瓜生山から見る秋の雲 10月25日

#39 学食名物のおでん 11月25日

#40 キャンパスに溢れる冬の服装 12月25日

#41 望天館から見る冬満月 2020年1月25日

#42 聖バレンタインの日と尹東柱詩碑への献花

2月25日

#43 瓜生山の芽立ち 3月25日

② 尾池和夫 氷室 (氷室俳句会) 「京都の地球科学」

(300) 伊豆ジオパーク (一) 2019年4月号

(301) 伊豆ジオパーク (二) 5月号

(302) 新元号と地震 6月号

(303) 伊豆・小笠原諸島の活火山 7月号

(304) JAMSTEC の提案 8月号

(305) 南鳥島の特徴 9月号

(306) 広島のこと (一) 10月号

(307) 広島のこと (二) 11月号

(308) 金久美智子語録の再録 12月号

(309) 隠岐諸島で詠む 2020年1月号

(310) タール火山の噴火 2月号

③ 尾池和夫 氷室 (氷室俳句会) 「瓢鮎抄」

(一二四) 2019年4月号

(一二五) 5月号

(一二六) 6月号

(一二七) 7月号

(一二八) 8月号

(一二九) 9月号

(一三〇) 10月号

(一三一) 11月号

(一三二) 12月号

(一三三) 2019年1月号

(一三四) 2月号

(一三五) 3月号

④ 尾池和夫 氷室 (氷室俳句会) 「季語つれづれ番外」

2019年4月号～2020年3月号に(51)～(71)を連載

⑤ 尾池和夫 香雨 (香雨俳句会) 「ジオパーク吟行案内」

(四) 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク (1)

2019年4月号

(五) 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク (2) 5月号

(六) 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク (3) 6月号

(七) 隠岐ユネスコ世界ジオパーク (1) 7月号

(八) 隠岐ユネスコ世界ジオパーク (2) 8月号

(九) 隠岐ユネスコ世界ジオパーク (3) 9月号

(一〇) 隠岐ユネスコ世界ジオパーク (4) 10月号

(一一) 11月号

(一二) 12月号

(一三) 伊豆大島ジオパーク (1) 2020年1月号

(一四) 伊豆大島ジオパーク (2) 2月号

(一五) 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク (1)

3月号

⑥ 山極壽一 朝日新聞『科学季評』

大絶滅時代を迎えた地球一種の保存野生の中でこそ

2018年5月12日

AI社会 新たな世界観を 8月8日

真実につながる「物語」を 11月10日

増え広がる野生動物—共存の道 広い学識で探れ

2019年2月9日

⑦ 山極壽一 ひと・健康・未来『ゴリラレポート』

第6回 敗者を作らない社会 Vol. 21: p. 38

第7回 離乳期と思春期 Vol. 22: p. 38

最終回 ゴリラの社会と人間家族の起源

Vol. 23: p. 38

⑧ 岩波書店『科学』連載

「ちびっこチンパンジーから広がる世界」

松沢哲郎. (2019) ブータン：環境教育と国民総幸福量 (GNH). (第208回). 科学. 89: 310-311.

松沢哲郎. (2019) 33年目の野生チンパンジー調査. (第209回). 科学. 89: 414-415.

森村成樹, 森裕介. (2019) ドローンで迫るスナメリの世界. (第211回). 科学. 89: 660-661.

松沢哲郎, カテリーナ・クープス. (2019) 人類が水中の食物を食べる起源：野生チンパンジーの水藻すくいとサワガニ採集. (第212回). 科学. 89: 740-741.

川口ゆり, 狩野文浩, 友永雅己. (2018) チンパンジー、ボノボ、ヒト、それぞれの赤ちゃんへの関心. (第213回). 科学. 89: 842-843.

松沢哲郎, 林美里. (2019) ボルネオのオランウータン：原始の森と野生復帰プログラム. (第215回). 科学. 89: 1024-1025.

クリスティン・ハーバーキャンプ, 綿貫宏史朗, 友永雅己, 松沢哲郎, 平田聡. (2019) チンパンジーの平均寿命. (第216回). 科学. 89: 1130-1131.

松沢哲郎. (2020) 比較認知科学実験用大型ケージ(WISH ケージ)の成り立ち. (第217回). 科学. 90: 76-77.

⑨ 犬山市 広報犬山「モンキーレポート」

第25回 ゴールデンマンガベイのリート

2019年4月15日号

三宅菜穂美

第26回 アマゾンにすむ100gの小さなサル

2019年5月15日号

寺尾由美子

第27回 アジルテナガザルと異種同居

2019年6月15日号

山田将也

第28回 フサオマキザルへ涼しいプレゼント

2019年7月15日号

土性亮賀

第29回 ヨザルの同居

2019年8月15日号

阿野隆平

第30回 ブラウンキツネザル仲良しカップル

2019年9月15日号

市原涼輔



- 第31回 ベルベットモンキー どうしてしっぽが長いのか？  
2019年10月15日号 阪倉若菜
- 第32回 白いのは「手」なんです！シロテテナガザル  
2019年11月15日号 藤森唯
- 第33回 角刈りマントのアビシニアコロブス  
2019年12月15日号 根本真菜美
- 第34回 ニホンザルそっくり!?でも尾が長いタイワンザル  
2020年1月15日号 赤見理恵
- 第35回 ベルーククロクモザルと栗栖時代の記憶  
2020年2月15日号 仙石久子
- 第36回 頭が特徴的な『マカク』トクモンキー  
2020年3月15日号 武田康祐

⑩ その他新聞記事

- 小川洋子、山極寿一. (2019) 言葉にならぬ大切なこと. 朝日新聞夕刊: 2019年7月3日.
- 尾池和夫. (2019) 京大発「変人のすゝめ」酒井敏教授刊行. 読売新聞大阪夕刊: 2019年4月11日.
- 尾池和夫. (2019) 京大の花山天文台 タダノが運営支援計1億円寄付へ. 四国新聞朝刊: 2019年4月18日.
- 尾池和夫. (2019) 市民・研究者の拠点 閉鎖危機 京大花山天文台に1億円. 京都新聞朝刊: 2019年4月18日.
- 尾池和夫. (2019) 『常夜灯』院退院のくり返し. 高知新聞朝刊: 2019年4月22日.
- 尾池和夫. (2019) 花山天文台: 企業の寄付で存続 予算削減、政策に疑問符. 毎日新聞: 2019年4月22日.
- 尾池和夫. (2019) 地方行財政や防災充実 東海市長会の決議案決定 県市長会. 静岡新聞朝刊: 2019年4月24日.
- 尾池和夫. (2019) 大地に学び防災考える 県公立大学法人 尾池理事長が講演. 中日新聞朝刊: 2019年4月25日.
- 尾池和夫. (2019) 花山天文台、存続 高松の企業、1億円寄付. 朝日新聞大阪地方版/京都: 2019年4月26日.
- 尾池和夫. (2019) 星をみつめて 京大花山天文台から1面連動拡大版. 京都新聞朝刊: 2019年5月16日.
- 尾池和夫. (2019) (黒板) 関西俳句大会【大阪】. 朝日新聞大阪夕刊: 2019年5月22日.
- 尾池和夫. (2019) 岩泉 三陸ジオに理解深めて 来月フォーラム. 岩手新聞朝刊: 2019年5月24日.
- 尾池和夫. (2019) 京大花山天文台90年 来月2日、左京で記念式. 朝日新聞大阪地方版: 2019年5月31日.
- 尾池和夫. (2019) 『天眼』尾池和夫, 心臓のアブレーションと新元号. 京都新聞: 2019年6月9日
- 尾池和夫. (2019) 三陸防災復興プロジェクト2019 大地の魅力 再認識. 岩手新聞朝刊: 2019年6月9日.
- 尾池和夫. (2019) 『常夜灯』心臓のアブレーションと新元号. 高知新聞朝刊: 2019年6月24日.
- 尾池和夫. (2019) ジオパークで考える防災-日本で10年、地域活性化に課題. 日本経済新聞朝刊: 2019年6月30日.
- 尾池和夫. (2019) 地域活性化へ連携 天草市が京大造形芸術大と協定. 熊本日日新聞朝刊: 2019年7月8日.

- 尾池和夫. (2019) 対話の精神 どこへいった 京大・吉田寮訴訟を考える視点 京大元総長尾池和夫氏 東大・駒場寮OB 松本博文氏. 京都新聞朝刊: 2019年7月10日.
- 尾池和夫. (2019) まちかど 8日 丹後中丹. 京都新聞朝刊: 2019年8月8日.
- 尾池和夫. (2019) 成り立ちや地震 丹後半島を知る 京丹後でフォーラム. 京都新聞朝刊: 2019年8月12日.
- 尾池和夫. (2019) 地震火山こどもサマースクール: 自然災害、理解深める. 毎日新聞地方版. 2019年8月15日.
- 尾池和夫. (2019) 『天眼』大学の基本理念とは. 京都新聞: 2019年8月25日.
- 尾池和夫. (2019) 京都造形芸術大: 改名、市立芸術大が反発 京都芸術大に波紋. 毎日新聞大阪夕刊: 2019年8月28日.
- 尾池和夫. (2019) 『常夜灯』大学の基本理念とは. 高知新聞朝刊: 2019年9月16日.
- 尾池和夫. (2019) 平成の大地震振り返る 下京で京大防災研などセミナー. 京都新聞朝刊: 2019年9月16日.
- 尾池和夫. (2019) 阪神・淡路大震災25年<災間を生きる 震災人脈>(1)震度「5の強」. 神戸新聞朝刊. 2019年10月12日.
- 尾池和夫. (2019) 朝日カルチャーセンター 活断層と巨大地震の関係は. 朝日新聞大阪. 2019年10月17日.
- 尾池和夫. (2019) 阪神・淡路大震災25年<災間を生きる 震災人脈>特別編. 神戸新聞朝刊: 2019年10月26日.
- 尾池和夫. (2019) 東海道五拾三次絵巻の複製版 県立大付属図書館で披露. 中日新聞朝刊: 2019年10月31日.
- 尾池和夫. (2019) 人を対象の研究 学内で可能に 県立大が臨床施設開所. 静岡新聞朝刊. 2019年10月31日.
- 尾池和夫. (2019) 病気予防や健康増進の拠点 県立大臨床研究施設を開設. 静岡新聞朝刊. 2019年10月31日.
- 尾池和夫. (2019) 『天眼』伝わるということ. 京都新聞. 2019年.
- 尾池和夫. (2019) 静岡の大地. 静岡新聞: 2019年11月4日
- 尾池和夫. (2019) 歌川広重の絵巻 原寸大で復刻展示 県立大付属図書館. 静岡新聞朝刊: 2019年11月6日.
- 尾池和夫. (2019) 『常夜灯』伝わるということ, 高知新聞, 2019.11.18 朝刊
- 尾池和夫. (2019) ジオパーク活用を考える 豊後大野などで全国大会=大分. 読売新聞西部朝刊: 2019年11月23日.
- 尾池和夫. (2019) 『新聞を読んで』 印字された言葉. 高知新聞朝刊: 2019年12月16日.
- 尾池和夫. (2020) 『天眼』放射性廃棄物の処分場. 京都新聞: 2020年1月12日
- 尾池和夫. (2020) 『常夜灯』放射性廃棄物の処分場. 高知新聞朝刊: 2020年1月20日.
- 尾池和夫. (2020) 薬草園の未来. 静岡新聞: 2020年3月2日.

尾池和夫. (2020) 『天眼』 大学の危機管理とは何か, 京都新聞: 2020年3月22日.

尾池和夫. (2020) 県立大発まんが しずおかのDNA (13) = 葉草園の未来 葉学研究、生涯学習の場(尾池和夫/県立大理事長、地球科学). 静岡新聞朝刊: 2020年3月2日.

山極寿一. (2019) ゴリラに学ぶ新時代のインフラ論. 日本下水道新聞: 2019年4月3日.

山極寿一. (2019) 季評 ジャポニズムと先端技術—溶け合う文化を今こそ. 朝日新聞朝刊: 2019年5月9日.

山極寿一. (2019) 論点 変化する科学と社会. 毎日新聞朝刊: 2019年5月17日.

山極寿一. (2019) 科学季評 自然が持つ主体性とは—人間だけが「考える」のか. 朝日新聞朝刊: 2019年8月8日.

山極寿一. (2019) 科学季評 大学のいる未来図—ディストピアを振り払う. 朝日新聞朝刊: 2019年11月14日.

山極寿一. (2020) 科学季評 「小さきもの」遊ばせて吉. 朝日新聞朝刊: 2020年2月13日.

#### (4) そのほか執筆

林美里. (2019) チンパンジー研究者、母になる—ヒトの生後五歳六カ月から六歳までの発達. 発達. 158: 95-102.

林美里. (2019) チンパンジー研究者、母になる—ヒトの生後六歳から六歳六カ月までの発達. 発達. 160: 94-101.

平田晃久, 山極寿一. (2020) 集団の記憶と本の並びが結びつく—ここはジャングルで本はフルーツだ! つくる・すむ・ひらく「北大路ハウス」. 新建築. 2020年3月増刊: 130-131.

平田聡, リングホーファー萌奈美, 井上漱太, 前田玉青, 越智咲穂, 山本真也. (2019) 野生ウマの社会—ポルトガル・アルガ山のガラノ種の事例を中心に. 生物の科学 遺伝. 73(3): 230-236.

伊谷原一. (2019) ボノボー子殺しの無い父系母権社会—季刊「チルチンびと」2019夏 100号: 116-119.

伊谷原一. (2020) 回想、ザイール共和国. ヒトと動物の関係学会誌. 54: 6-7.

松沢哲郎. (2019) 「ウマ学」への展望. 生物の科学・遺伝. 73: 222-229.

松沢哲郎. (2019) 「サル学」から「ウマ学」へ: 今西錦司と梅棹忠夫のパイオニアワークを逆にたどる. 京都大学学士山岳会 Newsletter. 89: 1-8.

松沢哲郎, 坂本龍太, 西谷祐子, 加藤恵美子, 竜野真維, 松井一純, 松永倫紀, 山極寿一. (2019) ブータンの国民総幸福量 (GNH) をめぐる旅: 京都大学ブータン友好プログラム2018(第17次隊)の報告. ヒマラヤ学誌. 20: 2-23.

西山武志, 山本真也. (2019) 信頼の進化生物学—チンパンジーから考えるこれからのヒト社会のかたち. New Trust. Vol. 0: 38-41.

小川洋子, 山極寿一, 坂本英房. (2019) ゴリラのオスは、えらいよ、つらいよ. 波. 2019.6月号: 30-33.

尾池和夫. (2019) その時、俳句手帳 京大式カードを愛用する. 俳句四季. 505: 46-47.

尾池和夫. (2020) ~随想~日本ジオパークの十年. 學士会会報. 941.

尾池和夫. (2020) [日本を動かす真の脈] 高校風土記

第5回 高知県. サンデー毎日. 2020年3月22日. 奥正之, 山西健一郎, 山極寿一. (2019) GLOBAL and ORIGINAL どこにもない京都大学へ. Kyoto University Now. 2: 2-5.

西園寺裕夫, 山極寿一. (2019) 自由、国際、平和。創設に込められた思いを未来へつなぎ、京都大学にしかできない教育を. Kyoto University Now. 1: 6-9.

田中優子, 山極寿一. (2019) 総長対談. HOSEI. 2020(1,2): 4-5.

辰野勇, 山極寿一. (2019) ゴリラに学ぶ、人間のあり方. OUTWARD. 84: 6-10.

山極寿一. (2019) ゴリラの視点が生む人類の未来 Next Challenge. 週刊文春. 4月18日60周年特大号: 98.

山極寿一. (2019) 五感で他者とつながる この人類の原点を失ってはいけない—霊長類から考える、人間の共同性とその時代. Philanthropy. 392: 2-7.

山極寿一. (2019) 言葉がヒトにもたらした世界. 言の葉大賞 Concept Book. 2019 春号: 8-26.

山極寿一. (2019) 負けず嫌いの心を育てる. 母のひろば. 662: 1.

山極寿一. (2019) 自然は考えているか? 公研. 671: 16-17.

山極寿一. (2019) 感覚的身体論: ゴリラと「なってみる」ことで人間のあり方が見えてきます. Tarzan. 34(16): 74.

山極寿一. (2019) 感覚的身体論: 味覚、嗅覚、触覚の複雑こそ人間の豊かさにつながります. Tarzan. 34(17): 80.

山極寿一. (2019) 「だますよりは、だまされる」、いい言葉、いい人生. PHP. 857: 41-47.

山極寿一. (2019) タロウはバカではない。人間がバカになったのだ。タロウのバカ REVIEW. 23.

山極寿一. (2019) 非婚時代の男の生き方. 青淵. 847: 3-4.

山極寿一. (2019) AI 社会 新たな世界観を. 日本文藝家協会編『ベストエッセイ2019』(光村図書). 162-166.

山極寿一. (2019) 村上ワールドで過去と未来に出会う. 特集村上春樹作家生活40年. 文學界. 73(12): 32-34.

山極寿一. (2019) 人間だけが「考える」のか 自然が持つ主体性とは. 昭和経済. 70(11): 41-44.

山極寿一. (2019) 未来の大学像を求めて. 結晶—地球文明社会への大転換の時代を先導する学園(大学)づくり(中部大学編). 62-64.

山極寿一. (2019) 人間家族の由来—ゴリラの社会から考える. 2018年度東京学校臨床心理研究会活動報告書別冊 スクールカウンセラー研修会(アドバンスト)講演記録. (一般社団法人東京公認心理協会学校臨床心理研究会編). 11-26.

山極寿一. (2019) 大学を未来のコミュニティに、会誌2020, No.55, pp. 30-31.

山極寿一. (2020) ヒトは再び遊動生活をはじめ. 文芸春秋. 98(2): 306-313.

山極寿一. (2020) 複線型人生のススメ 新春随想. 信用金庫. 1月号: 8-9.

山極寿一. (2020) ともに生きるための人文科学を. 公研. 677: 16-17.

山極寿一. (2020) ジャングルの中で読む本 書物逍遥. ミネルヴァ通信「究」. 107: 1.

山極寿一. (2020) 学術の展望と京都大学の未来. 第23回京都大学全学シンポジウム報告書「2040年に向けた京都大学の教育のグランドデザイン」. 55-69.

山極寿一. (2020) 日本人の自然観と未来への展望. 月刊

住職. 255: 60-64.

山極寿一. (2020) 死と生の「間」にいる高齢者の役割. Voice 令和2年3月号, pp. 18-25.

山極寿一. (2020) 京都から新しい建築を考える. つくる・すむ・ひらく「北大路ハウス」. 新建築. 2020年3月増刊: 132-133.

山極寿一. (2020) ゴリラから見た人間社会の少子化と子育て. 梅の実だより. 50: 14-15.

山極寿一. (2020) 人類の進化にあった教育とは何か. 季刊栄養教諭—食育読本—. 春 59号: 6-13.

山極寿一. (2019) 効率化優先 現場は疲弊. 『誰が科学を殺すのか』(毎日新聞「幻の科学技術立国」取材班編). 161-163.

山極寿一, 井上智洋, 木越康, 藤原正寿. (2019) A I × ゴリラ × 仏教. Sein. 17: 6-31.

山極寿一, 小山鐘平. (2019) だからわたしは食べる. 素01. 3-5.

山折哲雄, 山極寿一. (2019) 組織を生かす「共感能力」を取りもどせ. 理念と経営. 2019 December: 7-14.

## 6. 学会参加

(附属動物園部、学術部のみ。JMCで開催したものを除く)

### (1) 平成30年度日本科学教育学会第8回研究会

日程: 2019年6月22日

会場: 愛知教育大学 (愛知県刈谷市) 高野智

### (2) The 14th International Conference on Environmental Enrichment

日程: 2019年6月22日~6月26日

会場: 京都大学 (京都府京都市)

友永雅己、林美里、新宅勇太、赤見理恵、田和優子  
根本慧、荒木謙太、石田崇斗、阿野隆平、武田康祐

### (3) 第35回日本霊長類学会大会

日程: 2019年7月12日~7月14日

会場: 熊本市国際交流会館 (熊本県熊本市)

友永雅己、林美里、赤見理恵、新宅勇太

### (4) 飼育野生動物栄養研究会2019年度大会

日程: 2019年11月16日~11月17日

会場: 中部大学 (愛知県春日井市) 木村直人

### (5) The 7th Asian Zoo Educators Conference

日程: 2019年11月25日~11月28日

会場: Khum Kham International Convention Centre

Chiangmai (Chiangmai, Thailand) 赤見理恵

### (6) 第60回日本動物園水族館教育研究会柏大会

日程: 2019年12月14日~12月15日

会場: 東京大学大気海洋研究所 (千葉県柏市)

赤見理恵

## 7. 学会・研究会での発表

赤見理恵, 高野智. (2019) 学校における野生動物保全教育の実施状況と動物園活用の可能性. 第35回日本霊長類学会大会. (熊本県熊本市)

赤見理恵, 高野智. (2019) 小中学校における野生動物保全教育の実施状況と動物園活用の可能性. 第60回日本動物園水族館教育研究会柏大会. (千葉県柏市)

Akami R, Takano T, Eto A, Shintaku Y, Matsuda I, Tomonaga M. (2019) Inviting zoo-visitors to the natural habitat -Advantages of an eco-tour conducted by a zoo-. The 7th Asian Zoo Educators Conference. (Chiang Mai, Thailand)

Akami R, Takano T, Shintaku Y, Eto A, Sakakura W, Kagami Y, Watanuki K, Tomonaga M. (2019) Enrichment experience activity in the wild summer camp. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)

Allanic M, Hayashi M, Furuichi T, Matsuzawa T. (2019) Social influence on allogrooming behavior in wild bonobos at Wamba, DRC. The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (Inuyama, Aichi)

Allanic M, Hayashi M, Tomonaga M, Furuichi T, Hirata S, Matsuzawa T. (2019) Reciprocal turn-taking of social grooming in captive and wild *Pan* species. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)

阿野隆平. (2019) ヨザルにおけるメス同士の同居による問題行動の低減について. 日本動物園水族館協会第119回中部ブロック飼育技術者研修会. (愛知県岡崎市)

阿野隆平, 鏡味芳宏, 田中ちぐさ, 新宅勇太. (2019) ヨザルにおけるメス同士の同居による行動の変化と問題行動の低減について. 第22回SAGAシンポジウム. (愛知県犬山市)

Ano R, Kagami Y, Watanuki K. (2019) Evaluation of social enrichment in cohabitation between female owl monkeys? The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)

Araki K, Oshima Y, Watanuki K. (2019) Improve living environment and animal welfare of anubis baboon based on experience in natural habitat. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)

荒木謙太, 綿貫宏史朗, 伊谷原一. (2019) 日本の動物園におけるパタスモンキーの個体情報. 日本動物園水族館協会第21回種保存会議. (北海道札幌市)

Brooks J, Kano F, Yamamoto S. (2019) Oxytocin has opposite effects on eye contact in bonobos and chimpanzees. 13th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (京都府京都市)

Brooks J, Kano F, Yamamoto S. (2019) Effects of oxytocin on chimpanzee social attention. 日本霊長類学会第35回大会 (熊本県熊本市)

Brooks J, Kano F, Yamamoto S. (2019) Effects of oxytocin on bonobo and chimpanzees gaze. 日本動物心理学会第79回大会 (神奈川県川崎市)

Costa R, Hayashi M, Huffman MA, Kalema-Zikusoka G, Ajarova L, Bercovitch F, Tomonaga M. (2019) Assessment of the current impact of mountain gorilla ecotourism in Bwindi National Park, Uganda. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)

Costa R, Hayashi M, Huffman MA, Kalema-Zikusoka G, Ajarova L, Takeshita R, Bercovitch F, Tomonaga M. (2019) Assessment of the impact of mountain gorilla ecotourism in Bwindi National Park, Uganda. The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (Inuyama, Aichi)

- Costa R, Hayashi M, Huffman MA, Kalema-Zikusoka G, Ajarova L, Takeshita R, Bercovitch F, Tomonaga M. (2019) The impact of ecotourism in the behaviour of mountain gorillas in Bwindi Impenetrable National Park, Uganda. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)
- Gao J, Tomonaga M. (2019) How Chimpanzees Perceive Other Species: Embodied and Visual Expertise. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- Gao J, Tomonaga M. (2019) Chimpanzees can detect strangeness in bodies: an eye-tracking study. The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (Inuyama, Aichi)
- Gonçalves A, Tomonaga M. (2019) Managing death in social animals: The case for non-human primates. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- Griss VN, Bezerra de Melo Daly G, Miyabe-Nishiwaki T, Kaneko A, Yamanaka A, Suzuki J, Hayashi M, Tomonaga M, Matsuzawa T. (2019) Boundaries between humans and captive chimpanzees: two cases of intensive care in Japan. The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (Inuyama, Aichi)
- Gris VN, Bezerra de Melo Daly G, Miyabe-Nishiwaki T, Kaneko A, Yamanaka A, Suzuki J, Hayashi M, Tomonaga M, Matsuzawa T. (2019) Boundaries between humans and captive chimpanzees: Two cases of intensive care in Japan. 18th Brazilian Congress of Primatology. (Teresópolis, Brazil)
- Gris V, Miyabe-Nishiwaki T, Muta K, Broshe N Jr, Finka L, Kaneko A, Okamoto M, Huffman MA, Suzuki J, Nishimura R, Mills D. (2019) Facial expressions of acute pain in Japanese macaques: development of an assessment tool. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- Havercamp K, Morimura N, Hirata S. Do chimpanzees' sleep patterns change with age? Looking back a decade. The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (Kyoto, Japan)
- Havercamp K, Morimura N, Hirata S. Do chimpanzees' sleep patterns change with age? Looking back a decade. International Student Symposium on Animal Behavior and Cognition. (Kyoto, Japan)
- Havercamp K, Nogami E, Mori Y, Hirata S. Monitoring sleep in captive chimpanzees to enhance welfare. The 14th International Conference on Environmental Enrichment (ICEE). (Kyoto, Japan)
- 林美里. (2020) 大型類人猿の親子関係から見たヒトの「親性」の進化的起源. 第 3 回「親性」研究会, (京都府京都市)
- Hayashi M, Costa R, Maeda N. (2019) Change of behavior and space use in a captive group of chimpanzees after an expansion of enclosures. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- 林美里, 竹下秀子 (2019) チンパンジーとヒト幼児の入れ子のカップ操作にみる階層性と効率性の発達. 第 35 回日本霊長類学会大会. (熊本県熊本市)
- 市原涼輔. (2019) インターネット寄附の取り組み. 第 118 回日本動物園水族館協会中部ブロック飼育技術者研修会. (福井県鯖江市)
- Inoue S, Torney C, Yamamoto S, Ringhofer M, Mendonça R, Hirata S. (2019) Collective departure in feral horses: combining wild animals with drone. SWARM2019: The 3rd International Symposium on Swarm Behavior and Bio-inspired Robotics. (沖縄県恩納村)
- Inoue S, Torney C, Yamamoto S, Ringhofer M, Mendonça R, Hirata S. (2019) Collective departure in feral horses. The 12th international symposium of primatology and wildlife science, Aichi, Japan, September, 2019 (愛知県犬山市)
- Inoue S, Yamamoto S, Ringhofer M, Mendonça R, Hirata S. (2019) Differences in spatial positioning of individuals among feral horse groups. The 2nd international wild equid conference. (Prague, Czech Republic)
- Inoue S, Fukazawa K, Yamamoto S, Ringhofer M, Mendonça R, Hirata S. (2019) Estimation of force working between individuals in feral horses. ASAB summer conference 2019. (Konstanz, Germany)
- Inoue S, Yamamoto S, Ringhofer M, Mendonça R, Hirata S. (2019) Lateral position preferences in feral horses. Behavior 2019 (Chicago, USA)
- Inoue S, Yamamoto S, Ringhofer M, Mendonça R, Hirata S. (2019) Differences in spatial positioning of individuals among feral horse groups. JSPS- The 8th international workshop on tropical biodiversity and conservation. (Manaus, Brazil)
- Ishida S, Yamada M, Uchikoshi M. (2019) Environment enrichment for gibbons. The 14th International Conference on Environmental Enrichment.(京都府京都市)
- 伊藤理絵, 水野友有, 近藤龍彰, 川上文人, 村上太郎. (2020) 子どもの笑いの測定と評価—笑う・笑わせる・笑われる—の観点から見えてくる課題と可能性—. 日本発達心理学会第 31 回大会.
- Kawaguchi Y, Kano F, Tomonaga M. (2019) Chimpanzees, but not bonobos, attend more to infant than adult conspecifics. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- Kawaguchi Y, Nakamura K, Kano F, Tomonaga M. (2019) The role of facial shape and color in chimpanzee's attention to infant. The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (Inuyama, Aichi)
- 木村直人, 寺尾由美子, 鏡味芳宏, 東峯万葉, 廣澤麻里, 岡部直樹, 新宅勇太, 伊谷原一. (2019) イヌ用体脂肪計を用いて測定したサル類の体脂肪率と栄養管理目標の策定について. 飼育野生動物栄養研究会 2019 年度大会. (愛知県春日井市)
- 北山遼, 根本慧, 田和優子, 綿貫宏史朗, 早川卓志. (2019) モンキーセンターのクモザルは 3 種じゃない!?. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)
- 北山遼, 根本慧, 田和優子, 綿貫宏史朗, 早川卓志. (2019) 新世界ザルにおける集団遺伝学的解析のための汎用遺伝マーカーの検証. 第 5 回北海道大学部局横断シンポジウム. (北海道札幌市)

- Maeda T, Ochi S, Ringhofer M, Hirata S, Yamamoto S. (2019) Multi-level structure in feral horse society: Evidence from the aerial observation from drones. SWARM 2019: The 3rd International Symposium on Swarm Behavior and Bio-inspired Robotics. (沖縄県恩納村)
- Maeda T, Ochi S, Ringhofer M, Hirata S, Yamamoto S. (2019) Multi-level structure in feral horse society: Evidence from the aerial observation from drones. 12th International Symposium of Primatology and Wildlife Science. (愛知県犬山市)
- Maeda T, Ochi S, Ringhofer M, Hirata S, Yamamoto S. (2019) Multi-level structure in feral horse society: Evidence from the aerial observation from drones. 2nd International Wild Equid Conference. (Prague, Czech Republic)
- Ochi S, Ringhofer M, Hirata S, Yamamoto S. (2019) Multi-level structure in feral horse society: Evidence from the aerial observation from drones. ASAB Summer Conference 2019. (Konstanz, Germany)
- 正藤陽久, 飯田伸弥, 木村加奈子, 桃井保子, 斎藤渉, 宮部貴子, 兼子明久, 斎藤高, 斎藤香里, 秋葉悠希. (2019) 内歯瘻および外歯瘻を繰り返したチンパンジーの歯科治療: 1 症例報告. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)
- Matsuda I. (2019) Evolution of Primate Multilevel Social System: Proboscis Monkey Society As Complex System. The 7th International Congress on Cognitive Neurodynamics. (Alghero, Italy)
- Matsuda I, Bernard H, Tuuga A, Nathan SKSS, Sha JCM, Osman I, Sipangkui R, Seino S, Asano S, Wong A, Kreuzer M, Saldivar DAR, Clauss M. (2019) Connection between wild and captivity: a case study on endangered proboscis monkeys. 14th International Conference on Environmental Enrichment. (Kyoto, Japan)
- 松田一希, Tuuga A, Goossens B, Nathan SKSS, Stark DJ, Ramirez DAR, van Schaik C, 香田啓貴. (2019) 鼻は歯より強し: 大きいテングザルは小さい犬歯をもつ. 第 35 回日本霊長類学会大会. (熊本県熊本市)
- 松沢哲郎, 赤見理恵, 大島悠輝, 奥村太基, 鏡味芳宏, 北原愛子, 新宅勇太, 鈴木崇史, 武田康祐, 田中早陽子, 廣澤麻里, 星野智紀, 森村成樹, 横坂楓, リウ・ジエ, 幸島司郎, 杉山茂. (2019) 妙高高原笹ヶ峰の野生ニホンザルの四季. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)
- 南俊行, 板原彰宏, 横坂楓, 乾真子, 鈴木崇文, 松沢哲郎. (2019) 都井岬に生息する御崎馬の観察と簡易調査. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)
- 中嶋智史, 高野裕治, 須藤竜之介, 川上文人, 幸田正典, 石原尚, 平石界. (2019) 表情のはじまり—表情の社会的機能とユニバーサルティ—. 日本心理学会第 83 回大会. (大阪府茨木市)
- 中村千晶, 新宅勇太, 綿貫宏史朗, 工藤朝雄, 添野雄一. (2019) オランウータン臓器の病理学的考察〜日本モンキーセンター所蔵液浸標本から〈第 2 報〉〜. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)
- 中村美穂. (2020) 大義名分掲げるの、やめてみない? 第 7 回京都大学学際研究着想コンテストフォローアップ大会. (京都府京都市)
- Nemoto K, Yamanashi Y, Watanuki K, Dosyo A, Pastrana JA. (2019) Improving living environment of lesser slow loris. The 14th International Conference on Environmental Enrichment (京都府京都市)
- 奥村太基, 星野智紀, 大島悠輝, 今井由香, 安倍由里香, 根本真菜美. (2019) 日本モンキーセンターにおける飼料の取り組み. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)
- 大西絵奈, Brooks J, 新宅勇太, 伊谷原一, 山本真也. (2019) 野生ボノボにおける食文化の検討: 異なる 2 つの環境での食物レパートリーの比較. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)
- Onishi E, Brooks JG, Shintaku Y, Idani G, Yamamoto S. (2019) Preliminary behavioral survey of bonobos in Mbali, savanna-forest mosaic environment. The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (Inuyama, Aichi)
- 大西絵奈, Brooks J, 山本真也. (2019) 飼育チンパンジー (Pan troglodytes) における排尿タイミングの同期 日本動物行動学会第 38 回大会. (大阪府大阪市)
- 大西絵奈, Brooks J, 山本真也. (2019) 飼育チンパンジーにおける生理反応の同期. 日本人間行動進化学会第 12 回大会. (東京都港区)
- 大島悠輝, 山田将也, 荒木謙太, 石田崇斗, 打越万喜子. (2019) ニホンザル人工哺育個体の早期社会復帰から複雑雌群形成までの取り組み ~代理母をもちいた事例~. 日本動物園水族館協会第 67 回動物園技術者研究会. (大阪府大阪市)
- Ringhofer M, Go CKC, Inoue S, Mendonça RS, Hirata S, Kubo T, Ikeda K, Yamamoto S. (2019) Herding mechanisms to maintain the cohesion of a harem group: two interaction phases during herding. The 2nd International Wild Equid Conference. (Prague, Czech Republic)
- Ringhofer M, Mendonça RS, Yamamoto S, Hirata S, Matsuzawa T. (2019) Mechanism to maintain group cohesion: communication of feral horses (*Equus caballus*) living in Serra d'Arga, Portugal. Protolang 6. (Lisboa, Portugal)
- Sakuraba Y, Yamada N, Takahashi I, Kawakami F, Takashio J, Takeshita H, Hayashi M, Tomonaga M. (2019) Evaluating of physical state on a female chimpanzee with cerebral palsy: a case study. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- Shintaku Y. (2019) Learn from past zoo animals: temporal change of morphology in captive Japanese Yaku macaques. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- 高野智, 赤見理恵. (2019) 動物園が小学校に ~全学年が取り組む「1 日モンキーデー」の試み~. 平成 30 年度日本科学教育学会第 8 回研究会. (愛知県刈谷市)
- 田和優子. (2019) マレーバクの雌雄は塩場で出会う. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)
- 友田珠代, 林美里, 金森朝子. (2019) オランウータンの食べ物〜マレーシアにおける野生・飼育と日本の動物園の比較. 第 22 回 SAGA シンポジウム. (愛知県犬山市)

- Tomonaga M, Kawasaki Y, Tanaka Y. (2019) Behavioral biometrics for the chimpanzees. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- Tomonaga M, Kumazaki K, Pereira C, Matsuzawa T. (2019) Use of the touchpanel system for exploring the horse mind. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- 友永雅己, Lehtonen S. (2019) チンパンジーには黒目がちな瞳がわからない. 第22回SAGAシンポジウム.(愛知県犬山市)
- Trösch M, Ringhofer M, Yamamoto S, Lemarchand J, Parias C, Lormant F, Lansade L. (2019) Horses take into account whether a human has previously observed a food-hiding event to decide whom to solicit to access this food. 日本動物心理学会第79回大会.(神奈川県川崎)
- 薦谷匠, Mackie ME, 宮部貴子, Cappellini E. (2019) ニホンザル糞のプロテオミクス分析による乳由来タンパク質の検出. 第35回日本霊長類学会大会.(熊本県熊本市)
- 打越万喜子. (2019) 第1回と第2回の「国際テナガザル会議」に参加して. 第22回SAGAシンポジウム.(愛知県犬山市)
- Wilson D, Tomonaga M. (2019) Exploring attentional bias towards emotional faces in chimpanzees using the dot probe task. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- Xu S, Tomonaga M. (2019) Video-real world matching in chimpanzees. 第22回SAGAシンポジウム.(愛知県犬山市)
- Xu S, Tomonaga M. (2019) Video-real world matching in chimpanzees. The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (Inuyama, Aichi)
- Xu S, Yamada K, Nakamichi M, Tomonaga M. (2019) Sensitivity to workload: prioritizing behavior of a three-choice task in free-ranging Japanese macaques. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- Yamada N, Takeshita H, Takashio J, Sakuraba Y, Takahashi I, Kawakami F, Hayashi M, Tomonaga M. (2019) Developmental Support of Chimpanzee with Cerebral Palsy. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- Yamamoto S. (2019) Investigation of social structure of feral horses using drones. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- 山崎愛理沙, 中村達朗, 宮部貴子, 平田暁大, 井上理香子, 小林幸司, 宮崎悠介, 石上暁代, 兼子明久, 小泉誠, 太田裕貴, 岡野ジェイムス洋尚, 村田幸久. (2019) マーモセット消耗症候群における尿中脂質代謝産物の産生プロファイル. 第66回日本実験動物学会総会.(福岡県福岡市)
- Yokoyama M, Tomonaga M. (2019) Perception of object texture in chimpanzees and humans: a research plan. The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science. (Inuyama, Aichi)
- 吉川翠, 小川秀司, 伊谷原一. (2019) タンザニアの乾燥疎開林地帯に生息するチンパンジーの直接観察事例. 第35回日本霊長類学会大会.(熊本県熊本市)
8. 講演
- 安藤忠雄, 山極寿一, 桑原知子. (2019) 第14回京都大学ホームカミングデー「挑む」パネルディスカッション.(京都府京都市)
- Hayashi M. (2019) Hierarchical complexity in stone-tool use by wild chimpanzees and nesting-cup manipulation by captive chimpanzees. Invited Symposium "Evolution of language from perspectives of hierarchical complexity" in Protolang 6. (Lisbon, Portugal)
- 林美里. (2019) 比較発達心理学. 日本心理学会公開シンポジウム 高校生のための心理学講座.(愛知県名古屋市)
- 林美里. (2019) メディアで伝わる? 大型類人猿の本来の暮らしと親子関係. SAGA22.(愛知県犬山市)
- 伊谷原一. (2019) 大型類人猿ボノボから考える性と生殖. 津田塾大学「ヒューマン・セクソロジー」特別講義.(東京都小平市)
- 伊谷原一. (2019) 旅と科学の融合. 名鉄自動車学校創立60周年記念講演.(愛知県名古屋市)
- 鏡味芳宏. (2019) 動物をそんなに好きでもないヒトに、動物を好きになってもらっています. SAGA22.(愛知県犬山市)
- Matsuda I. (2019) Proboscis monkeys - the big noses and stomachs of Borneo, Malaysia. workshop for "The evolution of dietary flexibility: how can colobines have such varied diets?" (Xi'an, China)
- 松田一希. (2019) テングザルを追ってジャングルへ～森とぼくらの不思議な関係～. 中部大学・春日井市連携ジュニアセミナー.(愛知県春日井市)
- 松田一希. (2020) 岐阜県立関高等学校 職業別ガイダンス: 大学教員-霊長類学者. 岐阜県立関高等学校.(岐阜県関市)
- 松沢哲郎. (2019) 分かちあう心の進化-チンパンジーが教えてくれた人間の心-. 明和高校平成31年度探究活動ガイダンス.(愛知県犬山市)
- 松沢哲郎. (2019) 分かちあう心の進化: チンパンジーから見た人間. 大阪倶楽部講演会.(大阪府大阪市)
- 松沢哲郎. (2019) 分かちあう心の進化 - サル学からウマ学に踏み出す. 法然院夜の森の教室.(京都府京都市)
- 松沢哲郎. (2019) 分かちあう心の進化. 金戒光明寺.(京都府京都市)
- Matsuzawa T. (2019) Talk at the Gulbenkian Foundation. (Lisbon, Portugal)
- Matsuzawa T. (2019) Evolution of human mind viewed from the study of chimpanzee mind. (Madrid, Spain)
- 松沢哲郎. (2019) 京都市立朱雀第一小学校講演.(京都府京都市)
- 松沢哲郎. (2019) 分かちあう心の進化. 東北連合産科婦人科学会 総会・学術講演会.(山形県山形市)
- 松沢哲郎. (2019) 分かちあう心の進化. 岐阜県立岐山高校創立60周年記念講演.(岐阜県岐阜市)
- 松沢哲郎. (2019) 分かちあう心の進化. 第35回日本霊長類学会大会公開シンポジウム.(熊本県熊本市)
- 松沢哲郎. (2019) チンパンジーから見た世界. 日本認知科学会第36回大会フェロー講演.(静岡県浜松市)

- Matsuzawa T. (2019) Human mind viewed from the study of chimpanzee. Protolang 6. (Lisbon, Portugal)
- Matsuzawa T. (2019) Imagination and Sharing: Human mind viewed from the study of chimpanzees. 7th NRSN PhD Conference. (Bergen, Norway)
- 松沢哲郎. (2019) 分かちあう心の進化. 赤ちゃん学研究センター・良心学研究センター合同シンポジウム, (京都府京都市)
- Matsuzawa T. (2019) 想像と分有. 中国動物園協会. (Shanghai, China)
- Matsuzawa T. (2019) 16th Academic Conference of China Primatological Society. (Guiyang, China)
- Matsuzawa T. (2019) Special Talk. International Student Symposium on Animal Behavior and Cognition. (Kyoto, Japan)
- 宮部貴子. 動物の表情を用いた疼痛評価. 筑波実験動物研究会第58回講演会. (茨城県つくば市)
- Miyabe-Nishiwaki T. (2019) Facial expression as a tool for assessment of pain in animals. The 14th International Conference on Environmental Enrichment. (京都府京都市)
- 尾池和夫. (2019) ふじのくに地域創造セミナー. (静岡県静岡市)
- 尾池和夫. (2019) 第838回防災士研修. (大阪府大阪市)
- 尾池和夫. (2019) 花山天文台と京都盆地の自然. 花山天文台創立90周年及び花山宇宙文化財団設立記念式典・講演会. (京都府京都市)
- 尾池和夫. (2019) その時地震火山予報士は. 2019年6月3日.
- 尾池和夫. (2019) 三陸ジオパーク. 三陸ジオパークフォーラム. (岩手県岩泉町)
- 尾池和夫. (2019) 変動する地球の今—日本列島の自然—. シニア自然大学校地球環境『自然学』講座講演会. (大阪府大阪市)
- 尾池和夫. (2019) 第846回防災士研修. (大阪府大阪市)
- 尾池和夫. (2019) 南海トラフの巨大地震と富士山の活動. 創造性の育成塾第14回夏合宿. (静岡県三島市)
- 尾池和夫. (2019) 丹後半島とジオパークの楽しみ方. 第20回地震火山こどもサマースクール. (京都府京丹後市)
- 尾池和夫. (2019) 1995年兵庫県南部地震と西南日本の地震活動期. 日本地震学会・京都大学防災研究所一般公開セミナー. (京都府京都市)
- 尾池和夫. (2019) GT25周年ジオパーク吟行案内. 2019年10月11日
- 尾池和夫. (2019) 日本列島の自然. 静岡県立韮山高等学校第39回志龍塾. (静岡県伊豆の国市)
- 尾池和夫. (2019) 日本列島の自然とジオパークの活動. 第10回日本ジオパーク全国大会2019おおいだ大会. (大分県大分市)
- 尾池和夫. (2019) 活断層とプレート境界のカルテ. 朝日カルチャーセンター京都教室. (京都府京都市)
- 尾池和夫. (2019) 東アジアの変動帯を歩く. 2019年12月5日.
- 山極寿一. (2019) 京都大学人社未来系発信ユニット第1回全学シンポジウム「アジア人文学の未来」. 「フィールド人文学の可能性」パネリスト. (京都府京都市)
- 山極寿一. (2019) 人類はどこから来てどこへ行くのか—ゴリラから見た人類の進化とAI社会. 天体望遠鏡博物館セミナー. (香川県さぬき市)
- 山極寿一. (2019) 野生の思考と未来の人材育成—ゴリラに学ぶ—. 日本医学総会記念講演. (愛知県名古屋市中区)
- 山極寿一. (2019) 無言館成人式言葉の授与. 無言館. (長野県上田市)
- 山極寿一. (2019) IPCC第49回総会京都市開催記念シンポジウム「京都の挑戦—プロジェクト“0”への道—」パネリスト. (京都府京都市)
- 山極寿一. (2019). IPCC第49回総会京都市開催記念シンポジウム「京都大学総長と若手研究者による座談会」. (京都府京都市)
- Yamagiwa J. (2019) Japanese Concepts on the World living Things. International Conference on “Does Nature Think?”. (Paris, France)
- 山極寿一. (2019) 人類の進化と未来の社会力. JACI/GSCシンポジウム特別講演. (東京都千代田区)
- 山極寿一. (2019) 日本学術会議 in 富山「富山から発信する学術研究とSDGs対応」パネリスト. (富山県富山市)
- 山極寿一. (2019) 第6回京都大学—稲盛財団合同京都賞シンポジウム「コンピュータービジョン—広く、楽しく、役に立つ技術の先端を語る」パネリスト. (東京都千代田区)
- 山極寿一. (2019) Gender Summit 10フォローアップ2019「Gender Equality 2.0からSDGsを展望する—架け橋—」パネリスト. (東京都千代田区)
- 山極寿一. (2019) ゴリラの生態と保全について. 緑の国ガボン・野生生物保全とエコツーリズムシンポジウム. (愛知県名古屋市中区)
- 山極寿一. (2019) コミュニケーションの進化と未来の人材育成. 第45回読売中部懇話会講演. (愛知県名古屋市中区)
- 山極寿一. (2019) ゴリラから見た日本のアフリカ研究(基調講演). TICAD7パートナー事業シンポジウム「日本のアフリカ研究を総攬する」. (東京都千代田区)
- 山極寿一. (2019) サル化する人間社会. 日本霊長類学会公開シンポジウム「ヒトの来し方行く末を考える: サル学70年の成果と人類の未来への展望」. (熊本県熊本市)
- 山極寿一. (2019) ゴリラと学ぶ人間の未来. 日本看護学教育学会第29回学術集会特別講演. (京都府京都市)
- 山極寿一. (2019) 動物と話をするために—ゴリラのフィールドワークから. 京都市青少年科学センター特別講演. (京都府京都市)
- 山極寿一. (2019) コミュニケーションの進化とAI社会—ゴリラの目から見た未来. フォーラム21. (東京都新宿区)
- 山極寿一. (2019) ゴリラからの提言—動物の世界をもっと楽しむために. 動物園・植物園連携シンポジウム「いのちをつなぎ、いのちが輝く動物園・植物園になるために」基調講演. (京都府京都市)
- 山極寿一. (2019) 学術の展望と京都大学の未来. 第23回全学教育シンポジウム基調講演. (京都府京都市)
- 山極寿一. (2019) コミュニケーションの進化と未来のコミュニティ. 鶴岡至道大学特別講演. (山形県鶴岡市)
- 山極寿一. (2019) 日本学術会議フォーラム「科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方」. パネリスト. (東京都港区)
- Yamagiwa J. (2019) Discussant of World University Presidents' Meeting on “How Universities Engage with and Contribute to Social Issues such as SDGs with respect to Education and Research”. STS Forum, (京都府京都市)

Yamagiwa J. (2019) Chair, Academy of Science Presidents' Meeting on "The never-ending excitement and value of discovery research. STS Forum. (京都府京都市)

Yamagiwa J. (2019) Information and Communication in the Digitalized Society. STS Forum. (京都府京都市)

山極寿一. (2019) コミュニケーションの進化と京都大学の人材育成. シンガポール京大同等窓会講演. (Singapore)

山極寿一. (2019) 文明と芸術/美術. 日独文化研究所第29回公開シンポジウム. (京都府京都市)

山極寿一. (2019) ゴリラから見た人間社会の少子化と子育て. 第60回全国退職女性校長会東京大会記念講演. (東京都新宿区)

山極寿一. (2019) ゴリラとものがたり. MERRY-GO-ROUNDレクチャー2019特別講演会. (三重県四日市市)

山極寿一. (2019) KRP地区開設30年記念シンポジウム・パネリスト「創発の瞬間」. (京都府京都市)

山極寿一. (2019) 人類の心身の進化と現代とのミスマッチーゴリラから見た人間の現在. 第2回心身医学関連学会合同集会特別講演. (大阪府大阪市)

山極寿一. (2019) 人類を進化させた冒険の精神. 2019日本冒険フォーラム「新たな自分の発見—植村直己の精神をつなぐ—」基調講演. (東京都千代田区)

山極寿一. (2019) 挑戦し続けるところ. 2019日本冒険フォーラム「新たな自分の発見—植村直己の精神をつなぐ—」パネリスト. (東京都千代田区)

山極寿一. (2019) 人類の心身の進化と現代のミスマッチーゴリラから見た人間の現在. 心身医学関連学会合同集会特別講演. (大阪府大阪市)

Yamagiwa J. (2019). Japanese Concepts of the World of Living Things. Special Lecture at the Opening Ceremony of Kyoto University Washington Office. (Washington, USA)

山極寿一. (2020) AI時代の学問とは何か. ELP5周年イベント. (京都府京都市)

山極寿一. (2020) ゴリラやサルと森の世界を覗く. 2020交流ギャラリー講演. (京都府京都市)

山極寿一. (2020) 未来のコミュニティの核としての大学の役割. 文化政策研究会講演. (東京都)

山極寿一. (2020) サル化する人間社会—ゴリラから学ぶこと. 東北大学みやぎ教育文化研究センター. (宮城県仙台市)

山極寿一. (2020) イノベーションと産学連携. 「ものづくりバレー」シンポジウム基調講演. (京都府京都市)

山極寿一. (2020) コミュニケーションの進化と京都大学の人材育成. 京都大学同窓会京友会講演. (静岡県静岡市)

山極寿一. (2020) サラダボールの中のゴリラと人間の食物革命. HEALTHY FESTIVAL 2020特別講演. (京都府京都市)

山極寿一. (2020) 学術の展望と大学の未来. 第26回大学教育研究フォーラム特別講演. (京都府京都市)

山極寿一, 広井良典, 高見茂, 北野正雄. (2020) 2040年の社会と高等教育・大学を展望する. 第26回大学教育研究フォーラム特別講演パネルディスカッション. (京都府京都市)

山本真也. (2019) 人間性の進化: 比較認知科学からみた私たちの協力社会. 麻布大学大学院獣医学研究科特別講義. (神奈川県相模原市)

山本真也. (2019) サルのなぜなに授業: 比較認知科学からみたヒトの心. 熊本県立水俣高校霊長類学会出張講演. (熊本県水俣市)

山本真也. (2019) 比較認知科学~動物たちを通してみる「ヒトとはなにか」~. 立教大学全学共通カリキュラム総合教育科目「行動の科学」ゲストスピーカー. (東京都豊島区)

山本真也. (2019) 比較認知科学から探る「ヒトらしい」コミュニケーションと社会の起源. 「言葉とアートをつなぐ教育思想」研究会講演. (東京都豊島区)

## 9. 連携研究の受入

2018017 (2019年度実施)

実施者: 西村剛 (京都大学)

題目: 霊長類における舌骨喉頭の器官形態に関する研究  
対応者: 新宅勇太

本研究は、ヒトの音声生成に貢献する音声器官形態の進化を見据えつつ、霊長類における舌骨喉頭器官の形態学的変異の全容を明らかにすることを目的としている。そのために、舌骨喉頭器官の高解像度画像資料が必要である。今年度は、高解像度CTを用いた撮像プロトコルを完成させた。軟組織はCT撮像に向かないが、固定標本をヨウ素溶液に浸潤することで、筋や軟骨の可視化を可能にした。複数の事前処理や浸潤手順を試行し、サル類標本に適したプロトコルを確立した。借用した標本を撮像し、研究資料を得た。次年度以降に、必要な種の追加撮像をし、形態比較を実施する。

2019001

実施者: 小池田聡・鷲津欣也・結城健介 (天野エンザイム)

題目: 霊長類からの微生物分離と酵素供給源としての可能性評価に関する研究

対応者: 高野智

日本モンキーセンターが飼育する葉食性コロブス類の糞便から各種乳酸菌用培地 (MRS、BL、TOS、GAM培地) を用いて嫌気条件・37℃で、また一般的な細菌用培地 (SCD培地) を用いて好気条件・37℃で菌を分離した。最終的にコロブス類5種9頭から得られた12サンプルの糞便から腸内細菌93株を分離して酵素探索対象として保存した。これら93の分離菌株について、液体培地を用いた培養を実施し、その培養液中の新規酵素を探索した。2019年度は新たに8種の酵素を探索し、その結果4種の酵素では活性を示す株を見出せなかった。残る4種の酵素のうち、2種では数株の活性を示す株を見出したが解析を継続した結果、有意な性質を示すものではなく、開発を断念した。残る2種の酵素については解析を引き続き継続してゆく。また今後も同分離菌株を用いて新規酵素の探索を引き続き継続してゆく。



2019002

実施者：菊池泰弘（佐賀大学）  
題目： 中期中新世・化石類人猿ナチョラピテクスの  
上位胸椎復元のための比較標本調査

対応者：高野智

ナチョラピテクスの脊椎骨は、四足歩行サルと現生大型類人猿のモザイク的な形態が示唆されているが、具体的な移動運動様式レパートリーは不明であり、ポストクラニアルの追加分析が必要不可欠である。本研究ではナチョラピテクスの上位胸椎標本と比較する現生標本について調査を行った。チンパンジー、シアマン、アマビスヒビ、パタスモンキー、ハヌマンラングール、テングザル、クモザル、クロホエザルにおけるオス1頭、メス1頭（テングザルはメスのみ）を対象とした。これらの第3-6胸椎をCT撮像後、三次元再構築されたデータ上で相同点79点を決定し、Procrustes分析で補正したシェイプ（座標）を主成分分析で解析した。その結果、第1および第2主成分散布図で、類人猿、地上性オナガザル科、樹上性オナガザル科、ホエザル、クモザルがそれぞれクラスターを作り、上位胸椎形態は種特異性や移動運動様式を反映している可能性が示唆された。

2019003

実施者：西川真理（東京大学）  
題目： 色覚型の違いによる顕在色と隠蔽色の発見効率  
の違い：ポリビアリスザルを対象として

対応者：新宅勇太

本研究では、ポリビアリスザルを対象として、3色型色覚と2色型色覚における顕在色（食物）と隠蔽色（へび型模型）の物体の発見効率を比較することで、それぞれの色覚型の有利性を調べ、それぞれの色覚型の適応的意義を検証することを目的とした。今年度は隠蔽色の発見効率の違いについてのみ観察をおこなった。この観察では、リスザルの島の中にへび型模型と隠蔽色でない人工模型を設置し、最初に警戒声を発した個体、発声場所と模型までの距離、および発声継続時間を記録した。今後、顕在色および隠蔽色の発見効率の違いを色覚型間で比較し、分析する予定である。

2019004

実施者：服部裕子（京都大学）  
題目： 多様な聴覚刺激がチンパンジーのリズム運動  
および生理反応におよぼす影響に関する研究

対応者：新宅勇太

チンパンジーのツトムを対象に、室内飼育部屋にて、数種類の音を聴かせ、その間にみられる行動の反応をビデオで記録し、後に分析を行った。1回の実験は約20分~30分程度で、2019年8月から11月にかけて、2週間程度の間隔をおきながら行った。実験では、3分~5分の音刺激を毎回3種類程度再生した。音刺激は、人工的なリズム音（8ビート）、ホワイトノイズ、自然音を用いた。音刺激再生から数分程度は、特に全身を揺らすリズム運動がみられた。また、音刺激や実験者に興味を示し、再生中には接近する様子も観察された。ただし、採餌中など、別の活動に従事している場合には、そうした反応は弱い印象を受けた。ホルモン状態の分析は、唾液の採取方法の確立を模索中であり、いくつかの方法を検討した。実際の採取・分析については、今後の研究につなげることで、引き続き取り組んでいきたい。

2019005

実施者：Heather Lawrentz (Kent State University)  
題目： A comparative analysis of the metacarpals and  
distal forearm in *Ateles* and *Colobus*

対応者：新宅勇太

During the summer of 2019 I was graciously granted access to the primate skeletal collections housed at the Japan Monkey Center. My project is concerned with primate forelimb proportions, the growth/development of these bones, and the influence of various Hox genes on particular segments of the forelimb. Although the primary focus of my research is *Ateles* and *Colobus* monkeys, many other primate genera were sampled as a means for comparison. My data collection constituted measuring aspects of the humerus, radius, ulna and metacarpal bones, as well as collecting weights of the metacarpals, capitate, and pisiform. The same measures were taken of the analogous hindlimb elements, also for comparison. The manuscript for this project is still in progress.

2019006

実施者：Christine Charvet (Delaware State University)  
題目： Evolution of cross-cortical projection patterns  
in primates and other mammals

対応者：新宅勇太

2019007

実施者：横山琴乃（大阪大学）  
題目： マカク属の社会構造と表情表出の研究  
対応者：赤見理恵

マカク属のサル種には、順位関係や血縁関係に厳格である専制的な種と、他個体と比較的平等に接する寛容的な種が存在する。本研究では、専制的とされるニホンザル (*M. fuscata*)、ミナミブタオザル (*M. nemestrina*)、チベットモンキー (*M. thibetana*) の3種と、寛容性が高いとされるシシオザル (*M. silenus*)、ボンネットモンキー (*M. radiata*) の2種を観察し、多頭毛づくろいと表情の表出に寛容性の度合いとの関連が見られるかを定量的に検討した。

全毛づくろいに対する多頭毛づくろいの生起率は専制的とされるニホンザルの値が最も低く、寛容性の高い種で高い傾向が見られた。表情のパターンは寛容性の高いシシオザルが最も多く、反対に専制的なニホンザルでは最も少なかった。これらの結果は、寛容性と多頭毛づくろい、そして寛容性と表情の表出の関連を示唆するものである。

2019008

実施者：北山遼（北海道大学）  
題目： 南米産クモザル類の系統学的位置付け  
対応者：田和優子

日本モンキーセンターで飼育されているクモザル類（クモザル科 *Ateles* 属）16頭について遺伝解析を行った。解析に用いたのはミトコンドリアゲノム DNA3 領域および、核ゲノム DNA 上のマイクロサテライト領域 4 領域である。対象となる全個体についてシーケンス解析によってミトコンドリア DNA の計~1855bp の配列を決定するとともに、フラグメント解析によるマイクロサテライトの塩基長変異の検出と集団構造解析を行った。

2019009

実施者：澤野啓一（神奈川歯科大学）

題目： 眼窩骨壁及び頭蓋底神経血管孔の比較解剖学的研究

対応者：新宅勇太

今回の研究は、頭蓋及び脳の形状と、それに関わる神経血管の通過経路などの特徴を、ヒトとその他の高等霊長類との間で比較検討する一連の研究の一環である。同時に、比較方法として、頭蓋底の少数の箇所計測によって目的を達する方法の開発の検討も行った。今回新たに計測対象に加えたものには *Hylobates lar* (Hl) の幼若個体や *Symphalangus syndactylus* (Ss) の成体も含まれる。左右の Foramen ovale と左右の Foramen jugurale とをつないで描かれる四辺形 *Quadrangulus ovalo-jugularis* の角の4点と、Foramen magnum の前後左右の4点、合計8点の幾何学的計測を行い、その計測値から相対歪み度 (Relw, Relative warp scores) を算出して比較した結果を報告する。*Pongo pygmaeus*, *Pan troglodytes*, *Gorilla gorilla*, (Hl), (Ss) の以上5種の相互の関係には重なりが多いが、ヒトは全く異なる特徴を示した。類人猿の成体と幼児の差は大きかった。

2019010

実施者：増田初希（龍谷大学）

題目： 動物の放し飼い展示から日本人の動物観を探る - 放し飼い展示による動物と人への影響 -

対応者：赤見理恵

本研究は動物園や野猿公苑での動物の放し飼いに焦点を当て、放し飼いの動物の管理や福祉や来園者の反応を観察し、日本人の動物観を考察した。調査は、国内4箇所ワオキツネザルとニホンザルの放し飼い展示をおこなう動物園などを対象とした。調査の結果、明らかな繁殖不全や放し飼いが起因となるストレス性行動は見られなかった。また、放し飼いの個体は通常飼育のものと変わらず長寿であることもわかった。一方で放し飼いでは接触による怪我や感染症のリスクから人の監視が必要で、コストが高い展示であることもわかった。来園者による展示に対する反応の観察によると通常展示よりも放し飼いの方が肯定的な反応が多かったことから、日本人は放し飼いを好む傾向が強いと考えられ、自然な動物を眺めるのが好きとされてきた日本人の傾向と整合する。また日本人が動物を人の手で勝手に改変することを好まない性質も放し飼いを好むことと整合すると考えられる。

2019011

実施者：北川陽菜（和歌山大学）

題目： 展示法の違いによる印象の変化

対応者：赤見理恵

本研究は、実験対象にテナガザルの展示を選定し、展示法の異なる5つの施設を360度映像に撮影して印象評価を行い、その結果を比較して考察したものである。また実験に映像を用いて展示環境を再現しているため、結果には主に視覚情報の影響が現れていると考えられる。

研究結果として、

・樹木と人工物の遊具は、同様に動物の能力を示して来園者の関心を集める

・檻を設置せずに水堀を用いた展示法は、動物の能力を効果的に示し来園者に面白さを感じさせる

・金網や檻を使用した展示は、閉鎖的な印象を強めるが、それ以外の印象にはあまり影響しない

・人工物の遊具は、人工的で固い印象を強め、同時に活動的な印象を与える

・3面を壁で囲み木の棒やロープを遊具として用いている展示は、明るい印象を与えるが、同時に閉鎖的で人工的な印象を強める等が明らかになった。

2019012

実施者：中野勝光（京都大学）

題目： DNAメチル化を用いた野生動物の年齢推定

対応者：新宅勇太

2019013

実施者：村松明穂（京都大学）

題目： 飼育下霊長類におけるポータブル式タッチモニタ装置を用いたオープンラボ型比較認知研究

対応者：新宅勇太

アジア館のマカク（アカゲザル・ニホンザル・ブタオザル・チベットモンキー・ボンネットモンキー・トクモンキー）を対象に、ポータブル式タッチモニタ装置を用いた研究をおこなった。

タッチモニタ課題は、馴致からはじめ、1)画面上の大きなドットをさわる、2)小さなドット、3)複数のドット、4)アラビア数字を順に、という内容で進めた。全グループが数字課題まで進み、「1・2」の問題を高い正答率で解く個体も出てきた。

また、実験場面での社会性を比較した。限られた個体が独占的に装置に接近する種（ニホン・アカゲなど）から、複数個体が比較的平等に接近する種（ボンネット・トクなど）まで、先行研究を支持する行動が観察された。よって、野生下での社会性を、飼育下の実験場面でも再現できることが分かった。

来園者に向けて研究内容を説明するポスターを掲示し、実験場面と一緒に観察しながら、マカクの学習と社会性について解説した。

## 10. 連携研究に伴う標本の貸し出し

(1) 2018008

申請者：酒井朋子（慶應義塾大学）

題目： 拡散スペクトラムMRIを用いた霊長類の神経回路構造の比較研究

貸出： ボンネットモンキー等 脳液浸標本10点

期間： 2018年5月8日～2019年4月25日

(2) 2018017

申請者：西村剛（京都大学）

題目： 霊長類における舌骨喉頭の器官形態に関する研究

貸出1：ニホンザル 咽頭部液浸標本4点

期間： 2019年4月17日～

貸出2：ニホンザル 咽頭部液浸標本4点

期間： 2019年4月24日～

貸出3：フクロテナガザル 咽頭部液浸標本1点

期間： 2019年10月16日～

(3) 2019002

申請者：菊池泰弘（佐賀大学）  
題目： 中期中新世・化石類人猿ナチョラピテクスの  
上位胸椎復元のための比較標本調査  
貸出1：フクロテナガザルほか 胸椎標本 18 体  
期間： 2019年6月13日～6月27日  
貸出2：アヌビスヒヒほか 胸椎標本 6 体  
期間： 2019年6月27日～6月28日

(4) 2019009

実施者：澤野啓一（神奈川歯科大学）  
題目： 眼窩骨壁及び頭蓋底神経血管孔の比較解剖学的研究  
貸出： テナガザル類頭骨標本 10 点  
期間： 2019年10月7日～

11. 研究活動ミーティングの開催

第9回：2019年6月11日  
内容：研究進捗報告  
第14回国際環境エンリッチメント会議  
ポスター発表の内容報告

第10回：2019年7月27日  
内容：研究進捗報告  
コア発表  
村松明穂（京都大学）「連携研究進捗報告」  
奨励研究申請計画

第11回：2020年3月12日  
内容：コア発表  
松田一希（中部大学、JMC）  
「コロブス等の消化管について」  
研究進捗報告  
日本霊長類学会大会に向けたワークショップ

## 12. 生息地研修

(1) 幸島（京都大学野生動物研究センター幸島観察所）

第17班 2020年1月28日～1月31日

根本慧、山田将也、武田康祐



初めて幸島内でのテント泊をした。日の出前に島の東側の山を登り、海から昇る朝日を拝むことができた。暫くその場所に居座るとどこからともなくニホンザルが現われた。ニホンザルと同じ経験ができてとても感動した。(根本)



幸島内で野営調査を想定したキャンプを実施しました。研修実施が1月下旬だったこともあり、夜間は寒く厳しい環境でした。過酷でしたが、今回の研修で貴重な体験をすることができました。(山田)



幸島内でテント泊を行い、夜の寒さを肌で感じる事ができた。グルーミングやけんかなど、近くでさまざまな行動を観察することができた。(武田)

(2) 京都大学野生動物研究センター熊本サンクチュアリ

第17班 2020年2月18日～2月20日

田和優子、武田康祐



各個体の状況に合わせた群れ管理、ふだんの健康チェックと蓄積された検査データの活用など、動物の福祉向上のための考え方を学んだ。手術や採血の際の事前準備や役割分担など、JMCでも真似したい点が多くあった。(田和)



施設の見学やチンパンジーの治療の見学などをさせていただいた。1つの治療に対してあらゆるパターンを考えており獣医師として見習いたいことがたくさんあった。(武田)

(3) 屋久島 (京都大学野生動物研究センター  
屋久島観察ステーション)

第11班 2019年11月27日～11月30日

星野智紀、市原涼輔、根本真菜美



西部林道ではまつぼっくりを食べているヤクシマザルの群れに出会いました。今までまつぼっくりは与えたことが無かったのでJMCの色々なサル達はどのように食べるのか試してみたくになりました。(星野)



西部林道では多くのヤクシマザルを観察できた。朝少し雨が降っていたが日中は天気も良くなり、日向ぼっこをしていたり松ぼっくりを食べる姿を見ることができた。縄文杉登山では日の出前の薄暗い時間にヤクシマザルを1頭しか見られなかったので残念だった。しかし樹齢何千年もの大きな屋久杉を見られ、たくさんの屋久島の自然を感じることができた。(市原)



西部林道では車が立ち往生してしまうほど多くのサルと出会うことができた。車から降り谷側のガードレールから谷をのぞき込むと、ふと当園のモンキーバレイが頭を過った。サルたちはすぐ木々に隠れて見えなくなったが、このサルを探す楽しさをバレイでも再現できたらと考える研修となった。(根本)

(4) 笹ヶ峰 (京都大学笹ヶ峰ヒュッテ)

第4班 2019年6月28日～7月1日

星野智紀、武田康祐



火打山登山と野生のニホンザルの群れを観察することができました。今まで野生ニホンザルの群れをじっくり観察したことが無かったので新鮮でした。また森の中で確認した糞は緑色でJMCの飼育下ニホンザルでは見ない色をしていました。(星野)



天気は大雨予報だったが時々晴れ間も見え、野生のニホンザルに遭遇することができた。便や食痕などのフィールドサインや、ロープワークなどのフィールドワークについて学ぶことができた。(武田)

第5班 2019年10月2日～10月5日

大島悠輝、奥村太基



本研修では、笹ヶ峰の植生を知ること・野生のニホンザルを見つけることを目的とした。火打山登山中に標高により植生が変わっていくことを学んだ。また、ニホンザルを探すため食痕や糞を見つけ、離れオスや群れを観察することができた。今回の研修により、野生ニホンザルの植生や行動を直接観察することができ、今後の飼育に役立てていきたい。(大島)



ニホンザルを発見し、採食している姿を観察することができた。食痕を集め、図鑑で調べたところヤマモモとヤチダモを食べていたことが分かった。観察から食べたものの調査まで経験でき、とても興味深かった。(奥村)

(5) タンザニア

第7班 2019年9月6日～9月15日

石田崇斗、安倍由里香



ゴンベ国立公園で出会ったチンパンジーの集団。最初は1頭だったのが、森のなかから次々と集まってきて集団を形成していく様子は圧巻だった。タンザニアではチンパンジー以外にも多くの野生動物に出会うことができた。若い頃からアフリカを訪れることが夢だった私にとって、本研修はかけがえのない経験となった。(石田)



ゴンベ国立公園へ行ってきました。宿泊施設の周りではアヌビスヒヒがウロウロ。少し遠くに目を向けると木から木へ、アカコロプスの群れが大ジャンプしていました。無事にチンパンジーにも出会うことができ、充実した研修でした。(安倍)

(6) マレーシア：ボルネオフィールドスクール

2019年8月23日～8月30日

舟橋昂



野生のサル類を実際に観察できただけでなく、動物園の飼育担当者として、飼料等を注意しなければならないと強く実感した。また、実際に熱帯雨林の中を歩き回ること、植生やその地に暮らす野生動物の移動様式、そして生息環境について知ることができた。(舟橋)

## (2) 保全活動

### 1. コンゴ民主共和国 Mbali 地域におけるボノボ保全

- (1) 現地調査・打ち合わせの実施
- |                  |      |
|------------------|------|
| 2019年8月25日～9月4日  | 伊谷原一 |
| 2019年8月21日～9月12日 | 山本真也 |
| 2019年8月25日～9月12日 | 新宅勇太 |

### 2. ギニア共和国 野生チンパンジー保全のための

「緑の回廊」への支援事業

期間：2017年4月～

- (1) 現地調査・打ち合わせの実施
- |                 |      |
|-----------------|------|
| 2020年1月4日～1月22日 | 森村成樹 |
|-----------------|------|

### (2) 三井物産環境基金活動助成

案件名：分断された絶滅危惧種チンパンジーの生息地をつなぐ「緑の回廊」植林活動とドローンを用いた広域野火管理技術の確立。

助成団体：京都大学野生動物研究センター

申請代表者：森村成樹

助成期間：3年（2019年4月～2022年3月）

金額：総額7,200,000円

対象地域：ギニア共和国

### 3. ガボン共和国 ムカラバ-ドウドウ国立公園における

ニシローランドゴリラ保全

期間：2017年8月～

### 4. スローロリス保全センターの運営

- (1) 特別限定見学ツアーの実施
- (2) 飼育個体の福祉向上・飼育環境改善
- (3) 連携研究等による研究の推進
- (4) ウェブページの公開 2020年3月20日  
[https://sites.google.com/view/jmc-fr5/SLCC\\_Home](https://sites.google.com/view/jmc-fr5/SLCC_Home)

## (3) 環境教育並びに社会普及活動

### 1. 学習利用

- (1) 団体入園者数 234件・15,484名  
(カッコ内は教育プログラムの利用があった団体数、のべ177件・11,908名)
- |           |         |               |
|-----------|---------|---------------|
| 幼稚園・保育園   | 50(35)件 | 5,310(2,856)名 |
| 小学校       | 76(75)件 | 6,177(6,038)名 |
| 中学校       | 10(10)件 | 1,096(1,096)名 |
| 高等学校      | 11(9)件  | 566(526)名     |
| 大学・専門学校   | 28(26)件 | 1,006(942)名   |
| 特別支援・養護学校 | 3(2)件   | 53(44)名       |
| 福祉・介護施設   | 25(4)件  | 696(78)名      |
| 一般・その他    | 31(16)件 | 604(328)名     |

### (2) 教育プログラム利用状況

レクチャー：	168件
スポットガイド団体利用：	169件
KIDSZOO 団体利用：	48件
キュレーター等によるガイドツアー：	39件
事前学習教材：	24件
行動観察実習：	14件
標本を用いた骨学実習：	13件
ロコモーション観察ワークシート：	9件
バックヤード見学：	7件
紙芝居：	3件
骨パズル：	2件
エンリッチメント実習：	2件
その他：	7件

### (3) 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院 (PWS) 高大連携プロジェクトへの協力

- ① 愛知県立明和高等学校  
日程：2019年4月19日  
対象：1年生生徒 334名  
内容：同時ショートガイド15本  
(キュレーター、獣医師、飼育員の他、PWS履修生等で実施)

### (4) 犬山市と連携した授業づくり

- ① 犬山市理科副教本作成委員会理科副教本  
「理科だいすき」改訂版の編集、作成協力
- ② 小学校全校児童 1日モンキーデー  
犬山北小学校 555名 2019年5月8日
- ③ 小学校4年生 モンキーワーク  
理科「わたしたちの体と運動」に関連したプログラム
- |              |      |            |
|--------------|------|------------|
| 池野小学校        | 25名  | 2019年5月31日 |
| 栗栖小学校(3・4年生) | 6名   | 5月31日      |
| 今井小学校(3・4年生) | 9名   | 5月31日      |
| 東小学校         | 76名  | 6月11日      |
| 羽黒小学校        | 83名  | 6月11日      |
| 犬山南小学校       | 95名  | 6月18日      |
| 犬山西小学校       | 102名 | 6月18日      |
| 城東小学校        | 138名 | 6月19日      |
| 楽田小学校        | 101名 | 6月19日      |

④ 中学校 モンキーワーク

理科第2分野「動物の生活と生物の変遷」と関連したプログラム

南部中学校	1年生 175名	2019年6月20日
南部中学校	2年生 148名	8月1日
東部中学校	1年生 117名	9月10日
城東中学校	2年生 185名	10月24日
犬山中学校	2年生 226名	11月12日

(5) 名古屋経済大学 体験型プロジェクト (XI) 「犬山学」ガイダンス

2019年4月9日

霊長類学の歴史とモンキーセンター+事前学習

(場所:名古屋経済大学)

2019年4月23日 高野智

霊長類の多様性① (場所:日本モンキーセンター)

2019年4月23日 高野智

霊長類の多様性② (場所:日本モンキーセンター)

2019年5月7日 高野智

霊長類行動観察入門① (場所:日本モンキーセンター)

2019年5月21日 赤見理恵

霊長類行動観察入門② (場所:日本モンキーセンター)

2019年5月28日 赤見理恵

復習+動物の進化を学ぶ (場所:日本モンキーセンター)

2019年8月19日 高野智

霊長類学の最前線(1) (場所:日本モンキーセンター)

2019年8月22日 川上文人

環境問題と霊長類 (場所:日本モンキーセンター)

2019年8月22日 新宅勇太

霊長類学の最前線(2) (場所:京都大学霊長類研究所)

2019年8月26日 友永雅己、高野智

栗栖地区見学 (場所:日本モンキーセンター)

2019年8月26日 高野智

博物館としての動物園 (場所:日本モンキーセンター)

2019年8月29日 赤見理恵

期末課題制作 (場所:日本モンキーセンター)

2019年8月29日 高野智、赤見理恵

期末課題制作 (場所:名古屋経済大学)

2019年8月30日 高野智

期末課題発表 (場所:名古屋経済大学)

2019年9月6日 高野智、赤見理恵

2. 教員研修会の誘致

(1) 愛知県私学協会理科研究会

日程:2019年12月6日

参加者:愛知県内の私立高等学校の理科教員15名

内容:霊長類学概論、骨パズル、人類進化に関する

レクチャー

講師:高野智

(2) 愛知県理科(生物・地学)教育研究会 高等学校部会(三河地区)

日程:2020年2月3日

参加者:愛知県内の高等学校の理科教員17名

内容:レクチャー、ロコモーションワークシートほか

講師:高野智

3. 教育普及活動の充実につながる各種ツールの開発

(1) 学校団体向け利用の手引き

改訂版を2020年3月29日にホームページ上で公開

(2) ワークシートの開発

KIDSZOO運用終了にともなう新規学習プログラムの開発

(3) 標本等を活用した教材開発

4.アウトリーチ活動

(1) 教育活動の実践における職員の講師派遣

① 金城学院大学

日程:2019年5月9日

対象:現代子ども学科1年生 119名

内容:人間科学基礎演習「行動観察実習の事前指導」

赤見理恵

② 中部学院大学教育学部子ども教育学科

日程:2019年6月4日

対象:「授業実践演習(理科博物館)受講生 29名

内容:講義「日本モンキーセンターにおける学校と

連携した教育活動」

高野智

③ 犬山市立犬山北小学校

日程:2019年7月10日

対象:6年生 99名

内容:理科授業「体のつくりとはたらき」

高野智

④ 熊本県立八代高等学校

日程:2019年7月11日

対象:1年生 241名

内容:講演「動物たちから学ぶこと ~霊長類の

家族進化論と動物園の仕事」

赤見理恵

⑤ 新潟県立柏崎高等学校

日程:2019年8月7日

場所:犬山国際ユースホテル

対象:2年生 33名

内容:スーパーイノベーション講演会

「日本モンキーセンター紹介と行動観察入門」

赤見理恵

⑥ 犬山市立城東小学校

日程:2019年9月17日、18日

対象:5年生 144名

内容:理科授業「人のたんじょう」

赤見理恵

⑦ 扶桑町立扶桑中学校

日程:2019年9月18日

対象:2年生約150名

内容:理科授業「骨パズル ~ヒトとチンパンジーの

骨格をくらべてみよう~」

高野智

⑧ 犬山市立池野小学校

日程:2019年9月26日

対象:5年生 24名

内容:理科授業「ヒトの赤ちゃん和サルの子の

共通点や相違点」

赤見理恵

⑨ 犬山市立城東中学校

日程:2019年10月4日

対象:2年生 190名

内容:理科授業「草食動物と肉食動物、そしてサル」

高野智

⑩ 犬山市立犬山北小学校

日程:2019年10月7日

対象:5年生 93名

内容:理科授業「ヒトの赤ちゃん和サルの子の

共通点や相違点」

赤見理恵



- ⑪ 犬山市立犬山北小学校  
日程：2019年10月10日  
対象：2年生 94名  
内容：国語授業「どうぶつ園のじゅうい」  
木村直人、阪倉若菜
- ⑫ 多治見西高校附属中学校  
日程：2019年10月21日  
対象：2年生 45名  
内容：理科出張授業 講演、骨パズル 高野智
- ⑬ 犬山市立池野小学校  
日程：2019年10月30日  
対象：2年生 19名  
内容：国語授業「どうぶつ園のじゅうい」  
木村直人、阪倉若菜
- ⑭ 扶桑町立扶桑北中学校  
日程：2019年11月6日  
対象：2年生 116名  
内容：理科授業「骨パズル ヒトとチンパンジーの骨格をくらべてみよう」 高野智
- ⑮ 中部学院大学教育学部子ども学科  
日程：2019年12月12日  
対象：1年生 48名  
内容：授業「環境と人間」における講義  
「学校教育における博物館利用の現状と課題」  
赤見理恵
- ⑯ 奈良女子大学附属中等教育学校  
日程：2019年12月13日  
場所：奈良県文化会館国際ホール（奈良県奈良市）  
対象：1～5年生、教職員、保護者 約500名  
内容：SSHサイエンス基礎講座  
講演「形態学で読み解く霊長類の進化」  
高野智
- ⑰ 中部学院大学教育学部子ども学科  
日程：2020年1月9日  
対象：1年生 48名  
内容：授業「環境と人間」におけるグループワーク  
およびプレゼンテーションの支援 赤見理恵
- ⑱ 岐阜県立岐阜農林高等学校  
日程：2020年1月15日  
対象：動物科学科1年生 40名  
内容：「動物園の飼育員の仕事」 坂口真悟
- ⑲ 名古屋市立工業高等学校  
日程：2020年1月21日  
対象：3年生「地学基礎」履修生 38名  
内容：講義「骨から読み解く霊長類のくらしと進化」  
実習「骨パズル」 高野智
- (2) 職員の派遣
- ① 京都市動物園「野生動物学のすすめ」展  
日程：2019年4月13日～4月14日  
場所：京都市動物園（京都府京都市）  
内容：JMCブースの出展、オリジナルグッズ販売  
小講演「サルを知ることとはヒトを知ること  
ーサル類ばかりの動物園ウラ話」  
赤見理恵
- ② 国立科学博物館特別展「大哺乳類展2」  
GWスペシャルトーク  
日程：2019年5月4日  
場所：国立科学博物館（東京都台東区）  
内容：講演「サルのなかま「霊長類」の生き残り作戦  
「樹上のくらしとロコモーション」」  
新宅勇太
- ③ モンベルフレンドフェア 2019 名古屋会場ブース出展  
日程：2019年5月18日～5月19日  
場所：吹上ホール（愛知県名古屋市）  
内容：JMC紹介ブース出展、物販  
高野智、赤見理恵、江藤彩子
- ④ 国立科学博物館特別展「大哺乳類展2」  
ギャラリートーク  
日程：2019年5月24日  
場所：国立科学博物館（東京都台東区）  
内容：ギャラリートーク「サルのなかまのロコモーション  
樹上運動の多様性」 高野智
- ⑤ 熱田神宮緑陰教室  
日程：2019年7月23日  
場所：熱田神宮（愛知県名古屋市）  
内容：講演「サルの話」 赤見理恵
- ⑥ 丸の内キッズジャンボリー  
日程：2019年8月14日～16日  
場所：東京国際フォーラム（東京都千代田区）  
内容：PWSと共同でワンダークラブ  
「はしる！とぶ！およく！世界の動物アスリート」出展  
JMCエリアの展示、グッズ販売  
ワークショップ  
「アフリカの森の動物のくらしを見てみよう」(新宅)  
「骨からさぐる動物の動きのひみつ」(高野)  
高野智、新宅勇太、舟橋昂、  
土性亮賀、北原愛子
- ⑦ 第62回東山ワークショップ  
日程：2019年8月5日  
場所：名古屋市東山動物園（愛知県名古屋市）  
内容：講演「動物園でイメージが変わる？～個体識別と  
行動観察から学ぶ教育プログラム～」  
赤見理恵
- ⑧ 松坂屋キッズサイエンス  
日程：2019年11月24日  
場所：松坂屋名古屋店（愛知県名古屋市）  
内容：ワークショップ「骨からさぐるサルの動きの  
ひみつ」 高野智
- ⑨ エンリッチメント大賞 2018 表彰式・受賞者講演会  
日程：2019年12月1日  
場所：東京大学弥生講堂（東京都文京区）  
内容：ポスター発表 武田康祐
- ⑩ 第64回東山ワークショップ  
日程：2019年12月23日  
場所：名古屋市東山動物園（愛知県名古屋市）  
内容：講演「化石から知る類人猿の進化」 高野智
- (3) シンポジウム等の共催
- ① 中部学院大学 公開講座「比較認知発達論」  
2019年度第1回：2019年7月18日  
「『サル学』から『ウマ学』へ - 人間の進化の起源を  
たどる」  
松沢哲郎

(4) 地元、近隣の学校訪問（誘致・広報活動）  
犬山市を中心に、出前授業等の機会も利用して誘致の呼びかけ  
愛知県・岐阜県・三重県の小中高校へのダイレクトメール発送

#### (5) 社会貢献

- ① 日本霊長類学会 評議員・編集監事（副編集長）  
林美里
- ② あいちサイエンスフェスティバル 実行委員  
高野智
- ③ 愛知県尾張北部地域生態系ネットワーク協議会  
副会長 高野智
- ④ 日本霊長類学会 評議員 赤見理恵
- ⑤ (公社) 日本動物園水族館協会 教育普及委員会  
学術研究部員 赤見理恵
- ⑥ 日本動物園水族館教育研究会 運営委員 赤見理恵
- ⑦ 愛知県未来を生き抜く人材育成事業地域推進会議  
外部委員 赤見理恵
- ⑧ 日本哺乳類学会 標本・分類群名検討委員会委員  
新宅勇太
- ⑨ 日本霊長類学会 庶務担当幹事 新宅勇太
- ⑩ (公社) 日本動物園水族館協会  
総務委員会倫理福祉部員 木村直人
- ⑪ (公社) 日本動物園水族館協会 生物多様性委員会  
クロシロエリマキキツネザル種別計画管理者、  
クロキツネザル個体群管理者および  
ロリス・マーモセット類専門技術員 鏡味芳宏
- ⑫ (公社) 日本動物園水族館協会 生物多様性委員会  
チンパンジーおよびマンドリル専門技術員  
廣澤麻里
- ⑬ (公社) 日本動物園水族館協会 生物多様性委員会  
フクロテナガザル種別計画管理者 石田崇斗

#### 5. 他の博物館等への展示協力

(1) 国立科学博物館 特別展「大哺乳類展2」  
内容：骨格標本1点（Pr103、シロテナガザル）の貸出  
期間：2018年12月7日～2019年7月4日

#### 6. 特別展・特集展示の開催

(1) 特別展「環境エンリッチメント展  
～どうぶつたちの幸せな暮らし～」  
会期：2019年3月21日～2019年9月1日  
会場：ビジターセンター 特別展示室  
共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・  
リーディング大学院  
協力：NPO法人市民ZOOネットワーク、  
SHAPE-Japan、京都市動物園

(2) 特別展「骨から読み解く霊長類の暮らしと進化  
— 霊長類骨格博物館 —」  
会期：2019年9月14日～2020年1月27日  
会場：ビジターセンター 特別展示室

(3) 特別展「タンザニアの精霊・シェタニ  
～マコンデの彫刻と絵画～」  
会期：2020年3月14日～  
会場：ビジターセンター 特別展示室  
共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・  
リーディング大学院

関連企画：写真展「Tanzania Wild-Life」  
会期：2020年3月14日～開催中  
会場：ビジターセンター 企画展示室

(4) ミニ展示「動物通貨コレクション展」  
会期：2019年3月30日～2020年3月23日  
会場：ビジターセンター内

(5) 青木朋子氏 オマキザル絵画展  
会期：2019年6月1日～2019年6月30日  
会場：ビジターセンター 企画展示室

(6) 企画展「スマトラ島のオランウータン」  
会期：2019年10月14日～2019年12月15日  
会場：ビジターセンター 企画展示室  
主催：NPO法人オランウータンリサーチセンター

(7) 企画展「冬の風物詩「たき火にあたるサル」60周年展」  
第1会場  
会期：2019年12月22日～2020年2月19日  
会場：モンキーバレイ横無料休憩所  
第2会場  
会期：2019年12月22日～2020年2月19日  
会場：ビジターセンター企画展示室  
展示写真募集期間：  
第一期：2019年11月20日～12月20日  
第二期：2019年12月22日～2020年2月29日

(8) 写真展「アフリカ・コンゴ民主共和国のボノボの森」  
会期：2020年2月14日～開催中  
会場：ビジターセンター内

(9) 写真展「猿 SARU Singes du Japon」  
会期：2019年8月1日～2020年1月27日  
主催：公益財団法人日本モンキーセンター、  
京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・  
リーディング大学院  
協力：Editions Issekinicho, University of Strasbourg,  
Depuis 80 ans nos connaissances batissent de  
nouveaux mondes, Investissements d'avenir,  
Institut Pluridisciplinaire Hubert CURIEN  
会場：無料休憩所

(10) 民俗資料展示「日本モンキーセンター所蔵 民俗資料  
猿二郎コレクション」  
会期：2017年10月13日～開催中  
(2020年3月27日展示替えを実施)  
場所：木之下城伝承館 堀部邸  
協力：特定非営利活動法人 古代瀬波の里・文化遺産  
ネットワーク

## 7. 2019 年度京大モンキーキャンパスの開講

主催：公益財団法人日本モンキーセンター  
共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・  
リーディング大学院  
受講費：15,000 円（全 6 回分、友の会年会費は別途）  
受講者数：88 名

プログラム：

- 第 1 回 2019 年 6 月 9 日  
講師：伊沢紘生（宮城教育大学・宮城のサル調査会）  
「ニホンザルと新世界ザル：私が調査を始めた頃」
- 第 2 回 2019 年 7 月 21 日  
講師：梶田隆章（東京大学）  
「ニュートリノで探る宇宙の物質の起源」
- 第 3 回 2019 年 8 月 18 日  
講師：辰野勇（株式会社モンベル）  
「夢と冒険：野遊びのすすめ」
- 第 4 回 2019 年 9 月 8 日  
講師：友永雅己（京都大学霊長類研究所・  
公益財団法人日本モンキーセンター）  
「森・空・海から探るこころの進化」  
（講師都合により当初予定から講師変更）
- 第 5 回 2019 年 10 月 20 日  
講師：村山美穂（京都大学野生動物研究センター）  
「冷凍動物園：ゲノム、細胞、生態の研究を  
つないで野生動物の絶滅を防ぐ」  
（台風 19 号の影響で当初予定から日程変更）
- 第 6 回 2019 年 11 月 10 日  
講師：湯本貴和（京都大学霊長類研究所）  
「人新世：生態環境の歴史の変遷から人間性の  
起源を考える」

## 8. 京大モンキーキャンパスサークル活動の実施

京大モンキーキャンパス受講者をメンバーとして活動  
募集型サークル

- ①資料サークル（担当キュレーター：高野、新宅）  
活動日：京大モンキーキャンパス開講日の午後  
内容：骨格標本の整理
- ②行動観察サークル（担当キュレーター：赤見、田和）  
活動日：京大モンキーキャンパス開講日の午後、  
および不定期に活動  
内容：アビシニアコロブス班・ヤクシマザル班の  
2 班に分かれ、行動を観察  
成果はプリマーテス研究会等で発表

自主活動型サークル

- ①エンリッチメントサークル  
活動日：京大モンキーキャンパス開講日の午後  
内容：ニシゴリラを対象に環境エンリッチメント  
を実施し行動を観察。また、一般来園者  
向けのガイドを実施。成果はプリマーテス  
研究会等で発表
- ②畑サークル  
活動日：不定期  
内容：園内各所に畑を作り、さまざまな物を栽培  
作物は園内の霊長類に給餌

## 9. 2019 年度京大モンキーキャンパス金華山研修旅行の開催

日程：2019 年 11 月 2 日～11 月 5 日  
研修先：宮城県金華山島  
現地指導：伊沢紘生  
引率：赤見理恵、辻内祐美  
参加者：11 名

## 10. 京大モンキー日曜サロンの開催

- 主催：公益財団法人日本モンキーセンター  
京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・  
リーディング大学院  
京都大学霊長類研究所  
後援：犬山市、犬山市教育委員会  
提供：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・  
リーディング大学院
- 第 55 回  
日程：2019 年 5 月 12 日  
演題：「チンパンジー研究者、母になる」  
講師：林美里（京都大学霊長類研究所）
- 第 56 回  
日程：2019 年 5 月 26 日  
演題：「メスたちがつなぐボノボの社会」  
講師：古市剛史（京都大学霊長類研究所）
- 第 57 回  
日程：2019 年 7 月 28 日  
演題：「アマゾンにフィールドミュージアムをつくる」  
講師：池田威秀（京都大学野生動物研究センター）
- 第 58 回  
日程：2019 年 8 月 25 日  
演題：「ゾウの声を聴こう：ゾウどうしはどんな  
ふうで会話するの？」  
講師：ナチケータ・シャルマ  
（京都大学野生動物研究センター）
- 第 59 回  
日程：2019 年 9 月 15 日  
演題：「希少な野生動物の繁殖をサポート：  
野生動物保全における生殖補助技術の役割」  
講師：藤原摩耶子（京都大学野生動物研究センター・  
日本学術振興会）
- 第 60 回  
日程：2019 年 10 月 20 日  
演題：「性と遺伝子の進化：霊長類の性はどのように  
進化してきたのか？」  
講師：桂有加子（京都大学霊長類研究所）
- 第 61 回  
日程：2019 年 10 月 27 日  
演題：「野生のキツネザルを追って  
～味覚遺伝子研究者のフィールドワーク～」  
講師：糸井川壮大（京都大学霊長類研究所）
- 第 62 回  
日程：2019 年 11 月 24 日  
演題：「ヒガシゴリラと紛争鉱物…そしてわたしたち」  
講師：戸田恵美（京都大学霊長類研究所）
- 第 63 回  
（日程：2020 年 3 月 22 日を予定していたが延期）  
演題：「歯から考える動物の進化」  
講師：富谷進（京都大学霊長類研究所）

## 11. 写生大会の開催

(1) 第63回中部ブロック動物園水族館協会写生コンクール参加  
日本モンキーセンター写生大会 優秀作品展の開催  
期間：2018年7月22日～2019年7月16日  
場所：ビジターセンター内企画展示室

(2) 第64回日本モンキーセンター写生大会の開催  
後援：文部科学省、愛知県、愛知県教育委員会、  
岐阜県教育委員会、犬山市、犬山市教育委員会、  
京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・  
リーディング大学院  
募集期間：2019年4月1日～6月2日  
応募点数：256点  
審査会：2019年6月12日  
入選点数：48点（特別賞13点、特選15点、入選20点）

表彰式：2019年7月20日  
場所：ビジターセンターホール  
参加者：受賞者およびその家族、96名

(3) 第64回日本モンキーセンター写生大会  
優秀作品展の開催  
期間：2019年7月20日～開催中  
場所：ビジターセンター内企画展示室

## 12. ミュージアムトーク

第19回「霊長類の名前の話～チンパンジーは神様から?～」  
2019年5月19日 新宅勇太  
第20回「動物園がもつ「種の保存」という役割」  
2019年6月30日 田和優子  
第21回「人骨鑑定とはじめ」  
2019年9月1日（台風により日程変更） 高野智  
第22回・第23回「骨から読み解く霊長類のくらしと進化」  
2019年9月14日・10月6日 高野智  
第24回「みんなで知ろう、テナガザルのこと!」  
2019年10月22日 打越万喜子  
第25回「アフリカ・コンゴ民主共和国のボノボの森：  
2019調査記」  
2019年12月8日 新宅勇太  
第26回「たき火にあたるサル60周年展ウラ話」  
2019年12月22日 赤見理恵  
第27回「骨から読み解く霊長類のくらしと進化・完結編」  
2020年1月12日 高野智  
第28回「チンパンジー研究者から見た世界：  
日常生活からアフリカまで、研究裏話」  
2020年2月2日 林美里  
第29回「カメラがとらえたマレーバクの暮らしぶり」  
田和優子  
(2020年3月29日開催予定だったが延期)

## 13. 動物園イベント

### (1) 通年イベント

① 飼育員と一緒におやつを作ろう  
土曜・日曜・祝日に有料にて開催（2020年3月は休止）  
不定期に誕生会など特別バージョンを開催  
② エンリッチメント体験・飼育員のおしごと体験  
土曜・日曜・祝日に有料にて開催（2020年3月は休止）  
消防ホースを使ったハンモックや巣箱作りなど  
環境エンリッチメントの実践体験

③ スポットガイド 毎日数回開催  
④ ニシゴリラ・タロウさんのお食事タイム  
アフリカセンターにて毎日夕方開催  
⑤ もぐもぐ体験  
KIDSZOOのシバヤギ、リクガメへの給餌体験  
（2020年3月以降はシバヤギのみ）  
⑥ ペーパークラフト Wao キャップ（常時受付）  
⑦ ツリーハウス貸し切り利用（15分単位で受付）  
⑧ トウクトウキギボンガイドツアー  
日程：2019年4月～11月の土日（除外日あり）  
内容：トウクトウに乗りながらの飼育員による  
テナガザルガイドツアー  
⑨ スローロリス保全センター見学ツアー  
日程：毎月1日～2日程度、土日祝に不定期開催  
内容：非公開のスローロリス保全センターの限定公開  
（各回定員20名）

### (2) ガイドリレー

園内数か所で特定テーマにもとづいて連続したスポット  
ガイドを開催  
① 昭和の日ガイドリレー 2019年4月29日  
② みどりの日ガイドリレー 5月4日  
③ こどもの日ガイドリレー 5月5日  
④ 母の日ガイドリレー 5月12日  
⑥ 父の日ガイドリレー 6月16日  
⑦ 世界チンパンジーの日ガイドリレー 7月14日  
⑧ 敬老の日ガイドリレー 9月16日  
⑨ 体育の日ガイドリレー 10月14日  
⑩ 文化の日ガイドリレー 11月3日  
⑪ 飼育員のお仕事見学ツアー 11月23日  
⑫ バレンタインガイドリレー 2020年2月11日  
⑬ 野生生物の日ガイドリレー 3月3日

### (3) チンパンジーフェスティバル2019

① パンDEフェス  
日程：2019年5月11日、12日  
会場：ケヤキの森周辺  
内容：近隣のパン屋7店舗による出張販売  
② ラリーDEフェス  
期間：2019年4月27日～5月31日  
会場：園内全域  
内容：クイズラリーの問題を園内各所に設置  
③ なりきりチンパンジー  
日程：2019年5月12日  
会場：アフリカセンター前  
内容：枝葉をおり込んだベッド作り体験

④ 植樹DEフェス  
日程：2019年5月18日  
会場：アフリカセンター周辺  
内容：桑の苗木を植樹  
⑤ チンパンジーの写真展  
会期：2019年4月27日～5月31日  
会場：アフリカセンター観覧通路  
内容：飼育員が撮影したチンパンジー写真の掲示

- ⑥ クイズDEフェス ～チンパンジー王におれはなる！～  
 日程：2019年5月4日、25日  
 会場：ビジターセンターホール  
 内容：チンパンジーに関するクイズ大会
- ⑦ やぐらDEフェス  
 日程：2019年4月28日  
 会場：アフリカセンター  
 内容：新設したやぐらに設置する遊具作成体験
- ⑧ 平成最後のマリリン  
 日程：2019年4月30日  
 会場：アフリカセンター  
 内容：チンパンジーマリリンへのプレゼントづくり
- ⑨ おやつDEフェス  
 日程：2019年5月5日  
 会場：ビジターセンター・アフリカセンター  
 内容：消防ホースを使ったフィーダー作り体験
- ⑩ フィーダーDEフェス  
 日程：2019年5月19日  
 会場：アフリカセンター  
 内容：消防ホースを使ったフィーダー作り体験
- ⑪ ベッドDEフェス  
 日程：2019年5月26日  
 会場：アフリカセンター  
 内容：消防ホースを使ったベッド作り
- ⑫ チンパンジーフェスティバル記念ガイドリレー  
 日程：2019年4月27日  
 内容：アヌビスヒヒ・アビシニアコロプス・フサオマキザル・チンパンジーのガイド
- ⑬ 講演会  
 日程：2019年5月12日、19日、26日  
 会場：ビジターセンターホール  
 内容：京大モンキー日曜サロン・ミュージアムトークをチンパンジーと関連した内容で実施
- ⑭ 食事処楽猿期間限定メニュー  
 日程：2019年4月27日～5月31日  
 内容：チンパンジーマモルのわんぱくプレートの間限定販売
- (4) 世界キツネザルフェスティバル2019 in JMC  
 ① スタンプラリー  
 日程：2019年10月1日～10月31日  
 会場：園内4か所に設置したスタンプを集めるラリー
- ② 写真展『あのワオは今！？』  
 日程：2019年10月1日～10月31日  
 会場：ビジターセンター内  
 内容：公益化以後搬出したワオキツネザルの現況を写真パネルで紹介  
 協力：旭川市旭山動物園、富士サファリパーク、伊豆シャボテン動物公園、熊本市動植物園、神戸どうぶつ王国、宇部市ときわ公園、NIFREL
- ③ マダガスカルツアー  
 日程：2019年10月1日～31日の平日  
 内容：ビジターセンターからWaoランド mini、マダガスカル館、Waoランドへのガイドツアー
- ④ 飼育員と一緒におやつをつくろう！キツネザルフェスティバルバージョン  
 日程：2019年10月5日、19日、26日  
 会場：ビジターセンター・Waoランド  
 内容：環境、嗅覚、行動の3つのテーマによるおやつづくりと観察
- ⑤ キツネザルのBINGO!  
 日程：2019年10月6日、22日、27日  
 会場：ビジターセンターホール  
 内容：キツネザルの種名を使ったビンゴ大会
- ⑥ キツネザルの“オクトーバーフェスト”！  
 日程：2019年10月13日、14日  
 会場：ビジターセンター前  
 出店：犬山ローレライ麦酒館、ぱんの音（13日のみ）
- ⑦ キツネザルのダンス祭り♪  
 日程：2019年10月14日  
 会場：ビジターセンター前  
 内容：2チームによるダンス披露
- ⑧ しましま集まれ！  
 日程：2019年10月14日  
 会場：ビジターセンターホール  
 内容：白と黒のボーダー模様の服を着て集合写真
- ⑨ マダガスカルナイト  
 日程：2019年10月26日～27日  
 内容：ケヤキの森でのテント泊ほか  
 参加者：4組9名
- ⑩ 講演会  
 日程：2019年10月27日  
 内容：京大モンキー日曜サロンをキツネザルを内容で実施
- ⑪ 食事処楽猿期間限定メニュー  
 期間：2019年10月1日～10月31日  
 内容：しましまソフト・キツネザルのふわとろオムライスの期間限定販売
- (5) 冬の風物詩 たき火にあたるサル  
 期間：2019年12月22日～2020年2月29日の土・日・祝  
 2020年1月1日～1月5日の毎日  
 時間：11:30～14:00
- ① ほかほかおイモタイム  
 時間：たき火にあたるサルの開催日 14:00～

(6) 年末年始イベント

① サルおせち

飼育員作成の「サルおせち」を与えてガイド

1月1日 ボリビアリスザル

1月2日 ワオキツネザル

1月3日 チベットモンキー、シロガオサキ

1月4日 アヌビスヒビ

1月5日 マンドリル

② サルみくじ

③ 縁起物「奇跡のみかん」の配布

日程：2020年1月1日～1月3日

場所：ビジターセンター前

10:00より各日先着50個を配布

④ モンキーセンターからのお年玉♪

末尾「36」「8936」の年賀葉書持参者にプレゼント

(7) 特定日開催

① 公益財団法人化記念 無料開放日

日程：2019年4月1日

② VS 飼育員 ～4月19日は飼育の日! 飼育員のお仕事に挑戦!～

日程：2019年4月13日、20日、21日

(14日は雨天のため中止)

内容：飼育員の仕事にちなんだ4種目で来園者と

飼育員が対決

会場：ギボンハウス周辺

③ ドローンVR体験

日程：2019年5月11日、6月8日、8月10日

内容：ドローンとVRゴーグルを使ったサルの目線の体験

④ 竹下景子さん親善大使就任記念イベント

日程：2019年6月9日

場所：ビジターセンターホール

内容：親善大使委任状授与式

就任記念トークショー（聞き手：松沢哲郎）

⑤ 世界チンパンジーの日クイズ大会

日程：2019年7月14日

場所：ビジターセンターホール

内容：チンパンジーに関するクイズ大会

⑥ 第2回日本モンキーセンター飼育施設対抗なんでもアピール選手権大会 通称「甲子猿」

日程：2019年7月13日、14日、15日、8月3日（1回戦）

8月11日、12日（2回戦）

8月17日（決勝戦）

8月24日（公約実施）

内容：園内飼育施設を8チームに分け、各担当動物の魅力動画を写真でアピール。参加者投票によりトーナメント方式で優勝チームを決定し、事前に決定した公約を実施。

⑦ ボート体験会

日程：2019年9月14日、10月12日、11月9日

内容：リスザルの島周囲の池でカヌーからサルを観察

⑧ 第3回モンチャレ!

日程：2019年9月15日、16日

(9月22日、23日は天候不良のため中止)

内容：大声、バランス、賢さ、器用さの4種の競技で霊長類の能力に挑戦

会場：ケヤキの森・モンキーバレイ横休憩所

⑨ 動物慰霊祭

日程：2019年10月17日

備考：10月12日～17日の間、慰霊祭のお供え物を募集

⑩ 映画「森の学校」特別上映会

日程：2019年11月2日（3回上映）

場所：ビジターセンターホール

上映作品：映画「森の学校」（2002年、西垣吉春監督）

合わせて西垣監督の舞台挨拶を開催

⑪ 猿JOY（エンジョイ）!ファン感謝祭

日程：2020年1月13日

内容：特別体験ツアー、座談会など

⑫ アウトドア体験～ニジマス釣り～

日程：2019年12月22日、2020年1月11日

場所：モンキーバー

協力：COCOMO

(8) 募集型イベント

① ワイルドサマーキャンプ（参加費16,000円）

主催：（公財）日本モンキーセンター

共催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

日程：第1回 2019年7月30日～7月31日

第2回 2019年8月6日～8月7日

第3回 2019年8月20日～8月21日

参加者：小学校3年生～中学校3年生

第1回・第2回24名、第3回23名

内容：レクチャー・ガイドツアー・行動観察・

野生動物調査体験・園内でのテント泊など

② 特別ガイドツアー

グッドモーニングZOO（Trip Advisor・当日申込）

第1回 2019年8月4日 参加者8名

第2回 2019年8月11日 参加者24名

第3回 2019年8月12日 参加者10名

第4回 2019年8月18日 参加者13名

第5回 2019年8月25日 参加者12名

第6回 2019年9月15日 参加者2名

第7回 2019年9月23日 参加者11名

モンキーセンター現役事務員と行く!

飼育員たちと出会える動物園満喫ツアー（TABICA）

第1回 2019年12月16日 参加者12名

第2回 2020年2月27日 参加者10名

休園日の日本モンキーセンターのぞき見ツアー

（TABICA）

第1回 2020年2月25日 参加者8名

14. イベントの受入

(1) 第16回犬山踊芸祭

日程：2019年6月1日

場所：ビジターセンター前

主催：犬山踊芸祭実行委員会

## 15. ホームページの充実

(1) 日本語サイト <http://www.j-monkey.jp/>  
Webサイトの更新件数：310件  
(サポーター専用ページを除く)  
主な更新：トップページ写真、ニュース等

## (2) 外国語サイト

(英) <https://www.japanmonkeycentre.org/index.html>  
(葡) <https://www.japanmonkeycentre.org/pt/>  
(仏) <https://www.japanmonkeycentre.org/fr/>  
(簡体中文) <https://www.japanmonkeycentre.org/cn/>  
そのほか、園内リーフレットを繁体中文、韓国語で掲載

## 16. メールマガジン「新JMC通信」の発行

2018年4月より不定期配信に変更

2019年度配信数 26回

4/7は友の会のつどいを開催します！

2019年4月5日

いよいよ VS 飼育員開催！！ 4月11日

チンパンジーフェスティバル、GW直前号 4月26日

チンパンジーフェスティバル パンDEフェス開催！

5月9日

チンパンジーフェスティバル開催中！ 5月17日

チンパンジーフェスティバルラストスパート！

5月24日

竹下景子さん親善大使就任記念イベント開催！

6月7日

亥年講演会開催！ 6月14日

いよいよ「甲子猿」開幕！！ 7月11日

甲子猿1回戦第4試合延期のお知らせ 7月26日

お盆もモンキーセンターで楽しもう！ 8月11日

ミュージアムトーク「人骨鑑定ことはじめ」開催！

8月30日

特別展 OPEN！モンチャレ！開催！！ 9月14日

もうすぐキツネザルフェスティバル開催！

9月27日

今日からキツネザルフェスティバル開催！

10月1日

キツネザルの“オクトーバーフェスト”！、

友の会のつどい開催！ 10月10日

第63回動物慰霊祭を執りおこないます 10月16日

映画「森の学校」特別上映会開催！ 10月31日

飼育員のおしごとについて知ろう！おしごと見学

ツアー開催！ 11月21日

犬山野猿公苑の写真募集中！ 12月5日

冬の風物詩「たき火にあたるサル」始まります

12月19日

2019年最後の【新JMC通信】 12月29日

猿JOY(エンジョイ)！ファン感謝祭開催します！

2020年1月10日

プリマーテス研究会開催します 1月24日

今季のたき火にあたるサル、まもなく終了します

2月20日

春のイベント開催状況のお知らせ 3月21日

## 17. ブログ「飼育の部屋」

<http://www.j-monkey.jp/jmckeper/>

2019年度投稿数 1,037件

特集「今月の霊長類は誰だ」

4月 シシオザル

5月 ワタボウシタマリン

6月 ニシゴリラ

7月 フランソワルトン

8月 パタスモンキー

9月 ジェフロイクモザル

10月 クロシロエリマキキツネザル

11月 マントヒヒ

12月 ヨザル

1月 マンドリル

2月 フクロテナガザル

3月 キタタラポアン

## 18. Facebookを通じた情報発信

<https://www.facebook.com/japanmonkeycentre/>

投稿数：61件

フォロワー数：3,082 (2020年3月31日時点)

## 19. Twitterを通じた情報発信

日本語版

[https://twitter.com/j\\_monkeycentre](https://twitter.com/j_monkeycentre)

投稿数：2,306件

フォロワー数：26,775 (2020年3月31日時点)

英語版

<https://twitter.com/JpnMonkeyCentre>

投稿数：87件

フォロワー数：290 (2020年3月31日時点)

## 20. YouTubeの配信(動画・スライドショー)

公式チャンネル

2019年度新規配信：35件

動物園イベント「甲子猿」関連動画

飼育職員撮影の動物動画など

フォロワー数：741 (2020年3月31日時点)

公式裏チャンネル

2020年1月22日より配信開始

2019年度新規配信：10件

飼育職員撮影・編集の動画を配信

フォロワー数：852 (2020年3月31日時点)

## 21. Instagramからの配信

<https://www.instagram.com/jpnmonkeycentre/>

2019年度新規配信：201件

フォロワー数：2,402 (2020年3月31日時点)

## 22. マスメディアへの情報提供

### (1) プレスリリース

チンパンジーフェスティバルを開催します！

2019年4月22日

特別展「環境エンリッチメント展」のお知らせ

4月25日

竹下景子さん親善大使就任記念トークショーのご案内

5月25日

第3回日本モンキーセンター飼育施設対抗なんでも  
アピール選手権大会「甲子猿」開催のお知らせ

7月8日

写真展「猿 SARU Singes du Japon」開催のおしらせ

7月30日

公益財団法人日本モンキーセンター×モンベル

「包括連携協定締結式」の開催について 8月13日

第3回日本モンキーセンター飼育施設対抗なんでも

アピール選手権大会通称「甲子猿」いよいよ決勝戦です！

8月15日

『第3回モンチャレ！』開催します！ 9月10日

『世界キツネザルフェスティバル 2019 in JMC』を

開催します！ 9月28日

10/17(木)動物慰霊祭を執りおこないます

10月11日

映画「森の学校」特別上映会開催 10月28日

アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い

第22回シンポジウム(通称SAGA22)をモンキー

センターで開催します！ 11月14日

大型類人猿の脱出を想定した対策訓練を実施します

12月1日

冬の風物詩「たき火にあたるサル」60周年今年も

12月22日(冬至)より開催します 12月12日

日本モンキーセンター年始のイベントのご案内

12月17日

あけましておめでとうございます！

2020年1月1日

(2) 新聞記事掲載 33件

(3) テレビ 36件

① NHK 「ワイルドライフ 沖縄西表島 シロアリが  
ヤマネコの森を育む」

放送日：2019年12月2日

制作：中村美穂

(4) ラジオ 6件

(5) 雑誌等掲載 18件

(6) 広報犬山 イベント情報掲載 10件

(7) Web サイト 26件

(8) イベント情報配信サイトへの情報提供 1媒体3件

※確認できたもののみ

## (4) 図書及び学術誌の刊行

### 1. 英文学術雑誌「PRIMATES」の発行

PRIMATES 編集委員会 (2020年3月31日時点)

#### Editor-in Chief

松沢哲郎 (京都大学、日本モンキーセンター)

#### Vice Editors-in-Chief

James R. Anderson (京都大学)

平田聡 (京都大学)

#### Associate Editors

Kim A. Bard (University of Portsmouth, イギリス)

Augustin K. Basabose

(Centre de Recherche en Sciences Naturelles, コンゴ民主共和国)

Fred Bercovitch (京都大学)

Júlio César Bicca-Marques

(Pontifical Catholic University of Rio Grande do Sul, ブラジル)

Warren Y. Brockelman (Mahidol University, タイ)

Susana Carvalho (University of Oxford, イギリス)

古市剛史 (京都大学)

Brian Hare (Duke University, アメリカ)

Eckhard W. Heymann (German Primate Center, ドイツ)

Michael A. Huffman (京都大学)

村山美穂 (京都大学)

石田貴文 (東京大学)

Patrícia Izar (University of São Paulo, ブラジル)

河村正二 (東京大学)

Phyllis Lee (University of Stirling, イギリス)

Baoguo Li (Northwest University, 中国)

松田一希 (中部大学、日本モンキーセンター)

William C. McGrew (University of St Andrews, イギリス)

John C. Mitani (University of Michigan, アメリカ)

中川尚史 (京都大学)

中道正之 (大阪大学)

中村美知夫 (京都大学)

中村紳一郎 (滋賀医科大学)

中務真人 (京都大学)

西村剛 (京都大学)

岡本宗裕 (京都大学)

Martha M. Robbins

(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)

Stephen R. Ross (Lincoln Park Zoo, アメリカ)

Crickette Sanz (Washington University in St. Louis, アメリカ)

清水慶子 (岡山理科大学)

David S. Sprague (農業・食品産業技術総合研究機構)

Karen B. Strier (University of Wisconsin, Madison, アメリカ)

Bernard Thierry

(Centre National de la Recherche Scientifique, フランス)

友永雅己 (京都大学)

Peter S. Ungar (University of Arkansas, アメリカ)

山極壽一 (京都大学、日本モンキーセンター)

山本真也 (京都大学)

#### Advisory Board

Josep Call (University of St. Andrews, イギリス)

Mukesh K. Chalise (Tribhuvan University, ネパール)



Frans B. M. de Waal (Emory University, アメリカ)  
Dorothy M. Fragaszy (University of Georgia, アメリカ)  
藤田志歩 (鹿児島大学)  
早川卓志 (北海道大学)  
林美里 (京都大学)  
Catherine Hobaiter (University of St Andrews, イギリス)  
Gottfried Hohmann  
(Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, ドイツ)  
William D. Hopkins  
(Yerkes Regional Primate Research Center, アメリカ)  
五百部裕 (椛山女学園大学)  
今井啓雄 (京都大学)  
井上英治 (東邦大学)  
Charles Janson (University of Montana, アメリカ)  
Andreas Koenig (Stony Brook University, アメリカ)  
Amanda Korstjens (Bournemouth University, イギリス)  
香掛展之 (総合研究大学院大学)  
Andrew MacIntosh (京都大学)  
松本晶子 (琉球大学)  
Katharine Milton (University of California, Berkeley, アメリカ)  
室山泰之 (東洋大学)  
小川秀司 (中京大学)  
荻原直道 (慶應義塾大学)  
Elisabetta Palagi (University of Pisa, イタリア)  
Ryne A. Palombit (Rutgers University, アメリカ)  
Mary S. M. Pavelka (University of Calgary, カナダ)  
Andrew J. Plumptre (Wildlife Conservation Society, アメリカ)  
山海直 (医薬基盤・健康・栄養研究所)  
Michael Schillaci (University of Toronto, カナダ)  
Gabriele Schino  
(Institute of Cognitive Sciences and Technologies, CNR, イタリア)  
Robert M. Seyfarth (University of Pennsylvania, アメリカ)  
下岡ゆき子 (帝京科学大学)  
Pascale Sicotte (University of Calgary, カナダ)  
Joan Silk (Arizona State University, アメリカ)  
David Glenn Smith (University of California, Davis, アメリカ)  
Charles T. Snowdon (University of Wisconsin, Madison, アメリカ)  
Joseph M. Soltis (Disney's Animal Kingdom, アメリカ)  
Volker Sommer (University College London, イギリス)  
Craig B. Stanford (University of Southern California, アメリカ)  
杉浦秀紀 (京都大学)  
高井正成 (京都大学)  
竹ノ下佑二 (中部学院大学)  
田中伊知郎 (四日市大学)  
田中正之 (京都市動物園)  
辻大和 (京都大学)  
David Watts (Yale University, アメリカ)  
山越言 (京都大学)  
Anne Yoder (Duke University, アメリカ)  
湯本貴和 (京都大学)

#### Editorial Assistants

新宅勇太 (京都大学、日本モンキーセンター)

## CONTENTS

### Volume 60 Number 3, May 2019

#### Special Issue:

Social networks analysis in primates, a multilevel perspective

#### Special feature: Editorial

Ivan Puga-Gonzalez, Sebastian Sosa, Cédric Sueur: Social networks analyses in primates, a multilevel perspective. pp. 163-165.

#### Special feature: Review Article

Cédric Sueur, Valéria Romano, Sebastian Sosa, Ivan Puga-Gonzalez: Mechanisms of network evolution: a focus on socioecological factors, intermediary mechanisms, and selection pressures. pp. 167-181.

#### Special Feature: News and Perspectives

Gregory P. Fratellone, Jin-Hua Li, Lori K. Sheeran, R. S. Wagner, Xi Wang, Lixing Sun: Social connectivity among female Tibetan macaques (*Macaca thibetana*) increases the speed of collective movements. pp. 183-189.

#### Special Feature: Original Article

Michelle A. Rodrigues, Emily R. Boeving: Comparative social grooming networks in captive chimpanzees and bonobos. pp. 191-202.

Nicola F. Koyama, Filippo Aureli: Social network changes during space restriction in zoo chimpanzees. pp. 203-211.

Tatsuro Kawazoe, Sebastian Sosa: Social networks predict immigration success in wild Japanese macaques. pp. 213-222.

Dong-Po Xia, Randall C. Kyes, Xi Wang, Bing-Hua Sun, Lixing Sun, Jin-Hua Li: Grooming networks reveal intra- and intersexual social relationships in *Macaca thibetana*. pp. 223-232.

Ivan Puga-Gonzalez, Sebastian Sosa, Cedric Sueur: Social style and resilience of macaques' networks, a theoretical investigation. pp. 233-246.

Meredith C. Lutz, Jonah Ratsimbazafy, Peter G. Judge: Use of social network models to understand play partner choice strategies in three primate species. pp. 247-260.

Mathilde Grampp, Cédric Sueur, Erica van de Waal, Jennifer Botting: Social attention biases in juvenile wild vervet monkeys: implications for socialisation and social learning processes. pp. 261-275.

Sandra E. Smith-Aguilar, Filippo Aureli, Laura Busia, Colleen Schaffner, Gabriel Ramos-Fernández: Using multiplex networks to capture the multidimensional nature of social structure. pp. 277-295.

Barbara Tiddi, Romina Pfoh, Ilaria Agostini: The impact of food provisioning on parasite infection in wild black capuchin monkeys: a network approach. pp. 297-306.

Sonja Wild, William Hoppitt: Choosing a sensible cut-off point: assessing the impact of uncertainty in a social network on the performance of NBDA. pp. 307-315.

### Volume 60, Number 4, July 2019

#### Editorial

Tetsuro Matsuzawa: Chimpanzees foraging on aquatic foods: algae scooping in Bossou. pp. 317-319.

#### Review Article

James R. Anderson, Mabel Y. L. Ang, Louise C. Lock, Iris Weiche: Nesting, sleeping, and nighttime behaviors in wild and captive great apes. pp. 321-332.

## News and Perspectives

- Marie Cibot, Maureen S. McCarthy, Jack D. Lester, Linda Vigilant, Tom Sabiiti, Matthew R. McLennan: Infant carrying by a wild chimpanzee father at Bulindi, Uganda. pp. 333-338.
- Liz A. D. Campbell: Fostering of a wild, injured, juvenile by a neighbouring group: implications for rehabilitation and release of Barbary macaques confiscated from illegal trade. pp. 339-345.
- Katerina Englerova, Daniel Klement, Daniel Frynta, Richard Rokyta, Tereza Nekovarova: Reactions to novel objects in monkeys: what does it mean to be neophobic? pp. 347-353.

## Original Article

- Wilson F. Vieira, Chris Kerry, Kimberley J. Hockings: A comparison of methods to determine chimpanzee home-range size in a forest–farm mosaic at Madina in Cantanhez National Park, Guinea-Bissau. pp. 355-365.
- Alba Motes-Rodrigo, R. Adriana Hernandez-Aguilar, Matthias Laska: Preferential hand use by captive chimpanzees (*Pan troglodytes*) in manual and tool digging. pp. 367-373.
- J. Scheun, D. Greeff, J. Nowack: Urbanisation as an important driver of nocturnal primate sociality. pp. 375-381.

## Volume 60, Number 5, September 2019

### Editorial

- Tetsuro Matsuzawa: Horses and nomads in Mongolia. pp. 383-387.

### Original Article

- Rachna B. Reddy, John C. Mitani: Social relationships and caregiving behavior between recently orphaned chimpanzee siblings. pp. 389-400.
- Takeshi Nishimura, Naoki Morimoto, Tsuyoshi Ito: Shape variation in the facial part of the cranium in macaques and African papionins using geometric morphometrics. pp. 401-419.
- Yu Kaigaishi, Masayuki Nakamichi, Kazunori Yamada: High but not low tolerance populations of Japanese macaques solve a novel cooperative task. pp. 421-430.
- Takeshi Nishimura, Akihisa Kaneko: Temperature profile of the nasal cavity in Japanese macaques. pp. 431-435.
- Phuntsho Thinley, Tshewang Norbu, Rajanathan Rajaratnam, Karl Vernes, Kezang Wangchuk, Karma Choki, Jigme Tenzin, Sangay Tenzin, Kinley, Shacha Dorji, Tshering Wangchuk, Karma Cheda, Gempa: Population abundance and distribution of the endangered golden langur (*Trachypithecus geei*, Khajuria 1956) in Bhutan. pp. 437-448.
- Valentine Thiry, Oriana Bhasin, Danica J. Stark, Roseline C. Beudels-Jamar, Régine Vercauteren Drubbel, Senthilvel K. S. S. Nathan, Benoit Goossens, Martine Vercauteren : Seed dispersal by proboscis monkeys: the case of *Nauclea* spp. pp. 449-457.
- Gibran Anderson Oliveira Da Silva, Tiago Falótico, Stephen David Nash, Mônica Mafra Valença-Montenegro: A green racer snake (*Philodryas nattereri*, Colubridae) killed but not eaten by a blonde capuchin monkey (*Sapajus flavius*, Cebidae). pp. 459-465.
- Emilie Melvin, David Samson, Charles L. Nunn: Eulerian videography technology improves classification of sleep architecture in primates. pp. 467-475.

## Volume 60, Number 6, November 2019

### Editorial

- Tetsuro Matsuzawa: Bornean orangutans: primary forest in Danum Valley and rehabilitation program on Orangutan Island. pp. 477-483.

- Tetsuro Matsuzawa: The *Primates* 2019 Most-Cited Paper Award. pp. 485-486.

## News and Perspectives

- Colin M. Brand, Linda F. Marchant: Social hair plucking is a grooming convention in a group of captive bonobos (*Pan paniscus*). pp. 487-491.
- Raquel Costa, Misato Hayashi, Michael A. Huffman, Gladys Kalema-Zikusoka, Masaki Tomonaga: Water games by mountain gorillas: implications for behavioral development and flexibility—a case report. pp. 493-498.
- Britt Singletary, Stacey Tecot: Signaling across the senses: a captive case study in pair-bonded red-bellied lemurs (*Eulemur rubriventer*) at the Duke Lemur Center, NC, USA. pp. 499-505.

## Original Article

- Eva Maria Luef, Simone Pika: Social relationships and greetings in wild chimpanzees (*Pan troglodytes*): use of signal combinations. pp. 507-515.
- Claudio Tennie, Christoph J. Völter, Victoria Vonau, Daniel Hanus, Josep Call, Michael Tomasello: Chimpanzees use observed temporal directionality to learn novel causal relations. pp. 517-524.
- Kristin Havercamp, Koshiro Watanuki, Masaki Tomonaga, Tetsuro Matsuzawa, Satoshi Hirata: Longevity and mortality of captive chimpanzees in Japan from 1921 to 2018. pp. 525-535.
- Shanthala Kumar, Honnavalli Nagaraj Kumara, Kumar Santhosh, Palanisamy Sundararaj: Prevalence of gastrointestinal parasites in lion-tailed macaque *Macaca silenus* in central Western Ghats, India. pp. 537-546.
- Nelson Broche Jr., Rafaela S. C. Takeshita, Keiko Mouri, Fred B. Bercovitch, Michael A. Huffman: Salivary alpha-amylase enzyme is a non-invasive biomarker of acute stress in Japanese macaques (*Macaca fuscata*). pp. 547-558.
- Edilton R. Santos, Stephen F. Ferrari, Raone Beltrão-Mendes, Gustavo A. Gutiérrez-Espeleta: Anointing with commercial insect repellent by free-ranging *Cebus capucinus* in Manuel Antonio National Park, Quepos, Costa Rica. pp. 559-563.
- Julia Barreta Pinto, Jesús Martínez, Yahaira Bernal, Rolando Sánchez, Robert Wallace: Genetic differentiation and diversity of the Bolivian endemic titi monkeys, *Plecturocebus modestus* and *Plecturocebus olallae*. pp. 565-573.

## Book Review

- William C. McGrew: The Goodness Paradox: How evolution made us more and less violent, by Richard Wrangham. pp. 575-576.

## Announcement

- Takeshi Nishimura, Naoki Morimoto, Tsuyoshi Ito: Correction to: Shape variation in the facial part of the cranium in macaques and African papionins using geometric morphometrics. p. 577.

**Acknowledgements** pp. 579-580.

## Volume 61, Number 1, January 2020

Special Issue:

Responses to Death and Dying: Primates and Other Mammals

### Special feature: Editorial

- James R. Anderson: Responses to death and dying: primates and other mammals. pp. 1-7.

### Special feature: Review Article

- Paul Pettitt, James R. Anderson: Primate thanatology and hominoid mortuary archeology. pp. 9-19.

Fred B. Bercovitch: A comparative perspective on the evolution of mammalian reactions to dead conspecifics. pp. 21-28.

#### **Special feature: News and Perspectives**

Jacob D. Negrey, Kevin E. Langergraber: Corpse-directed play parenting by a sterile adult female chimpanzee. pp. 29-34.

Rafaela S. C. Takeshita, Michael A. Huffman, Kodzue Kinoshita, Fred B. Bercovitch: Changes in social behavior and fecal glucocorticoids in a Japanese macaque (*Macaca fuscata*) carrying her dead infant. pp. 35-40.

Cinzia Trapanese, Mélanie Bey, Giordana Tonachella, Hélène Meunier, Shelly Masi: Prolonged care and cannibalism of infant corpse by relatives in semi-free-ranging capuchin monkeys. pp. 41-47.

Renata S. Mendonça, Monamie Ringhofer, Pandora Pinto, Sota Inoue, Satoshi Hirata: Feral horses' (*Equus ferus caballus*) behavior toward dying and dead conspecifics. pp. 49-54.

#### **Special feature: Original Article**

David P. Watts: Responses to dead and dying conspecifics and heterospecifics by wild mountain gorillas (*Gorilla beringei beringei*) and chimpanzees (*Pan troglodytes schweinfurthii*). pp. 55-68.

Adriana E. Lowe, Catherine Hobaiter, Caroline Asiimwe, Klaus Zuberbühler, Nicholas E. Newton-Fisher: Intra-community infanticide in wild, eastern chimpanzees: a 24-year review. pp. 69-82.

Shelly Masi: Reaction to allospecific death and to an unanimated gorilla infant in wild western gorillas: insights into death recognition and prolonged maternal carrying. pp. 83-92.

Zoë Goldsborough, Edwin J. C. van Leeuwen, Kayla W. T. Kolff, Frans B. M. de Waal, Christine E. Webb: Do chimpanzees (*Pan troglodytes*) console a bereaved mother? pp. 93-102.

Anna Jakucińska, Maciej Trojan, Julia Sikorska, Dominika Farley: Reaction to the death of the oldest female in a group of chimpanzees at the Municipal Zoological Garden, Warsaw. pp. 103-109.

Arianna De Marco, Roberto Cozzolino, Bernard Thierry: Responses to a dead companion in a captive group of tufted capuchins (*Sapajus apella*). pp. 111-117.

Shifra Z. Goldenberg, George Wittemyer: Elephant behavior toward the dead: A review and insights from field observations. pp. 119-128.

Nachiketha Sharma, Sanjeeta Sharma Pokharel, Shiro Kohshima, Raman Sukumar: Behavioural responses of free-ranging Asian elephants (*Elephas maximus*) towards dying and dead conspecifics. pp. 129-138.

### **Volume 61, Number 2, March 2019**

#### **Editorial**

Tetsuro Matsuzawa: WISH cages: constructing multiple habitats for captive chimpanzees. pp. 139-148.

Tetsuro Matsuzawa: The *Primates* 2019 Social Impact Award p. 149.

#### **News and Perspectives**

Yi-Hao Fang, Yan-Peng Li, Guo-Peng Ren, Zhi-Pang Huang, Liang-Wei Cui, Li-Xiang Zhang, Paul A. Garber, Ru-Liang Pan, Wen Xiao: The effective use of camera traps to document the northernmost distribution of the western black crested gibbon in China. pp. 151-158.

JMarie Nicole Pareja, Tracie McKinney, Jessica A. Mayhew, Joanna M. Setchell, Stephen D. Nash, Ray Heaton: A new identification of the monkeys depicted in a Bronze Age wall painting from Akrotiri, Thera. pp. 159-168.

Marceli Joele Rossi, André Fernando de Oliveira Feroseli, Zelinda Maria Braga Hirano & Wagner Ferreira dos Santos: Adoption of an orphaned and temporarily captive infant by an unrelated adult female in black-and-gold howler monkey: implications for management strategies. pp. 169-174.

José Guerrero-Casado, Ramón I. Cedeño, Jon C. Johnston, Micaela Szykman Gunther: New records of the critically endangered Ecuadorian white-fronted capuchin (*Cebus aequatorialis*) detected by remote cameras. pp. 175-179.

#### **Original Article**

Pawel Fedurek, Patrick Tkaczynski, Caroline Asiimwe, Catherine Hobaiter, Liran Samuni, Adriana E. Lowe, Appolinaire Gnahe Dijrian, Klaus Zuberbühler, Roman M. Wittig, Catherine Crockford: Maternal cannibalism in two populations of wild chimpanzees. pp. 181-187.

Serge Alexis Kamgang, Tuneu Corral Carme, Kadiri Serge Bobo, Ekwoke Enang Abwe, Mary Katherine Gonder, Brice Sinsin: Assessment of in situ nest decay rate for chimpanzees (*Pan troglodytes ellioti* Matschie, 1914) in Mbam-Djerem National Park, Cameroon: implications for long-term monitoring. pp. 189-200.

Kelly L. van Leeuwen, Tetsuro Matsuzawa, Elisabeth H. M. Sterck, Kathelijne Koops: How to measure chimpanzee party size? A methodological comparison. pp. 201-212.

Morgane Allanic, Misato Hayashi, Takeshi Furuichi, Tetsuro Matsuzawa: Social influences on grooming site preferences in wild bonobos (*Pan paniscus*) at Wamba, DRC. pp. 213-223.

Roberta Salmi, Maria Muñoz: The context of chest beating and hand clapping in wild western gorillas (*Gorilla gorilla gorilla*). pp. 225-235.

Hope Emigh, Jordyn Truax, Lauren Highfill, Jennifer Vonk: Not by the same token: A female orangutan (*Pongo pygmaeus*) is selectively prosocial. pp. 237-247.

Pascal R. Marty, Krishna N. Balasubramaniam, Stefano S. K. Kaburu, Josephine Hubbard, Brianne Beisner, Eliza Bliss-Moreau, Nadine Ruppert, Małgorzata E. Arlet, Shahrul Anuar Mohd Sah, Ahmad Ismail, Lalit Mohan, Sandeep K. Rattan, Ullasa Kodandaramaiah, Brenda McCowan: Individuals in urban dwelling primate species face unequal benefits associated with living in an anthropogenic environment. pp. 249-255.

Phuntsho Thinley, Tshewang Norbu, Rajanathan Rajaratnam, Karl Vernes, Phub Dhendup, Jigme Tenzin, Karma Choki, Singye Wangchuk, Tshering Wangchuk, Sonam Wangdi, Dambar Bahadur Chhetri, Reta Bahadur Powrel, Kezang Dorji, Kado Rinchen, Namgay Dorji: Conservation threats to the endangered golden langur (*Trachypitecus geei*, Khajuria 1956) in Bhutan . pp. 257-266.

Thinh T. Vu, Dung V. Tran, Hoa T. P. Tran, Manh D. Nguyen, Tuan A. Do, Nga T. Ta, Hien T. Cao, Nhung T. Pham, Dai V. Phan: An assessment of the impact of climate change on the distribution of the grey-shanked douc *Pygathrix cinerea* using an ecological niche model. pp. 267-275.

Jie Liu, Maegan Fitzgerald, Haohong Liao, Yongmei Luo, Tong Jin, Xiaolan Li, Xuerong Yang, Satoshi Hirata, Tetsuro Matsuzawa: Modeling habitat suitability for Yunnan Snub-nosed monkeys in Laojun Mountain National Park. pp. 277-287.

## Correction

Jie Liu, Maegan Fitzgerald, Haohong Liao, Yongmei Luo, Tong Jin, Xiaolan Li, Xuerong Yang, Satoshi Hirata, Tetsuro Matsuzawa: Modeling habitat suitability for Yunnan Snub-nosed monkeys in Laojun Mountain National Park. p. 289.

## Original Article

Cheng Guo, Alicia Krzton, Xiangdong Ruan, Zuofu Xiang, Ming Li: Reproductive strategy of bachelors in a snub-nosed monkey (*Rhinopithecus bieti*) all-male unit. pp. 291-299.

Óscar M. Chaves, Valeska Martins, Danielle Camaratta, Júlio César Bicca-Marques: Successful adoption of an orphan infant in a wild group of brown howler monkeys. pp. 301-307.

Alba Garcia de la Chica, Maren Huck, Catherine Depeine, Marcelo Rotundo, Patrice Adret, Eduardo Fernandez-Duque: Sexual dimorphism in the loud calls of Azara's owl monkeys (*Aotus azarae*): evidence of sexual selection? pp. 309-319.

Alexandra A. B. G. Pereira, Bianca Dias, Sarah I. Castro, Marina F. A. Landi, Cristiano B. Melo, Tais M. Wilson, Gabriela R. T. Costa, Pedro H. O. Passos, Alessandro P. Romano, Matias P. J. Szabó, Márcio B. Castro. Electrocutions in free-living black-tufted marmosets (*Callithrix penicillata*) in anthropogenic environments in the Federal District and surrounding areas, Brazil. pp. 321-329.

Irena Schneiderová, Navinder J. Singh, Aneta Baklová, Milena Smetanová, Nicolas Benty Gomis, Stanislav Lhota: Northern lesser galagos (*Galago senegalensis*) increase the production of loud calls before and at dawn. pp. 331-338.

## 2. 和文誌 「モンキー 霊長類学からワイルドライフサイエンスへ」の発行

モンキー編集委員会 (2020年3月31日現在)

編集長

林美里 (京都大学、日本モンキーセンター)

副編集長

平田聡 (京都大学)

編集委員

赤見理恵 (日本モンキーセンター)

伊谷原一 (京都大学、日本モンキーセンター)

今井由香 (日本モンキーセンター)

江藤彩子 (日本モンキーセンター)

川上文人 (中部大学、日本モンキーセンター)

北原愛子 (京都大学、日本モンキーセンター)

木村直人 (日本モンキーセンター)

幸島司郎 (京都大学)

齋藤亜矢 (京都造形芸術大学)

左海陽子 (京都大学)

新宅勇太 (京都大学、日本モンキーセンター)

高野智 (日本モンキーセンター)

田和優子 (京都大学、日本モンキーセンター)

早川卓志 (北海道大学、日本モンキーセンター)

平田加奈子 (京都大学)

松沢哲郎 (京都大学、日本モンキーセンター)

松田一希 (中部大学、日本モンキーセンター)

山梨裕美 (京都市動物園)

湯本貴和 (京都大学)

綿貫宏史朗 (環境省)

協賛

豊通商株式会社

株式会社三和化学研究所

株式会社フェイスワン

天野エンザイム株式会社

協力

京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

中部大学創発学術院

京都造形芸術大学文明哲学研究所

京都大学霊長類研究所

京都大学野生動物研究センター

中部学院大学

京都市動物園

バックナンバーの公開:

<https://www.japanmonkeycentre.org/jmonkey/>

## 目次

4巻1号 (2019年6月1日発行)

表紙: ポッソウのチンパンジー・ジェジェ

(撮影: アヌップ・シャー)

表紙の言葉: 松沢哲郎

表紙裏

巻頭言: 尾池和夫

1

連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第10回

ノーベル賞の授賞式に出る: 山極壽一

2-3

連載「生態学者が往く」第6回

インド・カジランガの旅: 湯本貴和

4-5

連載「野生動物を遺伝子から見る」第1回

広い世界にあこがれて: 村山美穂

6-7

連載「自然と芸術」第10回

ニホンザルを描く: 小野塚佳代

8-9

連載「野生動物のおなかの中の秘密」第1回

野生動物の「うんちの秘密」: 牛田一成

10-11

連載「大型類人猿探訪」第13回

チンパンジー研究からヒトの社会問題をかんがえる:

林美里

12-13

連載「ウマ学ことはじめ」第13回

ドローンが解明するウマの群れのルール:

井上漱太、平田聡

14-15

連載「サルに住む森」第13回 (最終回)

運命の出会い: 松田一希

16-17

連載「海外生息地調査」第13回

ザンジバルの休日: 伊谷原一

18-19

連載「環境教育実践」第13回

スキーで探した笹ヶ峰のニホンザル:

赤見理恵

20-21

連載「動物園・水族館だより」第4回

平成30年度東部ニューギニア戦没者遺骨収集

派遣参加レポート: 高野智

22-23

ウマにタッチパネル —ウマの比較認知科学ことはじめ—:

友永雅己

24-25

人間の知恵を自然との共生のために〜環境経済学の役割〜:

細田衛士

26-27

ご寄附のお願い・イベント情報

28

編集後記: 友永雅己

裏表紙裏

4 卷 2 号 (2019 年 9 月 1 日発行)

表紙：モンゴルでウマに乗る少年 (撮影：松沢哲郎)	
表紙の言葉： 松沢哲郎	表紙裏
巻頭言： 吉川泰弘	29
連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第 11 回	
地獄谷での天国のような暮らし： 山極壽一	30-31
連載「今日も OSARU 日和」第 1 回	
モップくんとザルバ様： 竹下景子	32-33
連載「生態学者が往く」第 7 回	
ブラジル・パンタナールの旅： 湯本貴和	34-35
連載「野生動物を遺伝子から見る」第 2 回	
やりたいことがわからない： 村山美穂	36-37
連載「野生動物のおなかの中の秘密」第 2 回	
野生チンパンジーの不思議な食習慣： 牛田一成	38-39
連載「大型類人猿探訪」第 14 回	
霊長類の「文化」： 林美里	40-41
連載「ウマ学ことはじめ」第 14 回	
モンゴルのウマと遊牧：	
松沢哲郎、リングホーファー萌奈美	42-43
連載「自然と芸術」第 11 回	
京都造形芸術大学の沖縄研修旅行に参加して：	
青木秀樹	44-45
連載「海外生息地調査」第 14 回	
肉食獣と私たちの祖先との関係は？：	
中村美知夫	46-47
連載「動物園・水族館だより」第 5 回	
第 14 回国際環境エンリッチメント会議を終えて：	
山梨裕美	48-49
岡山・神庭の滝のニホンザル (勝山集団)：	
中道正之	50-52
イヌとヒトの共進化： 菊水健史	52-53
賢者の営み：台湾パイワン族のイノシシ狩猟：	
野林厚志	54-55
ご寄附のお願い・イベントのご案内	56
編集後記： 友永雅己	裏表紙裏

4 卷 3 号 (2019 年 12 月 1 日発行)

表紙：ニシメガネザル (撮影：湯本貴和)	
表紙の言葉： 松沢哲郎	表紙裏
巻頭言： 幸島司郎	57
連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第 12 回	
雪山でサルを追う： 山極壽一	58-59
連載「今日も OSARU 日和」第 2 回	
キュータロウとミカン： 竹下景子	60-61
連載「生態学者が往く」第 8 回	
マレーシア・ダナムバレイの旅： 湯本貴和	62-63
連載「野生動物を遺伝子から見る」第 3 回	
屋久島の森で： 村山美穂	64-65
連載「野生動物のおなかの中の秘密」第 3 回	
野生ニシローランドゴリラの不思議な食習慣：	
牛田一成	66-67
連載「大型類人猿探訪」第 15 回	
オランウータンをたずねて： 林美里	68-69
連載「ウマ学ことはじめ」第 15 回	
気ままに生きるスペインのポニー：	
リングホーファー萌奈美、レナータ・メンドンサ	70-71
連載「自然と芸術」第 12 回	
粘土あそびとコンピュータお絵かき： 松沢哲郎	72-73

連載「海外生息地調査」第 15 回	
ボルネオ島の霊長類： 舟橋昂	74-75
連載「動物園・水族館だより」第 6 回	
ただの事務員、チンパンジーの生息地へ：	
安倍由里香	76-77
連載「環境教育実践」第 14 回	
2019 丸の内キッズジャンボリーに参加して：	
内藤アンネグレート素	78-79
たき火にあたるサル 60 周年と伊勢湾台風：	
木村直人	80-81
タラ：ネパールランゲールのあかんぼう：	
ヒマニ・ノティヤル、峠明杜 (訳)	82-83
ご寄附のお願い・イベントのご案内	84
編集後記： 友永雅己	裏表紙裏

4 卷 4 号 (2020 年 3 月 1 日発行)

表紙：チンパンジーの水藻すくい	
(撮影：アヌップ・シャー、フィオナ・ロジャース)	
表紙の言葉： 松沢哲郎	表紙裏
巻頭言： 辰野勇	85
連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第 13 回	
日本列島を行脚する： 山極壽一	86-87
連載「今日も OSARU 日和」第 3 回	
おーい、キュータロウ： 竹下景子	88-89
連載「生態学者が往く」第 9 回	
鹿児島・奄美大島の旅： 湯本貴和	90-91
連載「野生動物を遺伝子から見る」第 4 回	
サルの父親を判定する： 村山美穂	92-93
連載「野生動物のおなかの中の秘密」第 4 回	
草食動物の飼育は簡単？植物の武装を解除する動物：	
牛田一成	94-95
連載「大型類人猿探訪」第 16 回	
チンパンジーのお世話： 林美里	96-97
連載「ウマ学ことはじめ」第 16 回	
ヒトの心を読むウマ：	
山本真也、リングホーファー萌奈美	98-99
連載「自然と芸術」第 13 回	
質感を描く： 小野塚佳代	100-101
連載「海外生息地調査」第 16 回	
ポノボのメスを怒らせてはいけない	
ーオス間の急激な順位変動を引きおこしたメスたち：	
徳山奈帆子	102-103
連載「動物園・水族館だより」第 7 回	
子どもの自然を取り戻そう！： 西垣吉春	104-105
連載「環境教育実践」第 15 回	
実習でフィールドワークを体験する：	
福島誠子	106-107
身体障害をもつチンパンジーとその仲間たち：	
櫻庭陽子	108-109
チンパンジーの寿命：	
クリスティン・ハーバーキャンプ、平田聡 (訳)	110-111
ご寄附のお願い・イベントのご案内	112
編集後記： 林美里	裏表紙裏

3. 平成 30 年度公益財団法人日本モンキーセンター年報

(第 63 回プリマーテス研究会記録集を含む)

2019 年 10 月 31 日発行

## (5) 標本等の資試料の収集・管理及び展示

### 1. 骨格・液浸・剥製・毛皮標本

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	4	7	7	1	4	0
<i>Microcebus murinus</i>	ハイイロネズミキツネザル	4	7	7	1	4	0
Lemuridae	キツネザル科	64	68	55	73	9	7
<i>Eulemur fulvus</i>	ブラウンキツネザル	0	0	0	2	0	0
<i>Eulemur macaco</i>	クロキツネザル	7	9	7	8	0	1
<i>Eulemur mongoz</i>	マンダースキツネザル	6	7	4	0	3	2
<i>Lemur catta</i>	ワオキツネザル	34	34	27	35	4	4
<i>Varecia variegata</i>	クロシロエリマキキツネザル	16	18	17	28	2	0
Lemuridae sp.		1	0	0	0	0	0
Galagidae	ガラゴ科	32	41	25	23	7	5
<i>Galago senegalensis</i>	ショウガラゴ	26	29	21	17	4	4
<i>Galagoides demidoff</i>	コビトガラゴ	0	2	0	0	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオガラゴ	5	9	4	6	3	1
Galagidae sp.		1	1	0	0	0	0
Lorisidae	ロリス科	66	78	56	35	9	8
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	7	9	6	1	3	0
<i>Nycticebus bengalensis</i>	ベンガルスローロリス	1	3	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スンダスローロリス	41	32	13	4	3	3
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	11	25	26	28	0	4
<i>Perodicticus potto</i>	ポト	5	9	8	2	3	1
Lorisidae sp.		1	0	0	0	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	2	5	5	2	3	4
<i>Tarsius syrichta</i>	フィリピンメガネザル	2	5	5	2	3	4
Cebidae	オマキザル科	859	838	693	495	58	56
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルディモンキー	15	18	13	13	2	3
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	29	39	35	11	3	4
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	137	116	91	66	2	7
<i>Callithrix penicillata</i>	クロミミマーモセット	38	48	47	38	2	4
<i>Callithrix</i> sp.		5	0	0	0	0	0
<i>Mico argentata</i>	シルバーマーモセット	25	27	19	4	3	2
<i>Mico humeralifera</i>	サンタレムマーモセット	9	14	14	17	0	1
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	83	89	82	78	7	8
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールデンライオンタマリン	17	16	9	6	7	3
<i>Saguinus bicolor</i>	フタイロタマリン	2	2	2	0	1	0
<i>Saguinus fuscicollis</i>	セマダラタマリン	7	5	1	3	1	0
<i>Saguinus geoffroyi</i>	ジェフロイタマリン	11	11	10	0	1	0
<i>Saguinus imperator</i>	エンペラータマリン	5	6	5	6	2	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	35	36	31	18	3	1
<i>Saguinus leucopus</i>	シロテタマリン	8	9	6	0	3	0
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	13	15	15	6	2	0
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	30	33	31	23	2	2
<i>Saguinus nigricollis</i>	クロクビタマリン	62	53	47	22	1	0
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシタマリン	101	93	80	50	2	4
<i>Saguinus weddelli</i>	ウェッデルタマリン	11	9	9	9	2	2
<i>Saguinus</i> sp.		8	0	0	0	0	0
<i>Sapajus apella</i>	フサオマキザル	18	17	10	22	2	0
<i>Cebus albifrons</i>	シロガオオマキザル	9	9	10	8	1	1
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	10	12	16	9	1	1
<i>Cubus olivaceus</i>	ナキガオオマキザル	1	2	1	5	0	0
<i>Cebus</i> sp.		4	0	0	0	0	0

学名	和名	骨格	臓器 液浸	脳 液浸	全身 液浸	剥製	毛皮・ 仮剥製
<i>Saimiri boliviensis</i>	ボリビアリスザル	3	9	8	13	0	3
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	88	77	59	26	3	2
<i>Aotus</i> sp.	ヨザル	72	73	42	42	5	8
<i>Cebidae</i> sp.		3	0	0	0	0	0
Atelidae	クモザル科	88	90	61	44	18	11
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	11	12	12	1	4	0
<i>Alouatta guariba</i>	カッシュクホエザル	1	1	1	0	2	0
<i>Alouatta seniculus</i>	アカホエザル	5	2	2	1	0	0
<i>Alouatta</i> sp.		6	1	1	0	0	0
<i>Ateles belzebuth</i>	ケナガクモザル	3	9	4	2	2	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	21	32	21	28	4	4
<i>Ateles paniscus</i>	クロクモザル	12	17	8	0	3	1
<i>Ateles</i> sp.		14	0	0	0	0	0
<i>Lagothrix lagothricha</i>	フンボルトウーリーモンキー	13	17	10	12	3	6
<i>Lagothrix cana</i>	ハイイロウーリーモンキー	1	1	2	0	0	0
<i>Lagothrix</i> sp.		1	0	0	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	36	35	32	16	15	1
<i>Callicebus cupreus</i>	ドウイロティティ	2	1	2	0	2	0
<i>Callicebus donacophilus</i>	ボリビアハイイロティティ	4	4	3	0	2	1
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	13	13	14	8	2	0
<i>Callicebus torquatus</i>	エリマキティティ	1	1	0	0	0	0
<i>Callicebus</i> sp.		2	1	1	0	1	0
<i>Cacajao calvus rubicundus</i>	アカウアカリ	3	2	1	0	2	0
<i>Chiropotes satanas</i>	クロヒゲサキ	2	0	0	0	0	0
<i>Chiropotes chiropotes</i>	ヒゲサキ	0	1	0	0	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	モンクサキ	5	6	5	0	4	0
<i>Pithecia pithecia</i>	シロガオサキ	4	6	6	8	2	0
Cercopitheciidae	オナガザル科	2828	1967	1470	792	92	144
<i>Macaca arctoides</i>	ベニガオザル	10	12	7	5	0	0
<i>Macaca assamensis</i>	アッサムモンキー	5	6	4	1	0	0
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	65	62	50	26	2	2
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル	658	292	182	123	1	70
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	690	513	387	186	11	18
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクシマザル	411	315	221	123	3	2
<i>Macaca fuscata</i>	(ニホンザル)	10	1	1	0	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	9	11	5	1	1	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	143	118	109	17	0	0
<i>Macaca nemestrina</i>	ブタオザル	35	34	31	23	1	0
<i>Macaca nigra</i>	クロザル	9	7	7	0	0	0
<i>Macaca ochreata brumescens</i>	ブーツマカク	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	61	57	39	38	2	2
<i>Macaca silenus</i>	シシオザル	12	14	14	8	2	0
<i>Macaca sinica</i>	トクモンキー	11	14	12	12	0	2
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	14	17	14	10	2	2
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	3	4	4	1	0	0
<i>Macaca tonkeana</i>	トンケアンモンキー	2	0	0	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		2	1	0	0	3	0
<i>Macaca</i> sp.		94	0	0	0	0	0
<i>Cercocebus atys</i>	スーティーマンガベイ	5	5	3	2	1	1
<i>Cercocebus lunulatus</i>	シロカンムリマンガベイ	7	9	8	5	2	1
<i>Cercocebus agilis</i>	アジルマンガベイ	2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus chrysogaster</i>	ゴールデンマンガベイ	2	4	4	1	0	0
<i>Cercocebus torquatus torquatus</i>	シロエリマンガベイ	4	5	2	1	1	0
<i>Cercocebus hybrid</i>		2	1	2	0	0	0
<i>Cercocebus</i> sp.		3	0	0	0	0	0

学名	和名	骨格	臓器液浸	脳液浸	全身液浸	剥製	毛皮・仮剥製
<i>Lophocebus albigena</i>	ホオジロマンガベイ	2	2	1	0	2	0
<i>Mandrillus leucophaeus</i>	ドリル	12	12	3	5	3	1
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	16	13	11	15	1	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒヒ	57	45	36	62	1	1
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒヒ	17	15	6	0	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒヒ	5	4	5	16	0	1
<i>Papio papio</i>	ギニアヒヒ	6	6	6	0	0	0
<i>Papio sp.</i>		14	0	0	0	0	1
<i>Theropithecus gelada</i>	ゲラダヒヒ	5	5	2	2	1	0
<i>Allenopithecus nigroviridis</i>	アレンモンキー	1	1	1	1	1	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	8	10	9	1	2	1
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	10	9	7	0	0	0
<i>Cercopithecus ascanius schmidti</i>	シュミットグエノン	4	3	3	0	1	0
<i>Cercopithecus cephus</i>	クチヒゲグエノン	5	6	4	0	1	0
<i>Cercopithecus diana</i>	ダイアナモンキー	2	3	2	0	1	0
<i>Cercopithecus doggetti</i>	シルバークエノン	2	1	0	0	1	0
<i>Cercopithecus hamlyni</i>	フクロウグエノン	1	3	2	0	2	1
<i>Cercopithecus lhoesti</i>	ロエストグエノン	4	5	5	1	1	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	ブルーモンキー	2	2	1	0	0	1
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	12	13	9	10	1	1
<i>Cercopithecus neglectus</i>	ブラッサグエノン	12	15	12	3	1	2
<i>Cercopithecus petaurista buettikoferi</i>	バツティコファーグエノン	10	11	7	3	1	2
<i>Cercopithecus sp.</i>		3	1	1	0	0	1
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	16	12	9	5	4	1
<i>Chlorocebus cynosuros</i>	マルブラウクモンキー	0	3	3	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポアン	14	14	12	2	4	1
<i>Miopithecus ogouensis</i>	キタタラポアン	0	1	1	0	0	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスモンキー	124	81	67	21	2	5
<i>Cercopithecinae sp.</i>		21	0	0	0	0	0
<i>Colobus angolensis</i>	アンゴラコロブス	15	23	22	5	3	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	11	21	20	4	2	5
<i>Colobus polykomos</i>	キングコロブス	6	1	0	0	0	1
<i>Ptilocolobus badius</i>	ニシアカコロブス	3	3	0	0	3	1
<i>Presbytis melalophos</i>	クロカンムリリーフモンキー	0	1	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンラングール	50	53	38	17	4	11
<i>Trachypithecus cristatus</i>	シルバールトン	23	29	29	27	2	1
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	11	8	8	5	3	1
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	11	10	7	0	1	1
<i>Trachypithecus pileatus</i>	ボウシラングール	6	7	4	2	3	0
<i>Trachypithecus vetulus</i>	カオムラサキラングール	3	3	2	0	1	1
<i>Trachypithecus vetulus vetulus</i>	ニシカオムラサキラングール	1	1	0	0	1	1
<i>Presbytis sp.</i>		4	0	0	0	0	0
<i>Nasalis larvatus</i>	テングザル	6	7	6	2	5	1
<i>Pygathrix nemaeus</i>	アカアシドゥ克蘭グール	1	0	0	0	1	0
<i>Colobinae sp.</i>		1	1	0	0	0	0
<i>Cercopithecidae sp.</i>		20	0	0	0	0	0
Hylobatidae	テナガザル科	82	49	38	9	12	17
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	9	8	6	2	2	0
<i>Hylobates klossii</i>	クロステナガザル	2	2	0	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	41	17	14	1	4	2
<i>Hylobates moloch</i>	ワウワウテナガザル	3	4	3	2	1	0
<i>Hylobates pileatus</i>	ボウシテナガザル	5	1	0	0	1	2
<i>Hylobates (moloch + lar)</i>		1	1	1	0	0	0
<i>Hylobates sp.</i>		8	0	0	0	0	13
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	2	2	2	0	0	0
<i>Nomascus concolor</i>	カンムリテナガザル	3	2	4	0	1	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	8	12	8	4	3	0



学名	和名	骨格	臓器液浸	脳液浸	全身液浸	剥製	毛皮・仮剥製
Hominidae	ヒト科	27	30	19	10	16	0
<i>Pongo pygmaeus</i>	ボルネオオランウータン	7	6	3	1	3	0
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	12	19	11	9	5	0
<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	ニシローランドゴリラ	6	3	3	0	6	0
<i>Gorilla beringei beringei</i>	マウンテンゴリラ	2	2	2	0	2	0
Primates 科不明	霊長目 科不明	1	0	0	0	0	0
misc. Primates		1	0	0	0	0	0
Scandentia	ツパイ目	24	21	10	2	5	5
<i>Dendrogale melanura</i>	ミナミホソオツパイ	1	0	0	0	0	0
<i>Tupaia glis</i>	コモンツパイ	10	13	8	2	1	5
<i>Tupaia gracilis</i>	ホソツパイ	1	0	0	0	0	0
<i>Tupaia minor</i>	ショウツパイ	1	0	0	0	0	0
Tupaiaidae sp.		10	8	2	0	4	0
<i>Ptilocercus lowii</i>	ハネオツパイ	1	0	0	0	0	0
Other mammals	その他の哺乳類	217	2	0	0	0	0
Artiodactyla	偶蹄目	80	0	0	0	0	0
Carnivora	食肉目	67	0	0	0	0	0
Chiroptera	翼手目	1	0	0	0	0	0
Diprodontia	双前歯目	18	0	0	0	0	0
Dermoptera	皮翼目	1	0	0	0	0	0
Lagomorpha	兎形目	4	0	0	0	0	0
Perissodactyla	奇蹄目	4	0	0	0	0	0
Pilosa	有毛目	1	0	0	0	0	0
Rodentia	齧歯目	31	2	0	0	0	0
Soricomorpha	トガリネズミ形目	10	0	0	0	0	0
Others	その他	27	0	0	2	6	0
Aves	鳥類	19	0	0	0	6	0
Reptilia	爬虫類	8	0	0	1	0	0
Actinopterygii	硬骨魚類	0	0	0	1	0	0
霊長類 計		4088	3209	2462	1503	243	236
霊長類以外 計		268	23	10	4	11	5
総計		4356	3232	2472	1507	254	241
2019年度 収集数		4	27	24	18	0	0

2. 寄生虫標本

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
Cheirogaleidae	コビトキツネザル科	0	1	0	0
<i>Microcebus murinus</i>	ハイイロネズミキツネザル	0	1	0	0
Galagidae	ガラゴ科	5	3	0	1
<i>Galago senegalensis</i>	ショウガラゴ	2	1	0	0
<i>Otolemur crassicaudatus</i>	オオガラゴ	3	2	0	1
Lorisidae	ロリス科	9	5	1	1
<i>Loris tardigradus</i>	スレンダーロリス	3	0	0	0
<i>Nycticebus coucang</i>	スンダスローロリス	6	4	1	1
<i>Nycticebus pygmaeus</i>	レッサースローロリス	0	1	0	0
Tarsiidae	メガネザル科	0	1	0	0
<i>Tarsius syrichta</i>	フィリピンメガネザル	0	1	0	0
Cebidae	オマキザル科	109	5	1	6
<i>Callimico goeldii</i>	ゲルディモンキー	0	1	0	0
<i>Mico argentata</i>	シルバーマーモセット	4	0	0	1
<i>Callithrix geoffroyi</i>	シロガオマーモセット	3	0	0	0
<i>Callithrix jacchus</i>	コモンマーモセット	45	0	0	1
<i>Cebuella pygmaea</i>	ピグミーマーモセット	2	0	0	0
<i>Leontopithecus rosalia</i>	ゴールデンライオンタマリン	0	0	0	2
<i>Saguinus fuscicollis</i>	サドルバックタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus labiatus</i>	ムネアカタマリン	2	0	0	0
<i>Saguinus leucopus</i>	シロテタマリン	1	0	0	0
<i>Saguinus midas</i>	アカテタマリン	2	0	0	1
<i>Saguinus mystax</i>	クチヒゲタマリン	9	0	0	0
<i>Saguinus nigricollis</i>	クロクビタマリン	20	1	1	0
<i>Saguinus oedipus</i>	ワタボウシタマリン	4	0	0	1
<i>Cebus capucinus</i>	ノドジロオマキザル	0	1	0	0
<i>Saimiri sciureus</i>	コモンリスザル	15	2	0	0
<i>Aotus sp.</i>	ヨザル	1	0	0	0
Atelidae	クモザル科	11	3	0	1
<i>Alouatta caraya</i>	クロホエザル	0	2	0	0
<i>Alouatta sp.</i>		0	1	0	0
<i>Ateles geoffroyi</i>	ジェフロイクモザル	1	0	0	0
<i>Ateles paniscus</i>	クロクモザル	8	0	0	1
<i>Lagothrix lagotricha</i>	フンボルトウーリーモンキー	2	0	0	0
Pitheciidae	サキ科	2	2	0	0
<i>Callicebus cupreus</i>	ドウイロティティ	1	0	0	0
<i>Callicebus moloch</i>	ダスキーティティ	0	2	0	0
<i>Pithecia monachus</i>	モンクサキ	1	0	0	0
Cercopithecidae	オナガザル科	243	14	11	8
<i>Macaca cyclopis</i>	タイワンザル	5	1	0	0
<i>Macaca fascicularis</i>	カニクイザル	51	1	8	3
<i>Macaca fuscata fuscata</i>	ニホンザル	76	7	0	0
<i>Macaca fuscata yakui</i>	ヤクシマザル	33	2	0	0
<i>Macaca maura</i>	ムーアモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca mulatta</i>	アカゲザル	26	1	0	2
<i>Macaca nemestrina</i>	ブタオザル	1	0	0	1
<i>Macaca radiata</i>	ボンネットモンキー	2	0	0	0
<i>Macaca sylvanus</i>	バーバリーマカク	1	0	0	0
<i>Macaca thibetana</i>	チベットモンキー	1	0	0	0
<i>Macaca hybrid</i>		1	0	0	0
<i>Mandrillus sphinx</i>	マンドリル	1	0	0	0
<i>Papio anubis</i>	アヌビスヒビ	1	0	0	0

宿主		寄生虫			
学名	和名	線虫	条虫	吸虫	その他
<i>Papio cynocephalus</i>	キイロヒヒ	6	1	0	0
<i>Papio hamadryas</i>	マントヒヒ	1	0	0	0
<i>Papio papio</i>	ギニアヒヒ	1	0	0	0
<i>Cercopithecus albogularis</i>	サイクスモンキー	1	0	0	0
<i>Cercopithecus ascanius</i>	アカオザル	0	1	0	0
<i>Cercopithecus mitis</i>	ブルーモンキー	1	0	0	0
<i>Cercopithecus mona</i>	モナモンキー	1	0	0	0
<i>Chlorocebus aethiops</i>	サバンナモンキー	1	0	0	0
<i>Miopithecus talapoin</i>	タラポアン	2	0	0	0
<i>Erythrocebus patas</i>	パタスザル	24	0	1	0
<i>Colobus guereza</i>	アビシニアコロブス	0	0	1	0
<i>Ptilocolobus badius</i>	ニシアカコロブス	1	0	0	0
<i>Semnopithecus entellus</i>	ハヌマンラングール	2	0	0	2
<i>Trachypithecus francoisi</i>	フランソワルトン	0	0	1	0
<i>Trachypithecus obscurus</i>	ダスキールトン	1	0	0	0
Hylobatidae	テナガザル科	8	2	0	0
<i>Hylobates agilis</i>	アジルテナガザル	1	0	0	0
<i>Hylobates lar</i>	シロテナガザル	3	2	0	0
<i>Hoolock hoolock</i>	フーロックテナガザル	1	0	0	0
<i>Symphalangus syndactylus</i>	フクロテナガザル	3	0	0	0
Hominidae	ヒト科	15	0	0	0
<i>Pan troglodytes</i>	チンパンジー	15	0	0	0
Scandentia	ツパイ目	4	0	0	0
Tupaiaidae sp.		4	0	0	0
Others	その他	1	0	0	1
Aves	鳥類	1	0	0	1
霊長類 計		402	36	13	17
総計		407	36	13	18
2019年度 収集数		0	0	0	0

## 3. 複製資料

標本番号	学名	性別・部位等
KNM-CA 380	<i>Micropithecus clarki</i>	下顎骨
KNM-SO 700	<i>Rangwapithecus gordonii</i>	上顎骨
KNM-RU 1850	<i>Dendropithecus macinnesi</i>	上下顎骨
KNM-RU 2087	<i>Proconsul nyanzae</i>	下顎骨
KNM-RU 7290	<i>Proconsul heseloni</i>	頭骨
KNM-SO 396	<i>Proconsul major</i>	下顎骨
KNM-FT 46	<i>Kenyapithecus wickeri</i>	上顎骨片と犬歯
KNM-KP 29281, 29283, 28285B, 28285A	<i>Australopithecus anamensis</i>	上下顎, 脛骨
KNM-WT 40000	<i>Kenyanthropus platyops</i>	頭骨
KNM-WT 17000	<i>Paranthropus aethiopicus</i>	頭骨
KNM-ER 406	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 729	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
KNM-CA 732	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
KNM-ER 999	<i>Homo habilis</i>	大腿骨
KNM-ER 1470	<i>Homo rudolfensis</i>	頭骨
KNM-ER 1472	<i>Homo habilis</i>	右大腿骨
KNM-CA 1802	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
KNM-ER 1813	<i>Homo habilis</i>	頭骨
KNM-ER 3733	<i>Homo ergaster</i>	頭骨
KNM-WT 15000	<i>Homo ergaster</i>	全身骨格
KNM-WT 16999	<i>Afropithecus turkanensis</i>	頭骨
OH-2	<i>Australopithecus afarensis</i>	下顎骨
OH-5	<i>Paranthropus boisei</i>	頭骨
OH-7	<i>Homo habilis</i>	下顎骨
OH-8	<i>Homo habilis</i>	足骨
OH-13	<i>Homo habilis</i>	上下顎骨
OH-24	<i>Homo habilis</i>	頭骨
WN-64 (Peninj-160)	<i>Paranthropus boisei</i>	下顎骨
SK 48	<i>Paranthropus robustus</i>	頭骨
STS 5	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Taung Child	<i>Australopithecus africanus</i>	頭骨
Peking Man	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Sangiran 17	<i>Homo erectus</i>	頭骨
Kabwe Skull	<i>Homo heidelbergensis</i>	頭骨
La Ferrassie 1	<i>Homo neanderthalensis</i>	頭骨
LB-1	<i>Homo floresiensis</i>	頭骨
CGM 40237	<i>Aegyptopithecus zeuxis</i>	頭骨
PIN 3381-236	<i>Parapresbytis eohanuman</i>	下顎骨
GSP 15000	<i>Sivapithecus indicus</i>	頭骨
<i>A. afarensis</i> 復元頭蓋	<i>Australopithecus afarensis</i>	頭骨
Zos 50	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨
Zos 53	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
SH-10	<i>Homo sapiens</i>	男性の頭骨
JMC-Re-1	<i>Homo sapiens</i>	男性の全身骨格
JMC-Re-2	<i>Pan troglodytes</i>	オスの全身骨格
JMC-Re-3	<i>Homo sapiens</i>	アジア人男性の頭骨
JMC-Re-4	<i>Pan troglodytes</i>	オスの頭骨
JMC-Re-5	<i>Gorilla gorilla</i>	オスの頭骨
JMC-Re-6	<i>Homo sapiens</i>	女性の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-7	<i>Homo sapiens</i>	子供（5歳）の頭骨、骨盤、右上腕骨、右大腿骨
JMC-Re-8	<i>Panthera leo</i>	頭骨
JMC-Re-9	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	頭骨
JMC-Re-10	<i>Daubentonia madagascariensis</i>	右前肢

標本番号	学名	性別・部位等
JMC-Re-11	<i>Tarsius sp.</i>	頭骨
JMC-Re-12	<i>Cynocephalus volans</i>	頭骨
JMC-Re-13	<i>Castor canadensis</i>	頭骨
JMC-Re-14	<i>Phascolarctos cinereus</i>	頭骨
JMC-Re-15	<i>Homo sapiens</i>	胎児頭骨
JMC-Re-16	<i>Pan troglodytes</i>	胎児頭骨
JMC-Re-17	<i>Pan troglodytes</i>	骨盤

2019 年度収集数 0 点

4. 分野別民俗資料点数(猿二郎コレクション)

分類番号	種別	点数
00		
050	逐次刊行物	16
070	洋書	25
090	和書	9
200		
288.9	旗	1
300		
336.94	暖簾、看板	20
337.32	銀貨	1
337.4	補助貨幣(銅貨など)	1
348.6	紙幣	2
375.9	タバコ関係	27
380	教科書	7
383.3	風俗、習慣、民俗	25
383.55	アクセサリー、マスコット、根付	118
383.9	髪飾、小間物 (くし、こうがい、かんざし)	3
386	居住、民具	6
386.8	祭礼	2
387.1	信仰、民間信仰と迷信	200
400		
458	岩石	11
470	植物	13
470.8	菌類	7
489.9	霊長類	1
499.88	薬用植物	1
500		
524.86	出入口(窓、戸)	3
535.2	時計	2
545.28	電灯支持具、照明	4
545.5	灯具(行燈、提灯、ランプ)	3
573.38	タイル	5
576.4	蠟燭	1
581	金属製品	4
581.1	鋳物製品	32
581.7	刃物類(スプーン、 フォーク、ナイフ、鉄)	6
583	木製品	13
583.92	竹製品	3
583.94	蔓製品(藤、籐、あけび)	3
583.96	藁製品	2
583.97	縄製品	1

分類番号	種別	点数
586.27	綿製品(たおる、てぬぐい)	14
586.37	麻製品	4
586.78	織機	1
588.38	飴菓子	5
588.39	雑菓子	5
588.55	果実酒(容器)	8
589.211	和服	5
589.215	子供服、Tシャツ	2
589.224	ネクタイ	5
589.225	ハンカチ	6
589.23	靴下、足袋	4
589.24	マフラー、ネックチーフ	2
589.253	靴、スリッパ	1
589.27	ハンドバック、袋物(財布)	24
589.28	ボタン、タイピン、カフス	4
589.3	傘、扇、団扇	14
589.4	洋傘	1
589.49	杖、ステッキ	1
589.5	ブラシ	1
589.7	文房具、運動具、貯金箱	90
594.1	モール	4
596.5	厨房具、食器	52
597	住居、家具、調度	38
597.2	カーテン、簾、タペストリー	16
597.7	床飾、インテリア	2
599.8	絵本	3
600		
629.61	灯籠	9
674.7	宣伝広告用印刷物、新聞、PR誌、 シール、チラシ、案内状、シオリ	204
674.71	千社札	43
674.72	ポスター	123
674.73	カレンダー	15
675.18	包装、ラベル、容器	39
688.181	マッチラベル	275
693.5	観光みやげ物	219
693.8	切手、葉書、スタンプ	238
699.67	ラジオ、テレビ、演劇、娯楽	1
700		
711.9	仮面(郷土玩具を除く)	14
713	木彫	197
714	石彫	67

分類番号	種別	点数
717	粘土彫刻、テラコッタ、蠟、石鹼	5
718.4	石仏、仏像	5
720	絵画	8
721.2	大和絵、絵巻物	23
721.3	水墨画	10
721.6	写生画	15
721.7	文人画、南画、俳画、色紙	63
721.8	浮世絵、錦絵、大津絵	48
724.8	ガラス絵	1
726.58	絵葉書	93
726.7	児童画	1
726.8	影絵（シュリエット）	1
728.8	書跡	8
729.3	墨	3
729.5	硯	7
729.6	文鎮	8
729.7	水差し	5
733	木版画、版木	26
739.1	印章材料	10
745	陽画（写真）	34
751.3	陶磁器（皿、絵皿）	405
751.31	灰皿	19
751.32	徳利、杯	16
751.33	急須、湯呑	18
751.4	埴輪、古瓦	16
751.5	ガラス工芸	18
751.9	プラスチック	43
752	漆工芸	1
753.7	刺繍	11
753.8	染物	1
754	木工芸	92

分類番号	種別	点数
754.7	竹工芸	36
754.9	紙工芸（折り紙、せん紙、ペーパークラフト）	38
755.4	牙角細工	12
755.5	革細工	3
755.6	貝細工	6
756.14	鍍金	33
756.6	刀剣、鐔	4
756.7	甲冑	1
759	人形、玩具	255
759.9	郷土玩具、郷土人形	16
759.91	土人形、土笛、土面	538
759.92	首人形	14
759.93	土鈴、陶鈴、鈴	122
759.94	張り子	95
759.95	凧	5
759.96	張り子面、土面子	159
759.97	紙塑	5
759.98	練り物	6
759.99	木、竹、その他	159
774	歌舞伎	2
777.1	人形浄瑠璃	6
777.8	影絵芝居、ギニョール、マリオネット	30
791.5	茶器、菓子器	20
792.6	香合、香炉	14
793.5	花器	7
900		
909.3	童話	10
合計		4,945点

2019年度新規登録数 64点

## 5. 音響・映像資料

2020年3月31日現在、42点の映像資料、および以下の映像機器が登録されている。

ビデオデッキ		液晶プロジェクター	
SONY VHS SLV-F6	1	東芝 TLP781J	1
カラービデオカメラ		EPSON EMP1710	1
SONY CCD-G5	1	EPSON EH-TW5200	1 (PWS)
デジタルビデオカメラ		CD/DVD プレーヤー / レコーダー	
Panasonic NV-GS50	1	SONY DVP-NS53P	1
SONY DCR-PC5	1	Panasonic DVD-S39	1
SONY DCR-HC62	1	Victor SR-DVM700	1
デジタルハイビジョンビデオカメラ		CCD-001	1
Panasonic HDC-HS100	2	テレビモニター	
8mm 映写機		TOSHIBA REGZA 37C7000	1
エルモ E80	1	By D:sign d:4222GJV3	1
16mm 映写機		Panasonic VIERA TH-37TX50	1
BELL & HOWELL	1	I・O Data LCD-MF223FBR-T	1 (PWS)
スライドプロジェクター		Panasonic TH-42AS600	1 (PWS)
ファミリーキャビン	1	TV 会議システム	
Master Lux	1	Polycom HDX6000-720	1 (PWS)
オーバーヘッドプロジェクター	1		

## 6. 図書資料

2019年度に受け入れた資料は、次のとおりである。

図書	20点
定期刊行物（雑誌類等）	619点

2020年3月31日現在、保有する登録図書資料（製本分を含む）は、次のとおりである。

和書	6,067点
洋書	3,742点
計	9,809点

逐次刊行物を受贈した機関は次のとおりである。

### 〈一般および研究関係等〉

Elsevier	川村学園女子大学	中国科学院昆明動物学研究所	日本人類学会
Springer	環境省自然環境局生物多様性センター	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	日本動物愛護協会
愛銀教育文化財団	京都大学アフリカ地域研究センター	東京大学大学院科学技術インタープリター養成部門	日本霊長類学会
愛知学院大学歯学会	京都大学生態学研究センター	東京農業大学学術情報通信課程	農研機構
愛知県生涯学習推進センター	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	同志社大学博物館学芸員課程	農林水産省動物検疫所
石川県白山自然保護センター	京都大学霊長類研究所	名古屋経済大学地域連携センター	フィード・ワン株式会社
犬山城白帝文庫	國學院大学博物館学研究室	名古屋国際センター	三重県林業研究所
岩手大学農学部付属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	国立感染症研究所	名古屋市立大学大学院医学研究科	宮城のサル調査会
岩波書店	国立極地研究所	成田山名古屋別院大聖寺	明治大学学芸員養成課程
栄研化学株式会社	市民ZOOネットワーク	日本学術振興会	百瀬製作所
大阪自然環境保全協会	全日本写真連盟	日本自然保護協会	野生生物保全論研究会
神奈川大学日本常民文化研究所			野生動物保護管理事務所
			山階鳥類研究所
			立教大学学校・社会教育講座

### 〈博物館等〉

American Museum of Natural History	神奈川県立生命の星・地球博物館	中部大学民族資料博物館	日本博物館協会
Museu de Zoologia da Universidade de Sao Paulo	蟹江町歴史民俗資料館	津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会	半田市立博物館
秋吉台科学博物館	刈谷市美術館	東海大学博物館	平塚市博物館
熱田神宮宝物館	刈谷市歴史博物館	藤村記念館	藤原岳自然科学館
伊丹市昆虫館	軽井沢町植物園	徳島県立博物館	福井市自然史博物館
一宮市尾西歴史民俗資料館	北九州市立自然史・歴史博物館	栃木県立博物館	鳳来寺山自然科学博物館
岩手県立博物館	岐阜県博物館	鳥取県立博物館	北海道博物館
江戸東京博物館	群馬県立自然史博物館	富山市科学博物館	瑞浪市化石博物館
大阪市立自然史博物館	国立科学博物館	豊田市郷土資料館	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
大阪歴史博物館	国立民族学博物館	トヨタ博物館	山口県立山口博物館
大府市歴史民俗資料館	たばこと塩の博物館	豊橋市美術博物館	和歌山県立自然博物館
大町山岳博物館	田原市博物館	名古屋市博物館	和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会
岡崎市美術博物館	千葉県立中央博物館		

〈動物園・水族館等〉

秋田市大森山動物園	鹿児島市平川動物公園	第10回世界水族館会議実行委員会	日本動物園水族館協会
アクアマリンふくしま	世界淡水魚園水族館アクア・トト ぎふ	高崎山自然動物園	のとじま水族館
アクアワールド茨城県大洗水族館	京都市動物園	多摩動物公園	浜松市動物園
旭川市旭山動物園	釧路市動物園	天王寺動物園	日立市かみね動物園
熱川バナナワニ園熱帯動植物友の会	熊本市動植物園	東京動物園協会	姫路市立動物園
いしかわ動物園	高知県立のいち動物公園	東京動物園ボランティアーズ	広島市安佐動物公園
岡崎市東公園動物園・岡崎市動物総合センター	神戸市立王子動物園	鳥羽水族館	福山市立動物園
恩賜上野動物園	神戸市立須磨海浜水族園	豊橋総合動植物公園	碧南海浜水族館・碧南市青少年海の科学館
海遊館	札幌市円山動物園	長崎ペンギン水族館	マリンワールド海の中道
葛西臨海水族園	静岡市立日本平動物園	名古屋港水族館	宮崎市フェニックス自然動物園
鴨川シーワールド	しまね海洋館アクアス	名古屋市東山動植物園・東山の森	横浜市動物園友の会
	仙台市八木山動物公園		横浜市緑の協会

平成30年度年報および友の会ニューズレターを送付した機関は次のとおりである。

〈一般および研究関係等〉

愛銀教育文化財団	可児市子どもセンター	実験動物中央研究所	南山考古文化人類学研究会
愛知学院大学歯学会	川村学園女子大学	瀬戸内海国立公園宮島地区パークボランティアの会	日本生物科学研究所
愛知県教育・スポーツ振興財団	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	筑波医学実験用霊長類センター	広島大学理学研究科附属宮島自然植物実験所
愛知県生涯学習推進センター	京都大学アフリカ地域研究資料センター	東海大学社会教育センター	文化環境研究所
愛知県立大学多文化共生研究所	京都大学野生動物研究センター	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	三重県林業研究所
麻布大学	京都大学野生動物研究センター	同志社大学博物館学芸員課程	宮島ロープウェイ
アム・プロモーション	京都大学野生動物研究センター	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所	明治学院大学国際学部付属研究所
石川県白山自然保護センター	京都大学野生動物研究センター	中部電力株式会社	明治大学学芸員養成課程
稲盛財団	京都大学野生動物研究センター	名古屋国際センター	野生動物保護管理事務所
犬山市立図書館	京都大学霊長類研究所	名古屋市鶴舞中央図書館	山階鳥類研究所
岩田洗心館	公益財団法人華山会	名古屋市立大学大学院医学研究科・医学部	酪農学園大学野生動物医学センター
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	國學院大學博物館学研究室	成田山名古屋別院大聖寺	立教大学図書館
大阪自然環境保全協会	国立感染症研究所		
神奈川大学日本常民文化研究所	国立国会図書館収書部		
	自然環境研究センター		



〈博物館等〉

愛知県陶磁資料館	岐阜県博物館	栃木県立博物館	福井市自然史博物館
一宮市博物館	京都大学総合博物館	鳥取県立博物館	藤原岳自然科学館
犬山市立文化史料館	群馬県立自然史博物館	富山市科学文化センター	鳳来寺山自然科学博物館
岩手県立博物館	国立科学博物館	豊田市郷土資料館	北海道博物館
海の博物館	国立科学博物館付属自然教育園	豊橋市自然史博物館	瑞浪市化石博物館
愛媛県総合科学博物館	国立民族学博物館	豊橋市地下資源館	三重県総合博物館
大阪市立自然史博物館	滋賀県立琵琶湖博物館	豊橋市美術博物館	美祢市立秋吉台科学博物館
大阪歴史博物館	庄原市立比和自然科学博物館	内藤記念くすり博物館	美濃加茂市民ミュージアム
大町山岳博物館	杉本美術館	名古屋市科学館	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
神奈川県立生命の星・地球博物館	たばこと塩の博物館	名古屋市博物館	三好町立歴史民俗資料館
蟹江町歴史民俗資料館	田原市博物館	日本大学生物資源科学部博物館	野外民族博物館 リトルワールド
蒲郡市博物館	千葉県立中央博物館	日本博物館協会	
蒲郡情報ネットワークセンター 生命の海科学館	東海大学海洋科学博物館	博物館明治村	山口県立山口博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	東京都江戸東京博物館	半田市立博物館	横須賀市博物館
北名古屋市歴史民俗資料館	藤村記念館	兵庫県立人と自然の博物館	和歌山県立自然博物館
	徳島県立博物館	平塚市博物館	

〈動物園・水族館等〉

秋田市大森山動物園	蒲郡市竹島水族館	須坂市動物園	のとじま臨海公園水族館
秋吉台自然動物公園	鴨川シーワールド	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ	浜松市動物園
アクアワールド茨城県大洗水族館	川崎市夢見ヶ崎動物公園	仙台市八木山動物園	東山公園協会
旭川市立旭山動物園	九州自然動物公園	高岡古城公園動物園	日上市かみね動物園
熱川バナナワニ園	京都市動物園	高崎山自然動物園	姫路市立水族館
アドベンチャーワールド	京都大学白浜水族館	多摩動物公園	姫路市立動物園
池田動物園	串本海中公園センター	千葉市動物公園	姫路セントラルパーク
いしかわ動物園	釧路市動物園	東京都井の頭自然文化園	兵庫県淡路ファームパーク
伊豆シャボテン公園	熊本市動植物園	東京動物園協会	広島市安佐動物公園
市川市動植物園	久留米市鳥類センター	東京都恩賜上野動物園	フェニックス自然動物園
魚津水族館	高知県立のいち動物園	東武動物公園	福岡市動植物園
宇部市常磐遊園協会	神戸市立王子動物園	とくしま動物園	ふくしま海洋科学館
海の中道海洋生態科学館	神戸市立須磨海浜水族園	鳥羽水族館	福山市立動物園
愛媛県立とべ動物園	小諸市動物園	富山市ファミリーパーク	碧南海浜水族館
大分マリンパレス水族館 うみたまご	埼玉こども動物自然公園	豊橋市総合動植物公園	みさき公園自然動物園水族館
大阪市天王寺動物園	佐世保市亜熱帯動植物園	長崎市バイオパーク	南知多ビーチランド
大牟田市動物園	札幌市円山動物園	長崎ペンギン水族館	盛岡市動物公園
沖縄美ら海財団	鯖江市西山動物園	長野市茶臼山動物園	横浜市金沢動物園
おびひろ動物園	静岡市立日本平動物園	名古屋港水族館	横浜市動物園友の会事務局
鹿兒島市平川動物公園	島根県立しまね海洋館	日本動物園水族館協会	横浜市野毛山動物園
	志摩マリンランド	熱帯動植物友の会	和歌山公園動物園
	周南市徳山動物園		

## (6) 霊長類の福祉に配慮した動物園の設置及び経営

### 1. 飼育動物一覧（2020年3月31日現在）

#### (1) 霊長類

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	53	22	31	0
クロシロエリマキキツネザル	<i>Varecia variegata</i>	3	1	2	0
クロキツネザル	<i>Eulemur macaco</i>	2	1	1	0
ブラウンキツネザル	<i>Eulemur fulvus</i>	2	1	1	0
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	13	7	6	0
ポト	<i>Perodicticus potto</i>	4	3	1	0
ショウガラゴ	<i>Galago senegalensis</i>	1	1	0	0
コモンマーモセット	<i>Callithrix jacchus</i>	8	6	2	0
クロミミマーモセット	<i>Callithrix penicillata</i>	12	9	3	0
ピグミーマーモセット	<i>Cebuella pygmaea</i>	2	1	1	0
アカテタマリン	<i>Saguinus midas</i>	8	6	2	0
ムネアカタマリン	<i>Saguinus labiatus</i>	1	0	1	0
ワタボウシタマリン	<i>Saguinus oedipus</i>	9	4	5	0
ヨザル	<i>Aotus spp.</i>	11	3	8	0
シロガオサキ	<i>Pithecia pithecia</i>	1	1	0	0
ヒゲサキ	<i>Chiropotes chiropotes</i>	2	1	1	0
ノドジロオマキザル	<i>Cebus capucinus</i>	5	3	2	0
シロガオオマキザル	<i>Cebus albifrons</i>	5	3	2	0
フサオマキザル	<i>Sapajus apella</i>	22	13	9	0
ボリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	24	13	11	0
クロクモザル	<i>Ateles spp.</i>	2	1	1	0
ケナガクモザル	<i>Ateles belzebuth</i>	7	4	3	0
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	6	1	5	0
ハイロウリーモンキー (コモンウーリーモンキー)	<i>Lagothrix cana</i>	5	3	2	0
バーバリーマカク (バーバリマカク)	<i>Macaca sylvanus</i>	19	9	10	0
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	26	10	16	0
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	14	5	9	0
シシオザル	<i>Macaca silenus</i>	9	3	6	0
ミナミブタオザル (ブタオザル)	<i>Macaca nemestrina</i>	10	4	6	0
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	86	38	48	0
アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	3	0	3	0
タイワンザル	<i>Macaca cyclops</i>	2	2	0	0
チベットモンキー	<i>Macaca thibetana</i>	5	1	4	0
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	121	57	64	0
ヤクシマザル (ヤクニホンザル)	<i>Macaca fuscata yakui</i>	153	81	72	0
ゴールデンマンガベイ	<i>Cercocebus chrysogaster</i>	1	1	0	0
アヌビスヒヒ	<i>Papio anubis</i>	83	32	51	0
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	7	4	3	0
マンドリル	<i>Mandrillus sphinx</i>	15	7	8	0
クチヒゲグエノン	<i>Cercopithecus cephus</i>	1	0	1	0
サイクスモンキー	<i>Cercopithecus alboglaris</i>	1	0	1	0
ブラッザグエノン	<i>Cercopithecus neglectus</i>	2	1	1	0
アカオザル (シュミットグエノン)	<i>Cercopithecus ascanius</i>	5	0	5	0
ショウハナジログエノン (パッチェコファグエノン)	<i>Cercopithecus petaurista</i>	1	0	1	0
ベルベットモンキー (サバンナモンキー)	<i>Chlorocebus pygerythrus</i>	7	1	6	0
キタタラポアン	<i>Miopithecus ogouensis</i>	3	1	2	0
パタスモンキー	<i>Erythrocebus patas</i>	8	4	4	0

種名	学名	合計	オス	メス	不明
シルバールトン	<i>Trachypithecus cristatus</i>	2	2	0	0
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	3	1	2	0
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	4	0	4	0
アンゴラコロブス	<i>Colobus angolensis</i>	1	1	0	0
シロテテナガザル	<i>Hylobates lar</i>	7	5	2	0
ボウシテナガザル	<i>Hylobates pileatus</i>	4	3	1	0
ミュラーテナガザル	<i>Hylobates muelleri</i>	1	0	1	0
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	10	5	5	0
ニシゴリラ	<i>Gorilla gorilla gorilla</i>	1	1	0	0
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	8	5	3	0
計		831	392	439	0

注：種名でかっこ書きしているものは特定動物申請上の種名

## (2) その他動物

種名	学名	合計	オス	メス	不明
ウサギ	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	2	1	1	0
デグー	<i>Octodon degus</i>	3	1	2	0
モルモット	<i>Cavia porcellus</i>	1	0	1	0
カイロキンイロトゲマウス	<i>Acomys cahirinus</i>	1	1	0	0
イヌ	<i>Canis familiaris</i>	2	0	2	0
シバヤギ	<i>Capra hircus</i>	2	1	1	0
ケヅメリクガメ	<i>Centrochelys sulcata</i>	2	2	0	0
スペングラーヤマガメ	<i>Geoemyda spengleri</i>	2	1	1	0
パンケーキルクガメ	<i>Malacochersus tornieri</i>	1	0	1	0
ホウシャガメ	<i>Astrochelys radiata</i>	2	0	1	1
ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	2	0	0	2
アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	19	7	12	0
ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>	1	0	0	1
レッドコロソマ	<i>Piaractus brachipomum</i>	1	0	0	1
マダガスカルオオゴキブリ	<i>Gromphadorrhina portentosa</i>	48	19	29	0
チリアンコモン	<i>Grammostola rosea</i>	1	0	0	1
総計		90	33	51	6

## 2. ブリーディングローン動物一覧（2020年3月31日現在）

### (1) 貸付動物

種名	個体数	出園日 / 誕生日	現飼育施設
ボルネオオランウータン <i>Pongo pygmaeus</i>	オス 1	1988年2月9日 (横浜市立野毛山動物園で出生)	千葉市動物公園
ハイイロウーリーモンキー <i>Lagothrix cana</i>	オス 1	1999年2月18日 (横浜市立よこはま動物園で出生)	横浜市立よこはま動物園
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	オス 1	2003年5月4日 (広島市安佐動物公園にて出生)	広島市安佐動物公園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	メス 1	2005年11月12日 (出園)	東武動物公園
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2006年5月22日 (広島市安佐動物公園にて出生)	神戸市立王子動物園
チベットモンキー <i>Macaca thibetana</i>	オス 1	2011年10月20日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
ピグミーマーモセット <i>Cebuella pygmaea</i>	メス 1	2013年3月14日 (出園)	静岡市立日本平動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2 メス 2	2014年7月23日 (出園)	旭川市旭山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 6 メス 4	2014年10月21日 (出園)	神戸どうぶつ王国
ブラッサグエノン <i>Cercopithecus neglectus</i>	メス 1	2014年10月23日 (神戸市立王子動物園にて出生)	神戸市立王子動物園

種名	個体数	出園日 / 出生日	現飼育施設
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2014 年 11 月 16 日 (出園)	熊本市動植物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
ポリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 1	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
フサオマキザル <i>Cebus apella</i>	メス 3	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
アビシニアコロブス <i>Colobus guereza</i>	メス 1	2014 年 11 月 27 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2015 年 6 月 23 日 (出園)	おびひろ動物園
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2015 年 6 月 23 日 (出園)	札幌市円山動物園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	オス 1	2015 年 10 月 13 日 (出園)	浜松市動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 10	2015 年 10 月 19 日 (出園)	NIFREL
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス 1	2015 年 11 月 24 日 (出園)	浜松市動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016 年 3 月 12 日 (旭川市旭山動物園にて出生)	旭川市旭山動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 2	2016 年 3 月 16 日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
アカタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2016 年 3 月 29 日 (出園)	市川市動植物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2016 年 4 月 5 日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016 年 6 月 6 日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016 年 6 月 29 日 (熊本市動植物園にて出生)	熊本市動植物園
シロテテナガザル <i>Hylobates lar</i>	オス 1	2016 年 6 月 30 日 (出園)	伊豆シャボテン動物公園
ヨザル <i>Aotus trivirgatus</i>	オス 1	2016 年 6 月 30 日 (出園)	伊豆シャボテン動物公園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	オス 1	2016 年 9 月 10 日 (出園)	東京都恩賜上野動物園
ヨザル <i>Aotus trivirgatus</i>	メス 1	2016 年 9 月 10 日 (出園)	東京都恩賜上野動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	メス 1	2016 年 10 月 8 日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	メス 1	2016 年 12 月 9 日 (出園)	横浜市立よこはま動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2017 年 4 月 3 日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2018 年 3 月 15 日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
ポリビアリスザル <i>Saimiri boliviensis</i>	メス 2	2018 年 3 月 16 日 (出園)	豊橋総合動植物公園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 1	2018 年 4 月 14 日 (神戸どうぶつ王国にて出生)	神戸どうぶつ王国
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	オス 1	2018 年 8 月 19 日 (浜松市動物園にて出生)	浜松市動物園
ワオキツネザル <i>Lemur catta</i>	オス 5	2019 年 1 月 16 日 (出園)	富士自然動物公園
アカタマリン <i>Saguinus midas</i>	オス 1	2019 年 1 月 31 日 (出園)	伊豆シャボテン動物公園
コモンマーモセット <i>Callithrix jacchus</i>	メス 1	2019 年 3 月 20 日 (出園)	川崎市夢見ヶ崎動物公園
フクロテナガザル <i>Symphalangus syndactylus</i>	オス 1	2019 年 11 月 10 日 (出園)	鹿児島市平川動物公園

## (2) 借受動物

種名	個体数	来園日/出生日	来園元
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	オス 1	1994 年 5 月 19 日 (来園)	横浜市立野毛山動物園 (帰属は横浜市立よこほま動物園)
クロシロエリマキキツネザル <i>Varecia variegata</i>	オス 1	2010 年 4 月 19 日 (出生)	JMC 生まれ (帰属は静岡市立日本平動物園)
クロクモザル <i>Ateles spp.</i>	メス 1	2010 年 12 月 16 日 (来園)	愛媛県立とべ動物園
クロシロエリマキキツネザル <i>Varecia variegata</i>	メス 1	2011 年 4 月 30 日 (出生)	JMC 生まれ (帰属は静岡市立日本平動物園)
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス 1	2013 年 6 月 6 日 (来園)	豊橋総合動植物公園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	メス 1	2016 年 4 月 22 日 (出生)	JMC 生まれ (帰属は鯖江市西山動物園)
クロキツネザル <i>Eulemur macaco</i>	オス 1	2017 年 11 月 8 日 (来園)	浜松市動物園
フランソワルトン <i>Trachypithecus francoisi</i>	オス 1	2017 年 11 月 8 日 (来園)	浜松市動物園

## 3. 動物の異動

## (1) 出園

## ① 霊長類

ブリーディングローン 1 種 1 頭

内訳：平川動物公園

無償譲渡 3 種 4 頭

内訳：豊田市鞍ヶ池公園

群馬サファリパーク

フクロテナガザル *Symphalangus syndactylus*

オス 1 頭

ワオキツネザル *Lemur catta*

オス 1 頭

コモンマーモセット *Callithrix jacchus*

メス 1 頭

アカタタマリン *Saguinus midas*

メス 2 頭

## ② その他動物

無償譲渡 7 種 11 頭

内訳：京都市動物園

岡崎市東公園動物園

日立市かみね動物園

モルモット

オス 1 頭、メス 3 頭

ヒョウモントカゲモドキ

オス 1 頭、メス 1 頭

シバヤギ

メス 1 頭

ヒョウモンガメ

メス 1 頭

フトアゴヒゲトカゲ

オス 1 頭

アオジタトカゲ

メス 1 頭

ミシシippiaアカミミガメ

メス 1 頭

## (2) 来園

## ① 霊長類

ブリーディングローン繁殖仔返却 1 種 4 頭

内訳：浜松市動物園

コモンマーモセット *Callithrix jacchus*

オス 2 頭、メス 2 頭

引取 1 種 2 頭

内訳：宮島 (広島県)

ニホンザル *Macaca fuscata fuscata*

オス 2 頭

## (3) 出産 (現存・死亡は 2020 年 3 月 31 日現在)

種名	学名	出産	現存	死亡	流産	備考
ポリビアリスザル	<i>Saimiri boliviensis</i>	1	1	0	0	
ヨザル	<i>Aotus sp.</i>	1	0	1	0	
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	2	1	1	0	
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	1	1	0	0	
ヤクシマザル (ヤクニホンザル)	<i>Macaca fuscata yakui</i>	4	3	1	0	
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	1	0	0	1	
計 6 種		10	6	3	1	

## (4) 死亡

## ① 霊長類

種名	学名	計	死亡	流産
ワオキツネザル	<i>Lemur catta</i>	1	1	0
クロシロエリマキキツネザル	<i>Varecia variegata</i>	1	1	0
レッサースローロリス	<i>Nycticebus pygmaeus</i>	1	1	0
ポト	<i>Perodicticus potto</i>	1	1	0
ピグミーマーモセット	<i>Cebuella pygmaea</i>	1	1	0
ワタボウシタマリン	<i>Saguinus oedipus</i>	1	1	0
ヨザル	<i>Aotus sp.</i>	1	1	0
ジェフロイクモザル	<i>Ateles geoffroyi</i>	2	2	0
ケナガクモザル	<i>Ateles belzebuth</i>	1	1	0
ニホンザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>	3	3	0
ヤクシマザル (ヤクニホンザル)	<i>Macaca fuscata yakui</i>	14	14	0
タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	1	1	0
カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	2	2	0
アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	1	1	0
ミナミブタオザル (ブタオザル)	<i>Macaca nemestrina</i>	1	1	0
トクモンキー	<i>Macaca sinica</i>	1	1	0
ボンネットモンキー	<i>Macaca radiata</i>	1	1	0
アヌビスヒビ	<i>Papio anubis</i>	1	1	0
アビシニアコロブス	<i>Colobus guereza</i>	2	2	0
フランソワルトン	<i>Trachypithecus francoisi</i>	1	0	1
アジルテナガザル	<i>Hylobates agilis</i>	2	2	0
計 21 種		40	39	1

## ② 霊長類以外の哺乳類・爬虫類

種名	学名	死亡
ウサギ	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	1
モルモット	<i>Cavia porcellus</i>	1
デグー	<i>Octodon degus</i>	1
ミツユビハコガメ	<i>Terrapene carolina triunguis</i>	1
計 4 種		4

## 4. 高齢動物 (年齢は 2020 年 3 月 31 日現在)

種名	性別	年齢	摘要
クロクモザル <i>Ateles sp.</i>	メス	35	1985/3/22 生
ジェフロイクモザル <i>Ateles geoffroyi</i>	メス	34	1985/4/5 生
ケナガクモザル <i>Ateles belzebuth</i>	メス	45 以上	1974/6/27 来園
トクモンキー <i>Macaca sinica</i>	オス	30	1989/9/3 生 1994/5/20 来園
シシオザル <i>Macaca silenus</i>	メス	30 以上	1989/6/22 モンキーセンターへ来園
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	メス	38	1981/4/21 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	メス	35	1985/3/19 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	メス	33	1986/4/13 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	メス	31	1988/7/16 生
カニクイザル <i>Macaca fascicularis</i>	オス	30	1990/3/12 生
タイワンザル <i>Macaca cyclopis</i>	オス	32	1987/4/6 生
マントヒビ <i>Papio hamadryas</i>	オス	31	1989/1/2 生
マンドリル <i>Mandrillus sphinx</i>	メス	31	1988/6/4 生
ベルベットモンキー (サバンナモンキー) <i>Chrolocebus pygerythrus</i>	メス	32 以上	1988/12/15 来園
ボウシテナガザル <i>Hylobates pileatus</i>	オス	推定 52	1969 年推定 2 歳で日本平へ入園 1994/5/19 来園
ニシゴリラ <i>Gorilla gorilla</i>	オス	46	1973/4/20 生
チンパンジー <i>Pan troglodytes</i>	メス	推定 48	1971 年出生と推定 1983/6/13 来園

## 5. 獣医療

### (1) 動物の死亡原因（サル類・その他動物の総計）

区分	飼育動物数		死亡動物数										飼育動物に 対する%
	飼育頭数	年間死亡数	循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	外傷	寄生虫症	感染症	神経系	その他	計	
哺乳類	842	43	1	9	5	5	6	1	0	1	15	43	4.9
爬虫類	9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	10.0
	851	44	1	9	5	6	6	1	0	1	15	44	4.9

\*飼育動物に対する% = 年間死亡数 ÷ (年度末飼育頭数 + 年間死亡数) × 100

### (2) 年間診療件数

入院	292 件	退院	255 件		
麻酔	475 件	外科手術	163 件	補液・注射	1,071 件
歯科処置	95 件	抜糸	75 件	包帯交換	299 件
洗浄・消毒	55 件	避妊処置（インプラント）	46 件	剖検	44 件
マイクロチップ挿入	17 件	マイクロチップ確認	167 件	イレズミ入れ	5 件
外用薬塗布	269 件	低周波治療	13 件	ギプス固定	15 件
検便	157 件	酸素吸入	4 件	X線検査	60 件
検尿	69 件	血液検査	178 件	エコー検査	155 件
外注検査	26 件	体脂肪率測定	42 件	薬処方	1,480 件
				総診察数	3,286 件

## 6. 動物の給餌量（園全体、2020年3月31日現在）

品目	1日給餌量	品目	1日給餌量	品目	1日給餌量	品目	1日給餌量
外葉	41.3kg	トマト	33.6kg	リンゴ	34.7kg	パン	18.9 枚
キャベツ	1 玉	チンゲン菜	6 本	バナナ	32.8kg	卵	45 個
白菜	1 束	生サツマイモ	87.5kg	ミカン	9.4kg	コオロギ	100 匹
		蒸サツマイモ	27.7kg			固形飼料	34.3kg

### カットフルーツ・カット野菜

品目	週間給餌量	品目	週間給餌量	品目	週間給餌量	品目	週間給餌量
メロン（皮）	24.3kg	パイン（皮）	10.0kg	トマト	1.3kg	ゴボウ	5.7kg
メロン（種）	1.4kg	パイン（芯）	62.9kg	レタス	1.7kg	カボチャ	18.6kg
		オレンジ（芯）	2.9kg	キャベツ	14.3kg	サトイモ	5.7kg

## 7. 月別入場人員数

入園区分	有料		無料	合計	開園日数	休園日
	一般	団体				
2019年4月	8,500	975	4,122	13,597	29 日間	第2火曜
5月	13,030	2,069	1,886	16,985	30 日間	第2火曜
6月	4,298	1,040	2,335	7,673	22 日間	火曜・水曜
7月	2,548	76	778	3,402	15 日間	火曜・水曜・7/1-5・7/8-12
8月	3,899	490	986	5,375	24 日間	火曜・水曜（13・14日は開園、15日は荒天のため臨時休園）
9月	4,861	886	1,165	6,912	20 日間	9/2-6・9/9-13
10月	6,773	5,101	1,903	13,777	29 日間	第2火曜（12日は荒天のため臨時休園）
11月	7,676	2,882	1,608	12,166	29 日間	第2火曜
12月	4,961	200	860	6,021	25 日間	火曜・水曜（24日・25日・31日は開園）
2020年1月	7,230	19	1,246	8,495	17 日間	1/7-8・1/14-17・1/21-24・1/28-31
2月	5,268	141	971	6,380	19 日間	祝日を除く火曜・水曜・2/4-7・2/13
3月	3,286	28	766	4,080	22 日間	第2火曜（毎週火曜・水曜を臨時休園）
合計	72,330	13,907	18,626	104,863	281 日間	

（参考）過去の年間入場者数の推移（2013年度までの数値は遊園地日本モンキーパークとの総計）

年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員	年度	入場人員
1999年	774,709	2004年	776,068	2009年	604,306	2014年	147,523
2000年	830,102	2005年	594,590	2010年	595,391	2015年	154,378
2001年	905,169	2006年	734,906	2011年	560,920	2016年	118,113
2002年	798,353	2007年	773,256	2012年	562,465	2017年	112,965
2003年	711,889	2008年	725,870	2013年	548,045	2018年	107,841

## 8. 土地・主な施設および設備の一覧と変動

〈土地〉 (2020年3月31日現在)

地区名	面積 (m <sup>2</sup> )
官林地区	173,480.04
栗栖地区	6,153.62
小野洞地区	759,061.22

〈施設・設備〉 (2020年3月31日現在)

施設名	構造	面積 (m <sup>2</sup> )	建設・変動年
動物園管理事務所	鉄筋コンクリート2階造	565.5	平成15年
飼料調理倉庫	鉄骨造	64.8	平成15年
マダガスカル館	鉄筋コンクリート造	193	平成13年
マダガスカル館島	芝張り、硝子、電気柵	235	平成13年
アフリカ館	鉄骨ブロック造	446	昭和39年
ボイラー室と変電室(旧モンキーアパート関係)	鉄骨ブロック造	49	昭和38年
ビジターセンター	鉄筋コンクリート造	860	平成元年
駐車場			平成15年
ニホンザルの丘	放養式フェンス、電気柵造	1,647	平成23年
南米館	鉄筋コンクリート2階造	480	昭和41年
リスザルの島	鉄筋コンクリート水張り造	1,507	昭和37年
ヒヒの城	放養式鉄筋コンクリート造	415	平成15年
休憩所	木造コロンIAL葺造	81	平成15年
エコドーム	アイアンフレーム組SUSメッシュ張造	523	平成3年
エコドーム寝室	鉄筋コンクリート造	45	平成3年
休憩所(エコドーム横)	鉄筋組ルーフデッキ葺造	85.8	平成3年
無料休憩所	鉄骨2階造	166.87	昭和55年
アジア館	鉄筋コンクリート造	375	昭和53年
アフリカセンター	鉄筋コンクリート造	2,240	昭和55年
テナガ・クモザルの島	鉄筋コンクリート石積水張造一部電柵併用	1,500	平成9年
ギボンハウス	鉄筋強度度セメント中空押出整形張 ALC葺シート防水SOS メッシュ張造2棟	164.4 ×2棟	平成6年
セミナーハウス白帝	鉄筋コンクリート平屋建造	261	昭和39年
トイレ1(休憩所横)	ブロック積コロンIAL葺造	20	昭和60年
トイレ2(KIDSZOO横)	鉄筋コンクリートコロンIAL葺造	36	平成28年
トイレ3(アフリカセンター)	鉄筋コンクリート造	60	昭和55年
障害者用トイレ(アフリカセンター前)	鉄筋ALC張切板葺	10.2	平成15年
動物園出改札詰め所	鉄骨造	50.4	平成15年
モンキーバレイ	放養式フェンス電気柵造	3,321.7	平成9年
診療及び資料棟	ブロック積鉄柱梁組サイディングボード張 ルーフデッキ葺造	217.74	平成9年
検疫棟	ルーフデッキ葺造	91.08	平成9年
収容棟	ルーフデッキ葺造	71.28	平成9年
標本作成棟	ルーフデッキ葺造	18.5	平成9年
屋外ケージ	鉄骨金網張り造	129.6	平成9年
炭化装置	ブロック積鉄柱梁組スレート張りスレート造	12.5	平成15年
資材倉庫	プレハブ造	17	平成9年
乾燥炉	プレハブ造	22.74	平成25年
焼却炉	プレハブ造	7.3	平成27年
ベビールーム	ブロック積鉄柱梁組サイドボード張コロンIAL葺造	16.24	平成10年
南米館用バコティン	上屋鉄骨組ルーフデッキ葺	9.25	平成10年
ヒーター室	サイディングボード張りスレート葺造		
Waoランド	木造 ブロック積 水張り 電柵併用	1,000	平成17年
モンキース克蘭ブル	鉄木材複合構造 水張り電柵併用 総延長300m		平成18年
Waoランドmini	ステンレス檻 木造寝室 木造デッキ	35.1	平成21年
KIDSZOO	透水式路面工法 トレーラーハウス30m <sup>2</sup> カーポート付デッキ100m <sup>2</sup> 軽量鉄骨造休憩室15.9m <sup>2</sup>	568	平成27年
営繕小屋	鉄骨造	36	平成30年



9. 施設配置図 (2020年3月31日現在)



- |               |              |                |
|---------------|--------------|----------------|
| 1 管理事務所       | 17 トイレ       | 33 ニホンザルの丘     |
| 2 飼料倉庫        | 18 セミナーハウス白帝 | 34 ヒヒの城        |
| 3 資材倉庫        | 19 駐車場       | 35 駐車場         |
| 4 ガレージ        | 20 倉庫        | 36 エコドーム       |
| 5 ポンプ場        | 21 倉庫        | 37 リスザルの島      |
| 6 モニュメント      | 22 ポンプ場      | 38 テナガ・クモザルの島  |
| 7 動物園正門出札     | 23 屋外収容棟     | 39 ギボンハウス2     |
| 8 ビジターセンター    | 24 収容棟       | 40 ギボンハウス1     |
| 9 Waoランド mini | 25 診療棟および資料棟 | 41 トイレ         |
| 10 マダガスカル館    | 26 検査棟       | 42 楽猿 (レストラン)  |
| 11 アフリカ館      | 27 乾燥炉       | 43 無料休憩所       |
| 12 南米館        | 28 資料作成室     | 44 モンキーバー (軽食) |
| 13 ボイラー室      | 29 炭化装置      | 45 KIDSZOO     |
| 14 アジア館       | 30 焼却炉       | 46 トイレ         |
| 15 Waoランド     | 31 猿塚        | 47 営繕小屋        |
| 16 アフリカセンター   | 32 ポンプ場      |                |

## 10. 主な施設改修

### (1) キュービクル新設

2019年7月7日～9月27日  
(フジサービス、ワイエムテック、何でも屋今井、  
中部電気保安協会、中部電力)

### (2) 南米館暖房器具設置・パコティンヒーター撤去

2019年7月27日～9月13日  
(名古屋プロパン瓦斯株式会社、渡辺工業)

## 11. 施設修繕（業者工事）

2019年4月4日

アフリカセンター前女子トイレ  
排水詰まり復旧工事（輪米工業）

4月10日 軽トラック修理(アクセスコーポレーション)

4月25日 軽トラックメンテナンス  
(アクセスコーポレーション)

5月10日 飼料倉庫電源増設工事下見（文化電気）

5月14日 Waoランド寝室エアコン交換工事(竹下電機)

5月14日 バックヤード隔離舎エアコン取り換え下見  
(竹下電機)

5月14日 キュービクル新設工事についての現場下見  
(フジサービス)

5月20日 KIDSZOO ドア破損ガラス取替え下見  
(橋爪ガラス)

5月23日 バックヤード 焼却炉修理 (DAITO)

5月30日 飼料倉庫電源増設工事（文化電気）

5月31日 冷凍庫搬入・設置（ホシザキ東海）

6月14日 バックヤード焼却炉修理 (DAITO)

6月19日 バックヤード隔離舎エアコン設置(竹下電気)

6月21日 飼料倉庫冷凍車上部パネル交換(ホシザキ東海)

7月5日～6日 リスザルの島前給水管破裂の復旧工事  
(有川設備)

7月16日 東海サンキ周辺竹やぶ整備（何でも屋今井）

7月31日 アフリカセンター 屋内運動場エアコン  
修理（竹下電気）

7月31日 アジア館エアコン点検（竹下電気）

8月2日 南米館哺育室前・とバックヤード  
スズメバチ巣撤去（まるよ住設）

8月21日 バックヤード収容棟エアコン工事(ダイキン)

9月2日 マダガスカル館前灯油タンクコンクリート  
破損箇所修復  
(名古屋プロパン瓦斯株式会社、渡辺工業)

9月4日 アフリカ館寝室蛍光灯修理（文化電気）

9月5日 ハチの巣4箇所駆除（まるよ住設）

9月11日 リスザルの島電気配線工事（文化電気）

9月18日 市水給水ポンプ修理（加藤ポンプ）

9月24日 楽猿前市水配管破損修理（有川設備）

9月30日 アフリカ館・マダガスカル館・アジア館  
FA 暖房機整備工事（泉商店）

10月9日 南米館哺育室エアコンガス漏れ修理  
アフリカセンター夜行性展示室・KIDSZOO  
エアコン取替え工事（アイエス空調）

10月11日～12日 ビジターセンター裏ポンプ取替え(所沢建築)

10月16日 Wao ランド FA 暖房部品交換（泉商店）

11月12日 ギボンハウス 1、2 寝室エアコン設置  
(アイエス空調)

11月19日 リスザルの島エアコン新設（アイエス空調）

11月28日 病院のエアコン取り替え工事（竹下電気）

12月3日 アフリカセンター調理室熱探知機移設工事  
(ALSOK)

12月5日 KIDSZOO メインハウスコンセント増設  
(文化電気)

12月5日 収容棟コンセント漏電箇所修理(文化電気)

12月11日 南米館水加圧タンク工事（有川設備）

12月11日 アジア館水加圧タンク制御盤工事(有川設備)

12月11日 リスザルの島前配管破裂修理（有川設備）

12月11日 クモザルの島フェンス、リスザルの島デッキ、  
バックヤード収容棟1 シュート設置、  
モンキーバレイデッキ階段と扉設置  
(所沢建築)

12月16日 ビジターセンター屋上工事（所沢建築）

12月17日 アジア館放飼場扉ガラス修理（橋爪ガラス）

2020年1月22日 リスザルの島前アスファルト張り(有川設備)

1月26日 スローロリス保全センターガラス修理  
(橋爪ガラス)

1月29日 モンキーバレイ前水道管破裂修理（有川設備）

2月10日 各所ガス設備点検とメーター取り付け  
(イワタニ東海)

2月21日 バックヤードデジタルレントゲン試運転  
(アールエフ)

3月18日 リスザルの島前配管工事（有川設備）

3月19日 アフリカセンター、南米館ガスメーター  
交換（イワタニ東海）

3月26日 モンキーバレイ前給水管漏水修理(有川設備)

3月28日～29日 モンキーバレイ前給水管引き直し(有川設備)

## 12. 施設修繕（自営作業）

2019年4月5日

モンキーバレイ 放飼場土留め補修

4月6日 アジア館放飼場天井部溶接

4月8日 モンキースクランブル池水中電柵断線補修

4月9日 モンキースクランブル・ビックループ  
電気柵漏電箇所補修

4月28日 モンキースクランブル池水中電柵補修

5月1日・27日 バックヤード収容棟ケージ止まり木用金具溶接

5月11日 じゃぶじゃぶ池漏水箇所修理

5月21日 エコドーム寝室内天井溶接

5月22日 Wao ランド電柵ガイシ修繕

6月4日 アジア館放飼場溶接

6月11日 ビックループ電柵補修

6月21日～29日 アフリカ館市水増設

7月2日 アジア館放飼場溶接

7月2日～9日 バックヤード隔離舎ケージ用スライド扉製作

7月5日・6日 アフリカ館シュート取っ手溶接

7月8日 エコドーム寝室溶接

7月17日 エコドーム屋外シュート溶接

7月17日 ニホンザルの丘寝室ラッチ溶接

7月18日 標本庫前スズメバチの巣駆除

7月24日 モンキーバレイ東側放飼場スズメバチの巣除去

7月30日 アフリカセンター周辺倒木撤去

7月30日 アフリカ館寝室側シュート取っ手溶接

7月31日 マダガスカル館スズメバチの巣駆除  
 8月8日 エコドーム寝室溶接  
 8月11日 アジア館下外周路のスズメバチの巣撤去  
 8月12日 アフリカ館上の広場のスズメバチの巣駆除  
 8月13日 アフリカ館放飼場檻溶接  
 8月13日 トクモンキー放飼場檻溶接  
 8月17日 アフリカセンタースズメバチの巣駆除  
 9月1日 アジア館排水溝にフェンス溶接  
 9月5日 南米館シュート溶接  
 9月5日 ビッグループ、エコドーム、分電盤電柵補修  
 9月6日 アフリカ館屋外運動場の天井溶接・コーキング  
 9月14日 ギボンハウスシュート開閉装置修理  
 9月29日 アジア館放飼場檻溶接  
 10月28日 エコドーム寝室天井格子溶接  
 11月2日 ニホンザルの丘寝室ラッチ溶接  
 11月5日 北園軽トラックブレーキランプ交換  
 11月10日 エコドーム寝室壁面溶接  
 11月10日 テナガ舎寝室天井溶接  
 11月10日 ギボンハウス1寝室天井溶接  
 12月16日・23日 アフリカ館シュート持ち手溶接  
 12月24日 アフリカセンター植物育成箱フェンス溶接  
 12月24日 アフリカ館寝室側シュート扉取っ手溶接  
 2020年1月2日 エコドーム溶接  
 1月6日 南米館中型放飼場檻溶接  
 1月10日～19日 Waoランド寝室仕切り工事  
 1月14日 北園軽トラック整備  
 1月15日 アフリカ館寝室蛍光灯カバー破損の応急処置  
 1月24日 ニホンザルの丘放飼場池の水道管修理  
 1月29日 軽トラ(ナンバーなし)整備  
 2月9日～26日 マダガスカル館寝室改修工事準備  
 2月12日 アフリカセンター前女子トイレ  
 おむつ替え台設置  
 2月13日・17日 KIDSZOOメインハウス改修  
 2月26日 南米館中型放飼場檻溶接  
 2月26日 エコドーム寝室溶接  
 3月1日・9日・10日  
 マダガスカル館 寝室3施設改修  
 3月14日 バックヤード焼却炉バーナー付け替え  
 3月18日 アジア館放飼場溶接

### 13. 設備点検

2019年5月14日  
 ビジターセンター自動ドア定期点検(ナブコドア)  
 7月17日 地下水ポンプメンテナンス(所沢建築)  
 9月12日 アフリカセンターガス設備施設点検  
 (名古屋プロパン瓦斯株式会社、渡辺工業)  
 9月13日 南米館地下タンク・小型灯油タンク  
 立ち入り検査(犬山市消防本部)  
 9月19日 電気室設備点検(中部電気保安協会)  
 9月25日 アフリカ館新規FA暖房設置  
 マダガスカル館FA暖房点検(泉商店)  
 9月26日 バックヤード・アジア館FA暖房点検(泉商店)  
 9月30日 Waoランド、ヒヒの城、アフリカ館、  
 マダガスカル館、アジア館FA暖房点検(泉商店)

10月15日 アフリカ館のFA暖房機器点検、整備(泉商店)  
 10月31日 グリストラップ(楽猿)点検整備(輪栄工業)  
 11月5日 ヒヒの城ブレーカー点検(文化電気)  
 11月30日 アフリカ館のFA暖房機器点検、整備(泉商店)  
 2020年1月15日 消防設備点検(ALSOK)  
 2月12日 市水貯水槽内清掃、設備点検(輪栄工業)  
 2月13日・3月11日  
 園内電気施設整備点検(中部電気保安協会)  
 3月11日 軽トラック車検(アクセスコーポレーション)

### 14. その他諸手続き

- (1) 動物愛護管理法関係(愛知県動物保護管理センター)
  - ① 特定動物飼養・保管増減届出書(2018年度1月～3月分)の提出 2019年4月
  - ② 特定動物飼養・保管増減届出書(2019年度4月～6月分)の提出 2019年7月
  - ③ 特定動物飼養・保管増減届出書(2019年度7月～9月分)の提出 2019年10月
  - ④ 特定動物飼養・保管増減届出書(2019年度10月～12月分)の提出 2020年1月
- (2) 外来生物法関係(環境省中部地方環境事務所)
  - ① 特定外来生物飼養状況届出書の提出 2019年7月
- (3) 感染症予防法関係(厚生労働省健康局および農林水産省)
  - ① 輸入サル飼育施設指定申請書の提出 2019年7月
- (4) 家畜伝染病予防法関係
  - ① 小規模所有者定期報告書の提出(愛知西部家畜保健衛生所尾張支所) 2019年4月
- (5) 獣医療法関係
  - ① 動物病院遺漏エックス線線量当量率測定の実施(テクノ中部) 2019年8月・2020年2月
- (6) 麻薬及び向精神薬取締法関係
  - ① 麻薬管理者免許、施用者免許、研究者免許申請の提出(江南保健所) 2019年10月
  - ② 年間麻薬譲渡譲受届の提出(麻薬研究者分・麻薬管理者分)(江南保健所) 2019年10月
  - ③ 麻薬管理者免許、施用者免許、研究者免許返納届の提出(江南保健所) 2019年12月
  - ④ 年間向精神薬輸入・輸出・製造届の提出(愛知県江南保健所) 2019年2月
- (7) 無線機関係
  - ① 無線局再免許申請書(31局)の提出(総務省東海総合通信局) 2019年12月
- (8) 山水関係
  - ① 法定外公共物使用等期間更新許可申請書の提出(犬山市役所土木管理課) 2020年2月

## (8) 研究会、講演会の開催

### 1. 研究会の開催

#### (1) 第64回プリマーテス研究会の開催

日程：2020年1月25日～1月26日

場所：ビジターセンターホール（口頭発表）、  
無料休憩所（ポスター発表）

参加者：約110名（所員含む）

内容：口頭発表17題

ポスター発表23題

発表賞：

最優秀口頭発表賞

糸井川壯大（京都大学霊長類研究所）

最優秀中高生口頭発表賞

○佐藤美奈子，○清水実有，片山和香，滝千鶴，杉浦朱李，  
豊田紗帆（南山高等・中学校女子部科学研究実践活動霊  
長類学入門）

最優秀ポスター発表賞

北山遼（北海道大学理学部生物科学科（生物学））

最優秀中高生ポスター発表賞

○熊崎真南風，○酒井雄万，○柘植幹大，○渡邊みき，  
○酒向由芽，○山田珠実，○小川果枝，○竹山翔（岐阜  
県立関高等学校自然科学部霊長類研究班）

プログラム

2020年1月25日（土）

12:30 受付開始

13:00 開会

13:00～14:30 口頭発表①

O-1 動物園でのオープンラボ型タッチモニタ実験を通じて  
比較するマカクの社会性

○村松明穂<sup>1</sup>，クリストファー・マーティン<sup>2</sup>，松沢哲郎<sup>1</sup>（  
京都大学高等研究院，<sup>2</sup>インディアナポリス動物園）

O-2 アビシニアコロブスの養母及び実母による子育て

○竹内康江<sup>1</sup>，赤見理恵<sup>2</sup>，奥村太基<sup>2</sup>（<sup>1</sup>モンキーセン  
ター友の会，<sup>2</sup>（公財）日本モンキーセンター）

O-3 京都市動物園のコモゴリラの接触による遊びの変化

○有澤翼<sup>1</sup>，田中早陽子<sup>2</sup>（<sup>1</sup>大阪府立北野高等学校，  
<sup>2</sup>京都大学理学部）

O-4 京都市動物園のチンパンジーによるアロマザリングの  
機能と個体関係

○今井佑香<sup>1</sup>，○大平忠紀<sup>1</sup>，南俊行<sup>2</sup>（<sup>1</sup>関西大倉  
高等学校，<sup>2</sup>京都大学教育学部）

O-5 ジェントルキツネザルにおける苦味受容体の機能進化：  
種特異的アミノ酸置換がもたらすタケ食への味覚適応  
○糸井川壯大<sup>1</sup>，Fabrizio Fierro<sup>2</sup>，Morgan E. Chaney<sup>3</sup>，  
早川卓志<sup>4,5</sup>，Anthony J. Tosi<sup>3</sup>，Masha Y. Niv<sup>2</sup>，今井啓  
雄<sup>1</sup>（<sup>1</sup>京都大学霊長類研究所，<sup>2</sup>The Hebrew University  
of Jerusalem，<sup>3</sup>Kent State University，<sup>4</sup>北海道大学地球  
環境科学研究所，<sup>5</sup>（公財）日本モンキーセンター）

O-6 ニホンザルとニホンカモシカの系統地理特徴の比較  
○川本芳（日本獣医生命科学大学獣医学部）

14:30～14:45 休憩

14:45～16:00 口頭発表②

O-7 *Quadrangulus-ovalo-jugularis*（頭蓋底卵円孔頸静脈  
孔四辺形）の形状が意味するもの—ヒトと類人猿  
の比較の中から

○澤野啓一<sup>1</sup>，田上秀一<sup>2</sup>，田中健<sup>3</sup>，新宅勇太<sup>4</sup>，  
濱田穰<sup>5</sup>，安陪等思<sup>2</sup>，中務真人<sup>6</sup>，川原信隆<sup>7</sup>，加  
藤正二郎<sup>3</sup>，山田良広<sup>1</sup>（<sup>1</sup>神奈川歯科大学，<sup>2</sup>久留  
米大・放射線科，<sup>3</sup>江戸川病院，<sup>4</sup>（公財）日本モンキー  
センター，<sup>5</sup>京都大・霊長類研究所，<sup>6</sup>京都大・自然  
人類学，<sup>7</sup>横浜市立大・脳神経外科）

O-8 Social relationships among captive male pygmy slow  
lorises (*Nycticebus pygmaeus*): Is forming iso-sex  
pairs a feasible management strategy?

○Yumi Yamanashi<sup>1,2</sup>，Kei Nemoto<sup>3</sup>，Josue Alejandro  
Pastrana<sup>4</sup>（<sup>1</sup>Center for Research and Education of  
Wildlife, Kyoto City Zoo，<sup>2</sup>Wildlife Research Center,  
Kyoto University，<sup>3</sup>Japan Monkey Centre，<sup>4</sup>Primate  
Research Institute, Kyoto University）

O-9 コロブス類における複胃の形態と食性

○松田一希<sup>1,2,3,4</sup>，Colin A. Chapman<sup>5</sup>，Marcus Clauss<sup>6</sup>  
（<sup>1</sup>中部大学創発学術院，<sup>2</sup>（公財）日本モンキーセ  
ンター，<sup>3</sup>京都大学野生動物研究センター，<sup>4</sup>マレー  
シア・サバ大学，<sup>5</sup>Department of Anthropology, Center  
for the Advanced Study of Human Paleobiology, George  
Washington University，<sup>6</sup>Clinic for Zoo Animals, Exotic  
Pets and Diet, Vetsuisse Faculty, University of Zurich）

O-10 Video—real world referent matching in chimpanzees

○Shenwen Xu，Masaki Tomonaga（Primate Research  
Institute, Kyoto University）

O-11 Common Marmoset (*Callithrix jacchus*) Personality  
and the Serotonin Receptor Subtype 1A Genotype

○Alexander Weiss<sup>1,2</sup>，Chihiro Yokoyama<sup>3</sup>，Miho  
Inoue-Murayama<sup>1,4</sup>（<sup>1</sup>Wildlife Research Center, Kyoto  
University，<sup>2</sup>Department of Psychology, School  
of Philosophy, Psychology and Language Sciences,  
The University of Edinburgh，<sup>3</sup>Laboratory for Brain  
Connectomics Imaging, Laboratory for Symbolic  
Cognitive Development, RIKEN Center for Biosystems  
Dynamics Research (BDR)，<sup>4</sup>National Institute for  
Environmental Studies）

16:15～17:45 ポスターセッション

2020年1月26日(日)

10:00 受付

10:15 ~ 11:45 口頭発表③

O-12 **Balancing Sustainability and Survival in the Community Forest: Development and Human-Wildlife Conflicts in a Village Adjacent to Murchison Falls National Park, Uganda**

○ Tamaki Shimegi (Graduate School of Asian and African Area Studies, Kyoto University)

O-13 **Comparisons of between-group differentiation in male kinship between bonobos and chimpanzees**

○ Shintaro Ishizuka<sup>1,2</sup>, Hiroyuki Takemoto<sup>1</sup>, Tetsuya Sakamaki<sup>1,3</sup>, Nahoko Tokuyama<sup>1,2,4</sup>, Kazuya Toda<sup>1,2</sup>, Chie Hashimoto<sup>1</sup>, Takeshi Furuichi<sup>1</sup> (1Primate Research Institute, Kyoto University, 2Japan Society for the Promotion of Science, 3Antwerp Zoo Foundation, 4Department of Evolutionary Studies of Biosystems, The Graduate University for Advanced Studies)

O-14 **飼育下ヤクシマザルにおける四肢骨形態の世代間変化**  
○新宅勇太<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>京都大学野生動物研究センター,<sup>2</sup>(公財)日本モンキーセンター)

O-15 **飼育チンパンジーのオス個体同士の関わり**  
○小西晴人<sup>1</sup>, 南俊行<sup>2</sup> (<sup>1</sup>関西大倉高等学校, <sup>2</sup>京都大学教育学部)

O-16 **公益財団法人日本モンキーセンターでの科学研究実践活動**  
「リスザルの島」のボリビアリスザルの老齢個体の暮らし  
○佐藤美奈子, ○清水実有, 片山和香, 滝千鶴, 杉浦朱李, 豊田紗帆 (南山高等・中学校女子部科学研究実践活動霊長類学入門)

O-17 **消費行動変化を目指した保全教育**  
—動物園における保全教育実践の方向について—  
○並木美砂子 (ShoeZ (Shower of educational activities for conservation at the Zoos))

ポスター発表

P-1 **Chimpanzees detect strangeness of location and appearance of body parts: An eye-tracking study**  
○ Jie Gao, Masaki Tomonaga (Primate Research Institute, Kyoto University)

P-2 **京都市動物園のサル島におけるアカゲザルの環境エンリッチメント**  
○原崇史<sup>1</sup>, 田中早陽子<sup>2</sup> (<sup>1</sup>大阪府立北野高等学校, <sup>2</sup>京都大学理学部)

P-3 **Development of combinatory manipulation and tool use in great apes and human children**  
○ Misato Hayashi<sup>1,2</sup>, Hideko Takeshita<sup>3</sup> (1Primate Research Institute, Kyoto University, 2Japan Monkey Centre, 3Otemon Gakuin University)

P-4 **日本モンキーセンターにおける飼料の取り組み ~飼料費削減と品目数増加を目指して~**  
○星野智紀, 奥村太基, 大島悠輝, 今井由香, 安倍由里香, 根本真菜美 ((公財)日本モンキーセンター)

P-5 **動物園発!野生ニホンザルに学ぶツアー ~京大モンキーキャンパス受講生有志による金華山研修ツアー~**  
○石樽玲子<sup>1</sup>, 上野真弓<sup>1</sup>, 甲田彰<sup>1</sup>, 甲田真佐枝<sup>1</sup>, 竹中伸夫<sup>1</sup>, 対木美佐子<sup>1</sup>, 中野洋二郎<sup>1</sup>, 西野香<sup>1</sup>, 福岡雅<sup>1</sup>, 山下邦彦<sup>1</sup>, 山下恵子<sup>1</sup>, 辻内祐美<sup>2</sup>, 赤見理恵<sup>2</sup> (<sup>1</sup>日本モンキーセンター友の会, <sup>2</sup>(公財)日本モンキーセンター)

P-6 **高校生の霊長類学初歩実習:-幸島・都井岬での活動報告-**  
○板原彰宏<sup>1</sup>, 横坂楓<sup>2</sup>, 田中早陽子<sup>3</sup>, 南俊行<sup>4</sup>, 乾真子<sup>4</sup>, 鈴木崇文<sup>5</sup>, 松沢哲郎<sup>6,7</sup> (<sup>1</sup>京都大学農学部, <sup>2</sup>京都大学総合人間学部, <sup>3</sup>京都大学理学部, <sup>4</sup>京都大学教育学部, <sup>5</sup>京都大学野生動物研究センター, <sup>6</sup>京都大学高等研究院, <sup>7</sup>(公財)日本モンキーセンター)

P-7 **ボルネオ島ダナムバレイ保護区における果実生産量とオランウータンの密度 - 2019年に起きた一斉結実を含む15年間の季節変化-**  
○金森朝子<sup>1</sup>, 久世濃子<sup>2</sup>, Henry Bernard<sup>3</sup>, Peter T. Malim<sup>4</sup>, 幸島司郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都大学野生動物研究センター, <sup>2</sup>国立科学博物館人類研究部, <sup>3</sup>マレーシア・サバ大学, <sup>4</sup>サバ野生生物局)

P-8 **獣医師が学芸員とTT(チーム・ティーチング)でおこなったレクチャー「どうぶつ園のじゅうい」について(2019)**  
○木村直人, 江藤彩子, 阪倉若菜, 高野智, 赤見理恵 ((公財)日本モンキーセンター)

P-9 **展示法の違いによる印象の変化**  
○北川陽菜<sup>1</sup>, 尾久土正己<sup>1,2</sup>, 大井田かおり<sup>2</sup> (<sup>1</sup>和歌山大学観光学部, <sup>2</sup>和歌山大学大学院観光学研究科)

P-10 **日本にクモザルは何種?~クモザル類の系統分類の再考~**  
○北山遼<sup>1</sup>, 白井温<sup>2</sup>, 根本慧<sup>3</sup>, 田和優子<sup>3,4</sup>, 綿貫宏史朗<sup>5</sup>, 早川卓志<sup>3,6</sup> (<sup>1</sup>北海道大学理学部生物科学科(生物学), <sup>2</sup>埼玉県大宮公園小動物園, <sup>3</sup>(公財)日本モンキーセンター, <sup>4</sup>京都大学霊長類研究所, <sup>5</sup>環境省自然環境局野生生物課, <sup>6</sup>北海道大学大学院地球環境科学院環境生物科学部門生態遺伝学分野)

P-11 **シャバーニ群における個体間関係と環境の変化 ~コドモからオトナへの変化を追う~**  
○熊崎真南風, ○酒井雄万, ○柘植幹大, ○渡辺みき, ○酒向由芽, ○山田珠実, ○小川果枝, ○山山翔 (岐阜県立関高等学校自然科学部霊長類研究班)

P-12 **サルの放し飼い展示に見る日本人の動物観 - 来園者の反応調査から -**  
○増田初希 (龍谷大学国際学部)

- P-13 質問紙と行動観察の関連から見る飼育チンパンジーの性格分析  
○永屋夏芽<sup>1</sup>, 乾真子<sup>2</sup>, 南俊行<sup>2</sup> (<sup>1</sup>大阪府立北野高等学校, <sup>2</sup>京都大学教育学部)
- P-14 キシリトールを用いたオランウータン予防歯科の試み  
○中村千晶<sup>1,2</sup>, 須田朱美<sup>3</sup>, 平賀真紀<sup>3</sup>, 栗原暖佳<sup>3</sup>, 森村成樹<sup>4</sup> (<sup>1</sup>日本歯科大学生命歯学部病理学講座, <sup>2</sup>東京医科大学人体構造学分野, <sup>3</sup>横浜市立よこはま動物園, <sup>4</sup>京都大学野生動物研究センター)
- P-15 タロウさんのサラダバー&ドリンクバー! ~京大モンキーキャンパス・エンリッチメントサークル4年目の活動~  
○中村千晶<sup>1</sup>, 林直弘<sup>1</sup>, 田中芳子<sup>1</sup>, 奥村文彦<sup>2</sup>, 赤見理恵<sup>2</sup> (<sup>1</sup>日本モンキーセンター友の会, <sup>2</sup>(公財)日本モンキーセンター)
- P-16 Report on the disappearance of four adult bonobo males in Mbali, DR Congo  
○Ena Onishi<sup>1</sup>, James Brooks<sup>1</sup>, Innocent Leti<sup>2</sup>, Jean-Christophe Bokila<sup>2</sup>, Yuta Shintaku<sup>1,3</sup>, Gen'ichi Idani<sup>1,3</sup>, Shinya Yamamoto<sup>4</sup> (<sup>1</sup>Wildlife Research Center, Kyoto University, <sup>2</sup>Mbou-Mon-Tour, <sup>3</sup>Japan Monkey Centre, <sup>4</sup>Institute for Advanced Study, Kyoto University)
- P-17 Behaviors and reaction of chimpanzees toward groupmates with physical disabilities: Cases of a reunion of groupmates and a death  
○Yoko Sakuraba<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Kyoto City Zoo, <sup>2</sup>Kyoto University)
- P-18 アカゲザル (*Macaca mulatta*) における季節性の精巣発達と味覚受容体の関係  
○杉山宗太郎, 糸井川壮大, 今村公紀, 今井啓雄 (京都大学霊長類研究所)
- P-19 ボルネオオランウータンのメスの発情はオスのテストステロン値を上昇させるか  
○田島知之<sup>1,2</sup>, 黒鳥英俊<sup>2</sup>, 木下こづえ<sup>3</sup> (<sup>1</sup>京都大学宇宙総合学研究ユニット, <sup>2</sup>日本オランウータンリサーチセンター, <sup>3</sup>京都大学野生動物研究センター)
- P-20 鼻の行動から見た京都市動物園のアジアゾウの個体間関係  
○渡邊 優希<sup>1</sup>, ○高橋 美帆<sup>1</sup>, ○松村 菜摘<sup>2</sup>, ○蔵田 実生<sup>2</sup>, 横坂楓<sup>3</sup> (<sup>1</sup>関西大倉高等学校, <sup>2</sup>大阪府立北野高等学校, <sup>3</sup>京都大学総合人間学部)
- P-21 ハンドウイルカにおける視覚を用いた種弁別  
○山本知里<sup>1,2</sup>, 柏木伸幸<sup>3</sup>, 友永雅己<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京都大学霊長類研究所, <sup>2</sup>日本学術振興会, <sup>3</sup>かごしま水族館)
- P-22 高大連携プロジェクト・霊長類学初歩実習の取り組み  
○横坂楓<sup>1</sup>, 南俊行<sup>2</sup>, 板原彰宏<sup>3</sup>, 田中早陽子<sup>4</sup>, 乾真子<sup>2</sup>, 池田智遥<sup>5</sup>, 文元りさ<sup>6</sup>, 松沢哲郎<sup>7</sup> (<sup>1</sup>京都大学総合人間学部, <sup>2</sup>京都大学教育学部, <sup>3</sup>京都大学農学部, <sup>4</sup>京都大学理学部, <sup>5</sup>京都大学文学部, <sup>6</sup>同志社大学文学部, <sup>7</sup>京都大学高等研究院)
- P-23 Efficacy of a novel chimpanzee enrichment device using prior knowledge and motivational structure  
○Hiroto Yoshimura, James Brooks, Yuto Taki (Wildlife Research Center, Kyoto University)
- (2) The 14th International Conference on Environmental Enrichment  
日程: 2019年6月22日~6月26日  
主催: 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院 (PWS)  
京都市動物園  
公益財団法人日本モンキーセンター  
SHAPE-Japan  
大型動物研究を軸とする熱帯生物多様性保全の国際研究拠点 (CET-Bio)  
場所: 京都大学百周年時計台記念館  
参加者: 約340名
- ## 2. 研究会の共催
- (1) 第22回アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い (SAGA22)  
日程: 2019年11月16日~11月17日  
主催: SAGA (アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い)  
共催: 公益財団法人日本モンキーセンター  
京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院  
場所: ビジターセンターホール、無料休憩所 ほか  
参加者: 約200名
- ## 3. 研究会の受入
- (1) 日本動物園水族館協会第157回中部ブロック獣医師研究会  
日程: 2019年9月4日~9月5日  
主催: 日本動物園水族館協会中部ブロック  
場所: 事務所会議室
- (2) The 12th International Symposium on Primatology and Wildlife Science  
日程: 2019年9月20日~9月22日  
主催: 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院  
場所: ビジターセンターホール、無料休憩所  
参加者: 約120名
- ## 4. 講演会の開催
- (1) 亥年講演会「イノシシとブタ: 愛憎の文化史」  
講師: 野林厚志 (国立民族学博物館)  
日程: 2019年6月16日  
場所: ビジターセンターホール
- (2) 子年講演会「日本のネズミ: 多様性と保全」  
講師: 新宅勇太 (京都大学野生動物研究センター/日本モンキーセンター)  
日程: 2020年1月5日  
場所: ビジターセンターホール

## (9) 展示、保全、環境教育及び 社会普及活動に関わる人材の育成

### 1. 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・ リーディング大学院実習・セミナー

- (1) インターラボ  
内容：レクチャー、バックヤード見学、園内見学  
日程：2019年4月9日 学生47名、引率1名
- (2) 動物園・博物館実習  
内容：レクチャー、エンリッチメント実習、飼育実習、  
解剖見学、標本実習、教育プログラム見学、  
来園者調査、獣医療見学 など  
日程：2019年7月17日～7月19日 5名

### 2. 飼育研修の受け入れ 計11名

- (1) 埼玉動物海洋専門学校動物飼育学科  
2019年6月1日～6月14日 2年生1名
- (2) 台湾アジア大学獣医学科  
2019年7月13日～9月6日 3年生1名
- (3) 麻布大学獣医学部  
2019年7月13日～7月26日 6年生1名  
2019年7月22日～8月4日 4年生1名
- (4) 東海大学農学部  
2019年8月8日～8月21日 3年生1名
- (5) 岐阜大学応用生物科学部  
2019年8月9日～8月22日 3年生2名
- (6) 酪農学園大学獣医学群獣医学類  
2019年8月17日～8月30日 3年生2名
- (7) 名古屋 ECO 動物海洋専門学校動物園・動物飼育専攻  
2019年9月16日～9月25日 2年生1名
- (8) AWS 動物学院野生生物管理学科  
2019年10月21日～11月3日 2年生1名

### 3. 職場体験・インターンシップの受け入れ 計43名

- (1) 大口町立大口中学校 職場体験  
2019年5月29日～5月31日 2年生1名
- (2) 岐阜県立岐阜農林高等学校 職場体験  
2019年7月20日～7月22日 2年生3名  
2019年8月2日～8月4日 2年生1名
- (3) 岐阜県立加茂農林高等学校 職場体験  
2019年7月25日～7月27日 2年生4名
- (4) 大成高等学校 職場体験  
2019年8月1日～8月2日 2年生1名
- (5) 愛知県立犬山南高等学校 インターンシップ  
2019年8月22日～8月23日 1年生2名

- (6) 愛知県立古知野高等学校 インターンシップ  
2019年8月29日～8月30日 2年生4名
- (7) 各務原市立鶴沼中学校 職場体験  
2019年10月23日～10月24日 2年生6名
- (8) 扶桑町立扶桑北中学校 職場体験  
2019年10月23日～10月25日 2年生3名
- (9) 扶桑町立扶桑北中学校 職場体験  
2019年10月30日～11月1日 2年生6名
- (10) 各務原市立中央中学校 職場体験  
2019年11月13日～11月14日 2年生1名
- (11) 各務原市立稲羽中学校 職場体験  
2019年11月26日～11月27日 2年生6名
- (12) 各務原市立那加中学校 職場体験  
2019年11月28日～11月29日 2年生5名

### 4. 博物館実習の受け入れ 計16名

- (1) 三重大学生物資源学部  
2019年7月27日～8月7日 4年生1名
- (2) 帝京科学大学アニマルサイエンス学科  
2019年7月27日～8月7日 4年生1名
- (3) 名城大学農学部  
2019年7月27日～8月7日 4年生1名  
2019年8月22日～9月2日 4年生1名  
2019年11月13日～11月24日 4年生1名
- (4) 岐阜大学応用生物科学部  
2019年8月10日～8月21日 3年生1名
- (5) 名古屋芸術大学デザイン学部  
2019年8月22日～9月2日 4年生1名
- (6) 東京農業大学応用生物科学部  
2019年9月14日～9月25日 4年生1名
- (7) 岐阜聖徳学園大学教育学部  
2019年9月14日～9月25日 4年生1名  
2019年10月4日～10月15日 4年生1名
- (8) 愛知教育大学教育学部  
2019年9月23日～10月4日 4年生2名  
2019年10月4日～10月15日 4年生1名  
2019年10月18日～10月29日 4年生1名  
2019年10月31日～11月11日 4年生2名

### 5. その他実習受け入れ

- (1) 京都大学霊長類研究所インターン生  
2019年5月16日 1名
- (2) 京都大学霊長類研究所獣医学実習生（エジンバラ大学）  
2019年7月 1名
- (3) 京都大学 ILAS セミナー 霊長類の獣医学・動物福祉学入門  
2019年8月27日 1年生4名

## (10) その他

### 1. 友の会

会員数：1081名（2020年3月31日時点）

うち、サポート会員 228名

年会費：サポート会員 5,000円以上

大人（高校生以上） 3,000円

小中学生 2,000円

幼児（3才以上） 1,500円

#### (1) モンキーセンター友の会 NEWS LETTER の発行

Vol. 6-1（通巻第11号） 2019年9月27日 発行

Vol. 6-2（通巻第12号） 2020年3月1日 発行

#### (2) 友の会のつどいの開催

##### ① 第10回

日程：2019年4月7日 10:50～16:00

内容：講演「『サル学』から『ウマ学』への展開」

松沢哲郎（JMC 所長、京都大学高等研究院）

##### JMC 活動報告

チンパンジーの新しいやぐらづくり 奥村文彦

京大モンキーキャンパスサークル活動報告

生息地研修報告：インドネシアの

ワウワウテナガザル 打越万喜子

オトナも楽しめる環境エンリッチメント教室

初級：アヌビスヒヒコース（約30分）

上級：チンパンジーコース（訳90分）

フリーマーケット

##### ② 第11回

日程：2019年10月14日 13:30～16:30

内容：講演「想像するちからと分かちあう心：

人間を人間たらしめているもの」

松沢哲郎（JMC 所長、京都大学高等研究院）

##### JMC 活動報告

京大モンキーキャンパスサークル活動報告

寄附報告：Wao ランドの屋根、冷凍庫、

ほしいものリストほか 北原愛子、石田崇斗

生息地研修報告：ボルネオ 舟橋昂

日本モンキーセンターの霊長類標本

コレクションの話 高野智

標本庫ツアー（希望者のみ）

#### (3) サポーター専用ページの運用

2017年4月1日より運用開始

2019年度中に記事18本を公開

### 2. 会議・研修

#### (1) (公社) 日本動物園水族館協会

##### ① 令和元年度年度通常総会

日程：2019年5月28日～5月29日

会場：名古屋港水族館（愛知県名古屋市）

伊谷原一

#### ② 総務委員会倫理福祉部会

##### 1. 2019（令和元）年度動物福祉評価に関するワークショップ

日程：2019年7月2日～7月3日

会場：札幌市円山動物園（北海道札幌市）

木村直人

##### 2. 第2回アジア地域における動物園水族館協会の連携構築会議ならびに

令和元年度第1回倫理福祉部会

日時：2019年9月29日～9月30日

会場：東京都美術館（東京都台東区）

日本動物園水族館協会会議室（東京都台東区）

木村直人

##### 3. 令和元年度第2回倫理福祉部会

日時：2020年2月10日

会場：日本動物園水族館協会会議室（東京都台東区）

木村直人

#### ③ 生物多様性委員会

##### 1. チンパンジー計画推進会議

日程：2019年6月18日～6月19日

会場：宮崎市フェニックス自然動物園（宮崎県宮崎市）

廣澤麻里

##### 2. テナガザル類計画推進会議

日程：2019年9月25日～9月26日

会場：日本モンキーセンター（愛知県犬山市）

石田崇斗

##### 3. 霊長類作業部会

日程：2019年11月22日

会場：札幌市円山動物園（北海道札幌市）

鏡味芳宏、石田崇斗

##### 4. 第21回種保存会議

日程：2019年11月23日～11月25日

会場：札幌パークホテル（北海道札幌市）

鏡味芳宏、田中ちぐさ、荒木謙太、石田崇斗

#### ④ 教育普及委員会

##### 1. 令和元年度第1回学術研究部会会議

日程：2019年10月10日

会場：海遊館（大阪府大阪市）

赤見理恵

##### 2. 第67回動物園技術者研究会

日程：2019年12月17日～12月19日

会場：ヴィアール大阪（大阪府大阪市）

赤見理恵、大島悠輝

##### 3. 令和元年度第2回学術研究部会会議

日程：2020年2月20日

会場：日本動物園水族館協会会議室

（東京都台東区）

赤見理恵



(2) (公社) 日本動物園水族館協会 中部ブロック協議会

① 中部ブロック園館長会議

1. 令和元年度第1回園館長会議

日程：2019年4月24日～4月25日

会場：東山動物園（愛知県名古屋市） 伊谷原一

② 中部ブロック獣医師研究会

1. 第157回獣医師研究会

日程：2019年9月4日～9月5日

会場：日本モンキーセンター（愛知県犬山市）

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、  
動物の異動報告

木村直人、岡部直樹、武田康祐

2. 第158回獣医師研究会

日程：2019年12月4日～12月5日

会場：東山動物園（愛知県名古屋市）

発表：症例報告、検査報告、剖検報告、  
動物の異動報告

武田康祐

③ 飼育技術者研修会

1. 第118回中部ブロック飼育技術者研修会

日程：2019年7月3日～7月4日

会場：サバエシティホテル（福井県鯖江市）

市原涼輔

2. 第119回中部ブロック飼育技術者研修会

日程：2019年11月20日～11月21日

会場：岡崎市東公園動物園（愛知県岡崎市）

阿野隆平

(3) 愛知県博物館協会

① 第44回東海三県博物館協会研究交流会

日程：2019年11月7日

会場：斎宮歴史博物館（三重県明和町）ほか

新宅勇太

② 令和元年度愛知県博物館等職員研修会

日程：2019年12月8日

会場：愛知県芸術文化センター（愛知県名古屋市）

阪倉若菜

(4) 令和元年度 PRI-JMC-KS 獣医師合同カンファレンス

① 第1回合同カンファレンス

日程：2019年4月5日

場所：霊長類研究所特別会議室（TV会議）

報告：カニクイザルの偽膜性大腸炎（木村）

長時間作用型セファロsporin製剤（岡部）

木村直人、岡部直樹

② 第2回合同カンファレンス

日程：2019年5月31日

場所：霊長類研究所特別会議室（TV会議）

報告：宮島ニホンザルの剖検結果について（木村）

自咬予防に苦慮した一例（岡部）

木村直人、岡部直樹

③ 第3回合同カンファレンス

日程：2019年7月19日

場所：霊長類研究所特別会議室（TV会議）

報告：宮島ニホンザルの骨折治療（木村）

アビシニアコロプスの腸閉塞（岡部）

木村直人、岡部直樹

④ 第4回合同カンファレンス

日程：2019年9月6日

場所：霊長類研究所特別会議室（TV会議）

報告：ヤクシマザルの発咳 心原性肺水腫（木村）

ヤクシマザルの脾腫 アミロイド症（岡部）

サバンナモンキーの糖尿病（岡部）

木村直人、岡部直樹

⑤ 第5回合同カンファレンス

日程：2019年11月1日

場所：霊長類研究所特別会議室（TV会議）

報告：老齢ワオキツネザルの排尿困難（木村）

木村直人

⑥ 第6回合同カンファレンス

日程：2019年12月20日

場所：霊長類研究所特別会議室（TV会議）

報告：ワタボウシタマリン Wasting syndrome（木村）

アジルテナガザルの腎不全（岡部）

アジルテナガザルの再生不良性貧血（岡部）

木村直人、岡部直樹

⑦ 第7回合同カンファレンス

日程：2020年2月7日

場所：霊長類研究所特別会議室（TV会議）

報告：ジェフロイクモザルの食道拡張（木村）

木村直人

⑧ 第8回合同カンファレンス

日程：2020年3月27日

場所：霊長類研究所大会議室（TV会議）

報告：カニクイザル 心臓の右側変異（岡部）

ニホンザル 三尖弁閉鎖不全（岡部）

タイワンザル 慢性下痢（岡部）

岡部直樹

(5) PRI-JMC 検討委員会

① 第35回 PRI-JMC 検討委員会

2019年4月8日

松沢哲郎、伊谷原一、友永雅己、林美里、木村直人、  
打越万喜子、北原愛子、赤見理恵、田和優子

② 第36回 PRI-JMC 検討委員会

2019年6月11日

松沢哲郎、伊谷原一、友永雅己、  
林美里、北原愛子、田和優子

③ 第37回 PRI-JMC 検討委員会

2019年9月17日

伊谷原一、林美里、木村直人、北原愛子、田和優子

④ 第38回 PRI-JMC 検討委員会

2018年11月11日

松沢哲郎、伊谷原一、林美里、木村直人、  
打越万喜子、北原愛子、赤見理恵、田和優子

⑤ 第 39 回 PRI-JMC 検討委員会 2020 年 1 月 15 日  
松沢哲郎、伊谷原一、林美里、木村直人、  
打越万喜子、北原愛子、赤見理恵、田和優子

⑥ 第 40 回 PRI-JMC 検討委員会 2020 年 3 月 9 日  
伊谷原一、林美里、木村直人、打越万喜子、  
北原愛子、赤見理恵、田和優子

### 3. その他

(1) 宮島調査・ワーキンググループ会議  
日程：2019 年 5 月 29 日～ 31 日  
場所：宮島（広島県廿日市市）  
伊谷原一、堀込亮意、田和優子、根本慧

(2) 危険物取扱者安全講習  
日程：2019 年 6 月 6 日 堀込亮意

(3) PWS アシュラセミナー "Incorporating natural adaptations of common marmosets to improve their welfare in captivity, and quality of scientific output"  
日程：2019 年 6 月 27 日  
場所：京都大学霊長類研究所（愛知県犬山市）  
根本慧、土性亮賀、武田康祐

(4) 犬山扶桑防犯協会総会  
日程：2019 年 7 月 4 日  
場所：犬山国際観光センターフロイデ（愛知県犬山市）  
堀込亮意

(5) 写真展「ニホンザル」下見、打ち合わせ  
日程：2019 年 7 月 5 日  
場所：日仏会館（東京都渋谷区） 赤見理恵

(6) チンパンジー飼育園館打ち合わせ  
日程：2019 年 8 月 19 日  
場所：京都市動物園（京都府京都市） 廣澤麻里

(7) 塗魂ペインターズ 10 周年記念式典  
日程：2019 年 10 月 10 日  
場所：グランドニッコー東京 台場（東京都港区）  
新宅勇太

(8) 尾張北部生態系ネットワーク総会  
日程：2019 年 10 月 23 日  
場所：犬山里山学センター（愛知県犬山市） 高野智

(9) 京都大学野生動物研究センター連携園館連絡会議  
日程：2019 年 10 月 25 日  
場所：京都大学（京都府京都市） 廣澤麻里

(10) 霊長類研究所チンパンジー逃走防止訓練見学  
日程：2019 年 11 月 22 日  
場所：京都大学霊長類研究所（愛知県犬山市）  
坂口真悟

(11) 2020 年春季特別展展示資料下見  
日程：2019 年 12 月 10 日  
場所：千葉県船橋市 新宅勇太

(12) 病理学カンファレンス  
日程：2020 年 1 月 9 日  
場所：京都大学霊長類研究所（愛知県犬山市）  
岡部直樹

(13) 動物取扱責任者講習  
日程：2020 年 1 月 21 日  
場所：春日井市民会館（愛知県春日井市） 木村直人

(14) 2020 年春季特別展展示品借用  
日程：2020 年 3 月 3 日～ 3 月 4 日  
場所：千葉県船橋市 高野智、新宅勇太

## II 収益事業

### (1) 動物園における物品並びに飲食物販事業

#### 1. ミュージアムショップの運営

場所： ビジターセンター内  
取扱商品： 書籍、海外民芸品、美術作品、  
オリジナル雑貨、菓子類、委託販売品等

新規商品の開発：

シロガオサキ トートバック  
リスザルメッシュキャップ  
オリジナルデザイン手ぬぐい（キツネザル）  
キツネザルマグネット  
マスキングテープ  
シロガオサキ ソックス など

新規取扱商品：

モンベル 寄附付きTシャツ  
フィギュア（シュライヒ・Safari・グッドラックミニ）  
昆虫スナック  
ぬいぐるみ（太平洋産業貿易）  
犬山ローレイビール・タスカールビール  
オランウータンコーヒー など

AirPAYによるクレジットカード決済の開始：  
2019年9月14日～

#### 2. 他企業との商品開発

- (1) 株式会社モンベル  
寄附つきTシャツの販売 2019年4月20日～
- (2) 株式会社ユニクロ  
UTme!にてオリジナルデザインTシャツ  
(15デザイン)の販売 2019年4月20日～  
\* 2019年年間マーケット大賞を受賞
- (3) LINE 株式会社  
クリエイターズスタンプ4組の販売  
2019年11月30日～

#### 3. 自動販売機の設置

オリジナルラッピングを施した自動販売機を  
園内15か所に設置

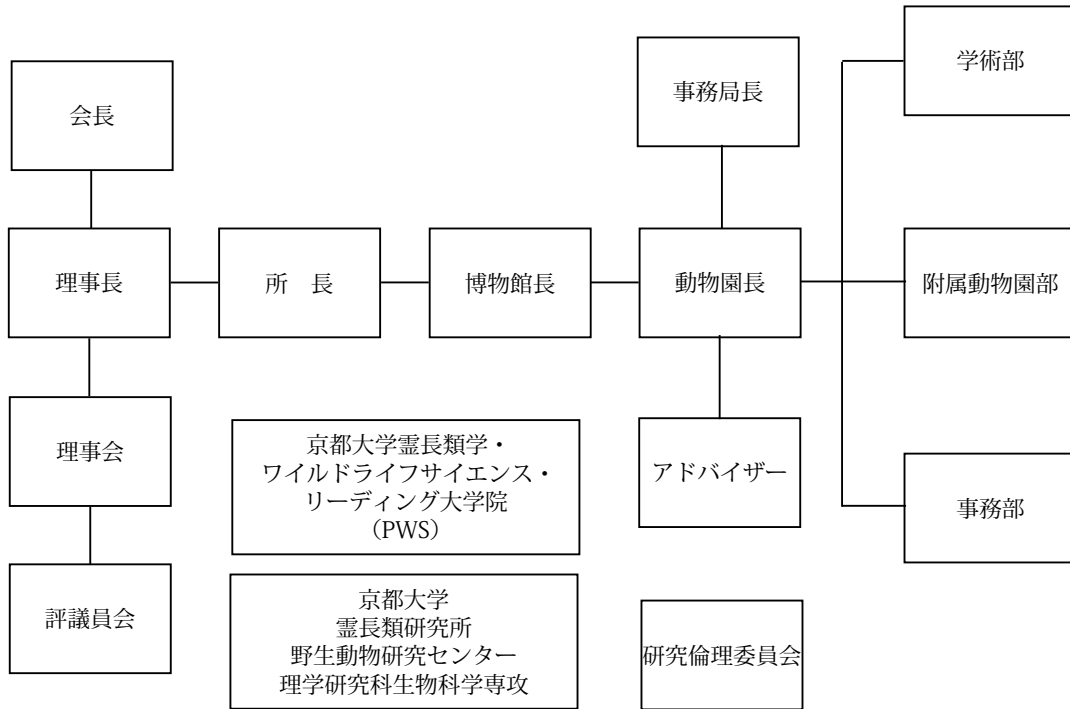
## (2) 所有する土地・建物の賃貸事業

1. 犬山市大字犬山字官林他 土地建物  
賃貸先：京都大学  
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
2. 犬山市大字栗栖字古屋敷他 土地建物  
賃貸先：京都大学  
目的：霊長類の研究施設
3. 犬山市大字善師野字小野洞他 土地  
賃貸先：京都大学  
目的：サルの飼育・繁殖・観察並びに教育研究
4. 犬山市大字犬山字官林（JMC管理棟）建物  
賃貸先：京都大学  
目的：教育等
5. 犬山市大字犬山字官林（JMC管理棟）建物  
賃貸先：（株）名鉄インプレス  
目的：日本モンキーパークの運営
6. 犬山市大字犬山字官林 駐車場施設  
賃貸先：（株）名鉄インプレス  
目的：駐車場

# III 総務

## (1) 組織

### 1. 組織図 (2020年3月31日現在)



### 2. 役員 (2020年3月31日現在、50音順、敬称略)

<b>会長</b>		<b>監事</b>	
河合 雅雄	京都大学名誉教授 日本モンキーセンター 元所長	中野 雄介	中野公認会計士事務所 所長
<b>理事長</b>		拝郷 寿夫	名古屋鉄道(株) 専務取締役 グループ統括本部長
尾池 和夫	京都大学名誉教授 京都造形芸術大学 学長	<b>評議員</b>	
<b>常務理事</b>		今井 啓雄	京都大学霊長類研究所 教授
伊谷 原一	京都大学野生動物研究センター 教授 日本モンキーセンター 動物園長	岩城 史憲	(株)名鉄インプレス 社長
松沢 哲郎	京都大学高等研究院 特別教授 日本モンキーセンター 所長	牛田 一成	中部大学創発学術院 教授
山極 壽一	京都大学 総長 日本モンキーセンター 博物館長	小川 秀司	中京大学国際教養学部 教授
<b>理事</b>		黒邊 雅実	名古屋市東山動物園 園長
安藤 隆司	名古屋鉄道(株) 代表取締役社長	川本 祥子	国立遺伝学研究所 教授
長谷川 寿一	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 理事	齋藤 亜矢	京都造形芸術大学文明哲学研究所 准教授
松林 公蔵	中部大学創発学術院 客員教授	坂本 英房	京都市動物園 副園長
山本 亜土	名古屋鉄道(株) 代表取締役会長	田中 正之	京都市動物園 生き物・学び・研究センター長
吉川 泰弘	岡山理科大学 獣医学部長	村山 美穂	京都大学野生動物研究センター センター長
		平田 聡	京都大学野生動物研究センター 教授
		湯本 貴和	京都大学霊長類研究所 所長

### 3. 職員 (2020年3月31日現在)

#### 理事長

尾池 和夫 (京都造形芸術大学・学長)

#### 所長

松沢 哲郎 (京都大学高等研究院・特別教授)

#### 博物館長

山極 壽一 (京都大学・総長)

#### 附属動物園長

伊谷 原一 (京都大学野生動物研究センター・教授)

#### 事務局長・事務部長・学術部長 (兼任)

林 美里 (京都大学霊長類研究所・助教)

#### アドバイザー

川上 文人 (中部大学人文学部・講師)

北原 愛子 所長秘書、PRIMATES 編集長秘書 (兼任)  
(京都大学高等研究院・特定研究員)

中村 美穂 (京都大学野生動物研究センター・客員准教授)

野上 悦子 (京都大学野生動物研究センター・技術職員)

早川 卓志 (北海道大学大学院地球環境科学研究院・助教)

松田 一希 (中部大学創発学術院・准教授)

宮部 貴子 (京都大学霊長類研究所・助教)

森村 成樹 (京都大学野生動物研究センター・特定准教授)

山本 真也 (京都大学高等研究院・准教授)

#### 学術部

高野 智 キュレーター

赤見 理恵 キュレーター

新宅 勇太 キュレーター  
(京都大学野生動物研究センター・特定助教)

田和 優子 キュレーター  
(京都大学霊長類研究所・特定研究員)

江藤 彩子 エデュケーター

阪倉 若菜 エデュケーター

#### 附属動物園部

木村 直人 部長、動物園長補佐

打越 万喜子 副部長 (京都大学霊長類研究所・特定研究員)

堀込 亮意 飼育統括

岡部 直樹 (京都大学野生動物研究センター・特定研究員)

奥村 文彦 飼育主任

鏡味 芳宏 飼育主任

坂口 真悟 飼育主任

田中 ちぐさ 飼育主任

阿野 隆平

荒木 謙太

石田 崇斗

市原 涼輔

奥村 太基

武田 康祐

辻内 祐美

寺尾 由美子

土性 亮賀

根本 慧

廣澤 麻里 (京都大学野生動物研究センター・特定研究員)

藤森 唯

舟橋 昂

星野 智紀

三宅 菜穂美

山田 将也

#### 事務部

安倍 由里香

今井 由香

根本 真菜美

大岡 幸男

杉本 直人

仙石 久子

大坊 早苗

## (2) 人事

### 1. 採用

2019年4月1日付  
附属動物園部 武田康祐

### 2. 着任

2019年4月1日付  
キュレーター 田和優子

### 3. 就任

2019年4月1日付  
アドバイザー 早川卓志

2019年7月1日付  
事務局長・事務部長 林 美里

2020年1月1日付  
学術部長 林 美里

### 4. 退職

2020年1月31日付  
附属動物園部 大島悠輝

2020年3月31日付  
附属動物園部 奥村太基  
三宅菜穂美

### 5. 退任

2019年12月31日付  
学術部長 友永雅己

2020年3月31日付  
所長 松沢哲郎

## (3) 総務

### 1. 理事会、評議員会の開催

(1) 第15回公益財団法人日本モンキーセンター理事会  
日程：2019年5月20日  
会場：名鉄グランドホテル（愛知県名古屋市）

(2) 第8回公益財団法人日本モンキーセンター評議員会  
日程：2019年6月20日  
会場：名鉄グランドホテル（愛知県名古屋市）

(3) 第16回公益財団法人日本モンキーセンター理事会  
日程：2020年3月5日  
会場：名鉄グランドホテル（愛知県名古屋市）

### 2. 訓練の実施

(1) 初期消火訓練 2019年7月23日

(2) 大型類人猿脱出時対策訓練  
対策訓練 2019年12月4日  
机上招集訓練 2020年3月25日

(3) 消防避難誘導訓練 2020年2月25日

### 3. 包括連携協定の締結

(1) 株式会社モンベル 2019年8月18日

## (4) 寄附

### 1. 寄附受領

#### (1) 2019 年度寄附金の受入

(単位：円)

内 訳	金 額
法人寄附	139,899,352
個人寄附・園内寄附	15,684,079
合計	155,583,431

#### (2) 寄附物品の受領

##### ① 動物用飼料の寄附

	重量	品目数
2019 年 4 月	1,536 kg	53
5 月	1,430 kg	37
6 月	1,172 kg	25
7 月	1,407 kg	22
8 月	1,713 kg	31
9 月	1,330 kg	34
10 月	1,774 kg	35
11 月	2,541 kg	34
12 月	5,598 kg	26
2020 年 1 月	2,285 kg	28
2 月	2,845 kg	35
3 月	1,075 kg	48
累 計	23,556 kg	127

年間受領件数：500 件以上

(定期受領の寄付を含む)

##### ② Amazon ほしいもののリストの運用

2019 年 4 月 25 日運用開始

資材・文具・飼料等 260 品目 2500 点以上を受領

##### ③ 中古でもいいからほしいもののリストの掲載

2019 年 8 月 20 日開始

87 品目以上を受領

##### ④ その他寄附物品受領

おが粉、消防ホース、観葉植物など 50 件以上を受領

### (3) クラウドファンディング

第 2 弾：ご寄附いただいた野菜や果物を、新鮮なまま動物たちに届けたい！

目標金額：700,000 円

期間：2019 年 4 月 24 日～5 月 9 日

支援数：75 件

支援金額：750,000 円

2019 年 5 月 31 日に飼料倉庫に大型冷凍庫設置  
(ホシザキ東海)

### 第 3 弾 (5 プロジェクト並行)

第 1 期：2019 年 7 月 21 日～12 月 31 日

#### ① バックヤード改善計画

期間：2019 年 7 月 21 日～12 月 31 日  
2020 年 3 月 6 日～

支援数：362 件

支援金額：8,596,231 円

#### ② 南米館：マーモセットとタマリンに太陽の光を！

期間：2019 年 7 月 21 日～12 月 31 日  
2020 年 3 月 6 日～

支援数：7 件

支援金額：550,000 円

#### ③ アフリカセンター：マンドリルに快適な空間を！

期間：2019 年 7 月 21 日～12 月 31 日

支援数：2 件

支援金額：10,000 円

#### ④ マダガスカル館：キツネザルのために森をつくりたい！

期間：2019 年 7 月 21 日～12 月 31 日

支援数：2 件

支援金額：10,000 円

#### ⑤ より鮮明にみえるエコー

期間：2019 年 7 月 21 日～12 月 31 日

支援数：1 件

支援金額：10,000 円

加えて超音波検査装置の寄贈

総支援件数：374 件

支援金額：9,176,231 円

## IV 経理

### 貸借対照表 (2020年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	84,163,185	64,018,353	20,144,832
未収入金	304,222	866,206	▲ 561,984
前払金	294,488	0	294,488
立替金	231,976	53,330	178,646
仮払金	5,340	5,340	0
前払費用	492,111	226,944	265,167
流動資産合計	85,491,322	65,170,173	20,321,149
2 固定資産			
基本財産			
土地	378,300	378,300	0
建物	2,414,259	2,614,296	▲ 200,037
基本財産合計	2,792,559	2,992,596	▲ 200,037
特定資産			
宮島預金	9,000,000	9,000,000	0
動物園施設整備資金	99,980,000	87,000,000	12,980,000
土地	596,868,254	596,868,254	0
建物	10,480,924	0	10,480,924
機械装置	3,744,468	0	3,744,468
特定資産合計	720,073,646	692,868,254	27,205,392
その他固定資産			
建物	9,939,740	10,353,080	▲ 413,340
建物附属設備	42,227,497	28,882,687	13,344,810
構築物	18,915,534	20,431,054	▲ 1,515,520
機械装置	1,076,169	1,191,675	▲ 115,506
車両運搬具	588,781	461,845	126,936
器具備品	4,615,368	3,692,594	922,774
動物	11,250,170	16,108,357	▲ 4,858,187
図書	181,114	218,659	▲ 37,545
雑設備	2	2	0
土地	754,611	754,611	0
電話加入権	18,301	18,301	0
その他固定資産合計	89,567,287	82,112,865	7,454,422
固定資産合計	812,433,492	777,973,715	34,459,777
資産合計	897,924,814	843,143,888	54,780,926
II 負債の部			
1 流動負債			
仮受金	209,906	168,107	41,799
未払金	6,100,898	8,673,388	▲ 2,572,490
預り金	0	31,134	▲ 31,134
未払消費税	3,423,400	2,087,000	1,336,400
未払法人税等	7,683,300	7,397,600	285,700
流動負債合計	17,417,504	18,357,229	▲ 939,725
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	17,417,504	18,357,229	▲ 939,725



科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
受取寄附金	42,000,000	42,000,000	0
固定資産受贈益	17,017,951	2,992,596	14,025,355
受贈土地	596,868,254	596,868,254	0
指定正味財産合計	655,886,205	641,860,850	14,025,355
(うち基本財産への充当額)	(2,792,559)	(2,992,596)	(▲200,037)
(うち特定資産への充当額)	(653,093,646)	(638,868,254)	(14,225,392)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	224,621,105	182,925,809	41,695,296
(うち特定資産への充当額)	(66,980,000)	(54,000,000)	(12,980,000)
正味財産合計	880,507,310	824,786,659	55,720,651
負債及び正味財産合計	897,924,814	843,143,888	54,780,926

## 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	8,713	9,798	▲ 1,085
特定資産受取利息	8,713	9,798	▲ 1,085
事業収益	140,652,366	129,360,308	11,292,058
動物園入園料	57,520,770	53,716,050	3,804,720
賃貸事業	49,751,391	49,501,391	250,000
駐車場	23,326,000	23,112,000	214,000
土地・建物	26,425,391	26,389,391	36,000
動物園付帯事業	33,380,205	26,142,867	7,237,338
受取寄附金	159,821,531	162,763,305	▲ 2,941,774
友の会収入	4,238,100	2,953,300	1,284,800
受取寄附金	21,864,077	6,609,968	15,254,109
受取寄附金振替額	133,719,354	153,200,037	▲ 19,480,683
雑収益	4,346,021	3,836,320	509,701
受取利息	4,279	2,006	2,273
雑収益	4,341,742	3,834,314	507,428
経常収益計	304,828,631	295,969,731	8,858,900
(2) 経常費用			
事業費	241,833,398	267,898,505	▲ 26,065,107
給与手当	105,593,063	106,624,825	▲ 1,031,762
謝金	1,300,802	1,232,865	67,937
法定福利費	15,374,010	16,145,137	▲ 771,127
福利厚生費	283,276	327,427	▲ 44,151
旅費交通費	612,390	190,659	421,731
研究旅費	382,406	1,680,135	▲ 1,297,729
研究会費	85,000	37,000	48,000
調査研究費	1,966,865	1,486,115	480,750
出版費	2,309,965	2,281,409	28,556
普及事業費	1,004,640	1,104,893	▲ 100,253
展示費	121,189	389,456	▲ 268,267
飼料費	13,187,511	18,339,275	▲ 5,151,764
衛生薬器費	3,108,575	3,075,588	32,987
施設整備費	3,504,052	3,476,514	27,538
販売費	6,242,771	3,442,719	2,800,052
備用品費	2,747,741	3,503,046	▲ 755,305
被服費	208,392	29,713	178,679
水道光熱費	31,695,495	39,395,060	▲ 7,699,565
車両費	881,788	764,143	117,645
業務委託費	26,327,189	24,594,731	1,732,458
会議費	43,766	31,315	12,451
諸会費	398,000	406,000	▲ 8,000
租税公課	7,686,250	6,465,550	1,220,700
減価償却費	14,251,643	15,065,759	▲ 814,116
補償費	1,160,813	1,107,433	53,380
通信運搬費	658,578	925,729	▲ 267,151
広報宣伝費	0	2,183,085	▲ 2,183,085
現地活動費	0	4,003,440	▲ 4,003,440
寄附金	0	8,779,993	▲ 8,779,993
雑費	697,228	809,491	▲ 112,263

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	14,561,516	14,709,313	▲ 147,797
給与手当	7,870,446	7,948,105	▲ 77,659
謝金	400,932	0	400,932
法定福利費	1,157,184	1,215,225	▲ 58,041
福利厚生費	13,174	62,580	▲ 49,406
旅費交通費	22,720	29,240	▲ 6,520
備用品費	246,463	249,073	▲ 2,610
会議費	403,199	463,249	▲ 60,050
通信運搬費	223,205	170,198	53,007
諸会費	3,000	3,000	0
水道光熱費	1,668,184	2,073,424	▲ 405,240
減価償却費	75,751	168,613	▲ 92,862
租税公課	119,500	72,700	46,800
業務委託費	1,880,400	1,883,520	▲ 3,120
車両費	161,442	80,701	80,741
補償費	275,204	247,445	27,759
交際接待費	0	19,720	▲ 19,720
雑費	40,712	22,520	18,192
経常費用計	256,394,914	282,607,818	▲ 26,212,904
当期経常増減額	48,433,717	13,361,913	35,071,804
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	944,879	92,483	852,396
車両受贈益	868,000	0	868,000
機械装置受贈益	0	42,483	▲ 42,483
図書受贈益	76,879	50,000	26,879
経常外収益計	944,879	92,483	852,396
(2) 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額	944,879	92,483	852,396
税引前当期一般正味財産増減額	49,378,596	13,454,396	35,924,200
法人税、住民税及び事業税	7,683,300	7,397,600	285,700
当期一般正味財産増減額	41,695,296	6,056,796	35,638,500
一般正味財産期首残高	182,925,809	176,869,013	6,056,796
一般正味財産期末残高	224,621,105	182,925,809	41,695,296
II 指定正味財産の部			
受取寄付金	147,744,709	153,000,000	▲ 5,255,291
受取寄付金	147,744,709	153,000,000	▲ 5,255,291
一般正味財産への振替額	▲ 133,719,354	▲ 153,200,037	19,480,683
当期指定正味財産増減額	14,025,355	▲ 200,037	14,225,392
指定正味財産期首残高	641,860,850	642,060,887	▲ 200,037
指定正味財産期末残高	655,886,205	641,860,850	14,025,355
III 正味財産期末残高	880,507,310	824,786,659	55,720,651

正味財産増減計算書内訳表  
2019年4月1日から2020年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	当年度
I 一般正味財産の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	8,713	0	0	8,713
特定資産受取利息	8,713			8,713
事業収益	63,312,139	77,340,227	0	140,652,366
動物園入園料	57,520,770			57,520,770
賃貸事業	0	49,751,391	0	49,751,391
駐車場		23,326,000		23,326,000
土地・建物		26,425,391		26,425,391
動物園付帯事業	5,791,369	27,588,836	0	33,380,205
受取寄附金	155,583,431	0	4,238,100	159,821,531
友の会収入			4,238,100	4,238,100
受取寄附金	21,864,077			21,864,077
受取寄附金振替額	133,719,354			133,719,354
雑収益	4,341,742	0	4,279	4,346,021
受取利息			4,279	4,279
雑収益	4,341,742			4,341,742
経常収益計	223,246,025	77,340,227	4,242,379	304,828,631
(2) 経常費用				
事業費	216,873,296	24,960,102	0	241,833,398
給与手当	104,494,428	1,098,635		105,593,063
謝金	1,300,802			1,300,802
法定福利費	15,208,698	165,312		15,374,010
福利厚生費	283,276			283,276
旅費交通費	612,390			612,390
研究旅費	382,406			382,406
研究会費	85,000			85,000
調査研究費	1,966,865			1,966,865
出版費	2,309,965			2,309,965
普及事業費	1,004,640			1,004,640
展示費	121,189			121,189
飼料費	13,187,511			13,187,511
衛生薬器費	3,108,575			3,108,575
施設整備費	3,504,052			3,504,052
販売費		6,242,771		6,242,771
備用品費	2,747,741			2,747,741
被服費	208,392			208,392
水道光熱費	30,027,311	1,668,184		31,695,495
車両費	881,788			881,788
業務委託費	15,055,791	11,271,398		26,327,189
会議費	43,766			43,766
諸会費	398,000			398,000
租税公課	3,260,934	4,425,316		7,686,250
減価償却費	14,251,643			14,251,643
補償費	1,160,813			1,160,813
通信運搬費	658,578			658,578
雑費	608,742	88,486		697,228

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	当年度
管理費	0	0	14,561,516	14,561,516
給与手当			7,870,446	7,870,446
謝金			400,932	400,932
法定福利費			1,157,184	1,157,184
福利厚生費			13,174	13,174
旅費交通費			22,720	22,720
備用品費			246,463	246,463
会議費			403,199	403,199
通信運搬費			223,205	223,205
諸会費			3,000	3,000
水道光熱費			1,668,184	1,668,184
減価償却費			75,751	75,751
租税公課			119,500	119,500
業務委託費			1,880,400	1,880,400
車両費			161,442	161,442
補償費			275,204	275,204
交際接待費			0	0
雑費			40,712	40,712
經常費用計	216,873,296	24,960,102	14,561,516	256,394,914
当期經常増減額	6,372,729	52,380,125	▲ 10,319,137	48,433,717
2 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
固定資産受贈益	944,879	0	0	944,879
車両受贈益	868,000			868,000
図書受贈益	76,879			76,879
經常外収益計	944,879	0	0	944,879
(2) 經常外費用				
經常外費用計				0
当期經常外増減額	944,879	0	0	944,879
税引前当期一般正味財産増減額	7,317,608	52,380,125	▲ 10,319,137	49,378,596
法人税、住民税及び事業税		7,683,300		7,683,300
他会計振替額	25,438,601	▲ 25,438,601	0	0
当期一般正味財産増減額	32,756,209	19,258,224	▲ 10,319,137	41,695,296
一般正味財産期首残高	92,882,764	87,089,360	2,953,685	182,925,809
一般正味財産期末残高	125,638,973	106,347,584	▲ 7,365,452	224,621,105
II 指定正味財産の部				
受取寄付金	147,744,709	0	0	147,744,709
受取寄付金	147,744,709			147,744,709
一般正味財産への振替額	▲ 133,719,354			▲ 133,719,354
当期指定正味財産増減額	14,025,355	0	0	14,025,355
指定正味財産期首残高	640,840,850	1,020,000	0	641,860,850
指定正味財産期末残高	654,866,205	1,020,000	0	655,886,205
III 正味財産期末残高	780,505,178	107,367,584	▲ 7,365,452	880,507,310

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

基本財産のうち建物及びその他固定資産は定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	378,300			378,300
建物	2,614,296		200,037	2,414,259
小 計	2,992,596	0	200,037	2,792,559
特定資産				
宮島預金	9,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000
動物園施設整備資金	87,000,000	12,980,000		99,980,000
土地	596,868,254			596,868,254
建物		10,532,709	51,785	10,480,924
機械装置		4,212,000	467,532	3,744,468
小 計	692,868,254	30,724,709	3,519,317	720,073,646
合 計	695,860,850	30,724,709	3,719,354	722,866,205

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土地	378,300	(378,300)		
建物	2,414,259	(2,414,259)		
小 計	2,792,559	(2,792,559)	0	0
特定資産				
宮島預金	9,000,000	(9,000,000)		
動物園施設整備資金	99,980,000	(33,000,000)	(66,980,000)	
土地	596,868,254	(596,868,254)		
建物	10,480,924	(10,480,924)		
機械装置	3,744,468	(3,744,468)		
小 計	720,073,646	(653,093,646)	(66,980,000)	(0)
合 計	722,866,205	(655,886,205)	(66,980,000)	(0)

### 4. 担保に提供している資産 該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び差引計

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び差引計は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	差引計
基本財産			
土地	378,300		378,300
建物	8,232,000	5,817,741	2,414,259
小 計	8,610,300	5,817,741	2,792,559
特定資産			
土地	596,868,254		596,868,254
建物	10,532,709	51,785	10,480,924
機械装置	4,212,000	467,532	3,744,468
小 計	611,612,963	519,317	611,093,646
その他固定資産			
建物	101,178,230	91,238,490	9,939,740
建物附属設備	82,771,312	40,543,815	42,227,497
構築物	421,201,559	402,286,025	18,915,534
機械装置	12,972,360	11,896,191	1,076,169
器具備品	34,993,560	30,378,192	4,615,368
車両運搬費	5,512,500	4,923,719	588,781
動物	141,048,099	129,797,929	11,250,170
図書	21,402,353	21,221,239	181,114
雑設備	2		2
土地	754,611		754,611
電話加入権	18,301		18,301
ソフトウェア	464,310	464,310	0
小 計	822,317,197	732,749,910	89,567,287
合 計	1,442,540,460	739,086,968	703,453,492

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
事業実施による用途制約の解除	133,000,000
減価償却費計上による振替	719,354
合 計	133,719,354

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定財産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

## 財産目録

2020年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管	運転資金として	1,953,089
小口現金			1,019,000
預金	普通預金 三菱 UFJ 銀行犬山支店	運転資金として	59,191,096
	定期預金 三菱 UFJ 銀行犬山支店	運転資金として	22,000,000
未収入金	賃借料他	収益事業に供する家賃の未収入分	304,222
前払金	源泉所得税	公益目的事業及び収益事業に供する 従業員の源泉所得税立替分	294,488
立替金	機械警備料他	公益目的事業に供する経費立替分	231,976
仮払金	販売委託費	収益事業に供する委託販売手数料の仮払分	5,340
前払費用	AIG 損保自動車保険	公益事業に供する自動車保険の未経過保険料	492,111
流動資産合計			85,491,322
<b>(固定資産)</b>			
基本財産			
土地	犬山市栗栖	公益目的事業を行うために不可欠な特定の財源	378,300
建物	犬山市栗栖	公益目的事業を行うために不可欠な特定の財源	2,414,259
	基本財産計		(2,792,559)
特定資産			
宮島預金	普通預金 三菱 UFJ 銀行犬山支店	宮島で捕獲予定のサルの飼育費用の財源として	9,000,000
動物園施設 整備資金	定期預金 三菱 UFJ 銀行犬山支店	公益事業の積立資産であり、施設整備費として 管理されている資金	99,980,000
土地	愛知県犬山市犬山 42 - 2 他	公益事業に供する施設の敷地等に使用している	596,868,254
建物	鹿児島県熊毛郡屋久島町永田 3279-2	公益事業に供する施設に使用している	10,480,924
機械装置	超音波診断装置	公益事業に供する設備に使用している	3,744,468
	特定資産計		(720,073,646)
その他の固定資産			
建物	猿舎他	公益目的事業を行うための事業財産	9,939,740
建物附属設備	モンキーバレイ遊具他		42,227,497
構築物	スクイズケージ他		18,915,534
機械装置	加圧ポンプ他		1,076,169
車両運搬費	ミニキャブトラック他		588,781
器具備品	サル類剥製標本他		4,615,368
動物	ゴリラ他		11,250,170
書籍	寄生虫学他		181,114
雑施設	商標権他		2
土地	犬山市犬山官林		754,611
電話加入権	No. 0568-61-2327		18,301
	その他の固定資産計		(89,567,287)
固定資産合計			812,433,492
資産合計			897,924,814
<b>(流動負債)</b>			
仮受金	サンクチュアリ他	収益事業に供する委託販売売上金の仮受金	209,906
未払金	紅光、農協他	公益事業に供する飼料費等の未払分	6,100,898
未払法人税等	小牧税務署他	平成 31 年度確定納付分	7,683,300
未払消費税	小牧税務署	平成 31 年度確定納付分	3,423,400
流動負債計			17,417,504
<b>(固定負債)</b>			
固定負債計			
			0
負債合計			17,417,504
正味財産合計			880,507,310



公益財団法人日本モンキーセンター年報  
令和元年度

〈非売品〉

発行日 令和2年8月10日

発行者 公益財団法人日本モンキーセンター  
〒484-0081 愛知県犬山市大字犬山字官林26番地  
電話 (0568) 61-2327  
FAX (0568) 62-6823

京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院  
〒606-8203 京都市左京区田中関田町 2-24  
京都大学野生動物研究センター内  
電話 (075) 771-4388

印刷所 オリムピア印刷株式会社  
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-13-6F  
電話 (06) 6445-0321

Japan Monkey Centre  
Annual Report

2019



協力：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院  
Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science, Kyoto University